

**Sterling B2B Integrator**



# **EBICS Banking Server ユーザー・ガイド**

バージョン 5.2.5



**Sterling B2B Integrator**



# **EBICS Banking Server ユーザー・ガイド**

バージョン 5.2.5

**注記**

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、103 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、Sterling B2B Integrator のバージョン 5 リリース 2 モディフィケーション 5、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

© Copyright IBM Corporation 2000, 2015.

# 目次

<b>EBICS Server ユーザー (V5.2.5 以降) . . . 1</b>	EBICS GUI リソースにアクセスするための権限 . . . 50
オーダー・タイプ・マネージャーの構成 . . . . . 1	サブスクリプション・マネージャー情報のインポート . . . . . 53
ファイル形式の作成 . . . . . 3	サブスクリプション・マネージャー情報のエクスポート . . . . . 54
ファイル形式の検索 . . . . . 4	EBICS アダプターおよびサービスの構成 . . . . . 56
ファイル形式の編集 . . . . . 4	HTTP Server アダプターの構成 . . . . . 57
ファイル形式の削除 . . . . . 5	HTTPS Server アダプターの構成 . . . . . 57
オーダー・タイプの検索 . . . . . 5	EBICS Server サービスの構成 . . . . . 58
オーダー・タイプの編集 . . . . . 6	サブスクリプターの初期化 . . . . . 58
プロファイル・マネージャーの構成 . . . . . 7	自己署名証明書の作成 . . . . . 60
銀行プロファイルの作成 . . . . . 8	ユーザーのパブリック証明書の承認 . . . . . 61
銀行プロファイルの検索 . . . . . 12	サブスクリプター・キーの検証 . . . . . 62
銀行プロファイルの編集 . . . . . 12	銀行のパブリック証明書をダウンロードするための要求の承認 . . . . . 63
銀行プロファイルの削除 . . . . . 16	自己署名証明書または CA 署名証明書の検証 . . . 63
パートナー・プロファイルの作成 . . . . . 17	着信クライアント証明書の OCSP の検証 . . . . . 64
パートナー・プロファイルの検索 . . . . . 20	証明書取り消しリストの設定 . . . . . 65
パートナー・プロファイルの編集 . . . . . 20	オーダー・タイプを使用した証明書の検証 . . . . . 65
パートナー・プロファイルの削除 . . . . . 23	ユーザーからのテスト・フローの受け入れ . . . . . 66
ユーザー・プロファイルの作成 . . . . . 23	ダウンロード・オーダー用のデータの提供 . . . . . 66
ユーザー・プロファイルの検索 . . . . . 26	日付範囲が指定された FDL 要求の受け入れ . . . . . 67
ユーザー・プロファイルの編集 . . . . . 27	EBICS レポートの生成と取得 . . . . . 67
ユーザー・プロファイルの削除 . . . . . 30	EBICS ログ・ファイルの使用 . . . . . 68
オファー・マネージャーの構成 . . . . . 30	EBICS のドキュメント追跡 . . . . . 68
オファーの作成 . . . . . 30	EBICS データ・フローのモニター . . . . . 69
オファーの検索 . . . . . 33	EBICS 通信セッション・レコードのモニター . . . 71
オファーの編集 . . . . . 34	EBICS リソースのインポートおよびエクスポート . . . 73
オファーの削除 . . . . . 36	EBICS リソースのエクスポート . . . . . 73
契約の作成 . . . . . 37	EBICS リソースのインポート . . . . . 75
契約の検索 . . . . . 39	HAC 処理 . . . . . 77
契約の編集 . . . . . 40	戻りコード . . . . . 79
ユーザー・アクセス許可の構成 . . . . . 42	<b>特記事項 . . . . . 103</b>
ユーザー・アクセス許可の検索 . . . . . 42	
ユーザー・アクセス許可の編集 . . . . . 43	
ユーザー・アクセス許可の確認 . . . . . 47	
署名者の作成 . . . . . 47	
VEU 管理による支払い明細の処理の使用可能化 . . . 49	



---

## EBICS Server ユーザー (V5.2.5 以降)

Sterling B2B Integrator EBICS Banking Server は、銀行、パートナー、およびユーザーの管理、証明書管理、安全なファイル・トランザクション、エラー・リカバリ、レポート作成の機能を備えた完全な EBICS ソリューションです。EBICS トランザクションの送受信には、Sterling B2B Integrator を使用してください。

Electronic Banking Internet Communication Standard (EBICS) はインターネット・ベースの通信およびセキュリティ規格で、主に、企業の支払取引において組織と金融機関の間のリモート・データ転送に使用されます。

EBICS を使用すると、メッセージの規格や形式に関係なく、データ・ファイルを交換することができます。EBICS では、確立されたデジタル署名と暗号化手順が使用されます。その機能は、XML、HTTPS、TLS、SSL など、インターネット通信およびセキュリティ強化の国際規格に基づいています。また、EBICS にはマルチバンク機能が備わっており、EBICS を採用している国の企業クライアントは、同じソフトウェアを使用して、それらの国の銀行と取引を行うことができます。

特定の銀行との間の銀行特有の EBICS トランザクションを実装できるようにするには、多様な前提条件が (パートナーと関連付けられた) ユーザーによって満たされる必要があります。EBICS トランザクションを実施するための基本的な前提条件は、パートナーと銀行機関との契約への署名です。この契約で合意する詳細は次のとおりです。

- パートナーが金融機関と実施するビジネス・トランザクション (銀行特有オーダー・タイプ) の性質
- ユーザーの銀行口座に関する情報
- 銀行のシステムを使用するパートナーのユーザー
- ユーザーが所有する権限および許可

契約への署名が完了すると、パートナーは金融機関のアクセス・データ (銀行パラメーター) を受け取ります。金融機関は、契約上の合意に従って、パートナーおよびユーザーのマスター・データを銀行システムで設定します。

その他の前提条件として、サブスクリバターの初期化、ユーザーによる金融機関のパブリック証明書のダウンロード、および金融機関によるユーザーのパブリック証明書の検証があります。

Sterling B2B Integrator EBICS Banking Server は、フランス語実装とドイツ語実装の両方について EBICS 仕様 V2.5 をサポートしています。

---

### オーダー・タイプ・マネージャーの構成

EBICS オーダー・タイプは、EBICS Banking Server と EBICS Client の間で発生する可能性のある多様なトランザクションを指定します。各オーダー・タイプは XML スキーマに基づいており、異なる要件に対応します。

## このタスクについて

オーダー・タイプは、オーダーの種類を示す 3 桁の英数字コードで表されます。

次の表は、EBICS トランザクションについてサポートされているオーダー・タイプのリストです。

オーダーのタイプ	プロトコル・バージョン (Protocol Version)	説明
<b>アップロード用のシステム・オーダー・タイプ</b>		
H3K	H004	サブスクライバー初期化用のすべての公開鍵 (銀行特有鍵証明書、ID および認証証明書、および暗号化証明書) を送信するのに使用されます。
HCA	H003, H004	ユーザーの証明書を更新するのに使用されます。EBICS Banking Server を更新するために、次の証明書を送信します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>識別および認証パブリック証明書</li> <li>暗号化パブリック証明書</li> </ul>
HCS	H003, H004	ユーザーの証明書を更新するのに使用されます。EBICS Banking Server を更新するために、次の証明書を送信します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>銀行特有のパブリック証明書</li> <li>識別および認証パブリック証明書</li> <li>暗号化パブリック証明書</li> </ul>
HIA	H003, H004	サブスクライバーの初期化のフレームワーク内で、識別、認証、および暗号化に関するユーザーのパブリック証明書を送信するのに使用されます。
HVE	H003, H004	VEU 署名の追加に使用されます。
HVS	H003, H004	VEU の取り消しのアップロードに使用されます。
INI	H003, H004	サブスクライバーの初期化で使用されます。ユーザーの銀行特有のパブリック証明書を EBICS Banking Server に送信します。
PUB	H003, H004	ユーザーの証明書を更新するのに使用されます。EBICS Banking Server を更新するために、顧客の銀行特有のパブリック証明書を送信します。
SPR	H003, H004	ユーザーのアクセス許可を保留するのに使用されます。
<b>ダウンロード用のシステム・オーダー・タイプ</b>		
HAC	H004	カスタマー確認応答 (XML フォーマット) をダウンロードするのに使用されます。
HEV	H000	サポートされている EBICS バージョンに関する情報をダウンロードするのに使用されます。



オーダーのタイプ	プロトコル・バージョン (Protocol Version)	説明
HKD	H003, H004	カスタマーおよびサブスクライバーのデータをダウンロードするのに使用されます。サブスクライバーの会社および関連サブスクライバーに付随する銀行によって保管された情報を取得します。
HPB	H003, H004	EBICS Banking Server から銀行のパブリック証明書をダウンロードするのに使用されます。
HPD	H003, H004	EBICS Banking Server から銀行パラメーターをダウンロードするのに使用されます。
HTD	H003, H004	カスタマーおよびサブスクライバーのデータをダウンロードするのに使用されます。サブスクライバーの会社に付随する銀行によって保管された情報を取得します。
HVD	H003, H004	VEU の状態の取得に使用されます。
HVT	H003, H004	VEU トランザクション詳細の取得に使用されます。
HVU	H003, H004	VEU の概要をダウンロードするのに使用されます。
HVZ	H003, H004	VEU の概要を追加情報とともにダウンロードするのに使用されます。
アップロード用の銀行特有オーダー・タイプ		
FUL	H003, H004	あらゆる形式のファイルをアップロードするのに使用されます。
ダウンロード用の銀行特有オーダー・タイプ		
FDL	H003, H004	あらゆる形式のファイルをダウンロードするのに使用されます。

## ファイル形式の作成

### このタスクについて

Sterling B2B Integrator では、ファイル形式を追加し、銀行特有のアップロードおよびダウンロード・オーダー・タイプと関連付けることができます。1 つのオーダー・タイプに複数のファイル形式を指定することもできますが、ファイル形式を指定しなくてもかまいません。FUL および FDL のファイル形式は、SWIFTNet 要求タイプに基づきます。

ファイル形式を作成するには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オーダー・タイプ・マネージャー (Order Type Manager)」 > 「ファイル形式の構成 (File Format Configuration)」を選択します。

3. 「ファイル形式の構成 (File Format Configuration)」 ページで、「**新規ファイル形式の作成 (Create New File Format)**」の横にある「**実行 (Go)**」をクリックします。
4. 「**ファイル形式**」フィールドにファイル形式の名前を入力します。ファイル形式の最初の 5 文字は、次のいずれかでなければなりません。
  - pain.
  - camt.
  - tsrv.
  - tsmt.
5. 「**国コード**」ドロップダウン・リストから国コードを選択します。デフォルト値は「[FR] フランス ([FR] FRANCE)」です。
6. 「**次へ (Next)**」をクリックします。
7. 「**確認 (Confirm)**」 ページで、ファイル形式の設定を確認し、「**完了 (Finish)**」をクリックします。

## ファイル形式の検索

### このタスクについて

ファイル形式を検索するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「**管理 (Administration)**」メニューから、「**EBICS**」 > 「**サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)**」 > 「**オーダー・タイプ・マネージャー (Order Type Manager)**」 > 「**ファイル形式の構成 (File Format Configuration)**」を選択します。
3. 「**ファイル形式の構成 (File Format Configuration)**」 ページで、次のいずれかの操作を行い、「**実行 (Go)**」をクリックします。
  - 「**検索 (Search)**」の下の「**ファイル形式 (File Format)**」フィールドに、検索するファイル形式の名前の一部または名前全体を入力します。
  - 「**英数字別にリスト (List Alphabetically)**」ドロップダウン・リストから、「**すべて**」を選択するか、あるいは検索するファイル・フォーマットの名前の先頭の文字を選択します。「**すべて (ALL)**」を選択すると、すべてのファイル形式がリストに表示されます。
4. ファイル形式のリンクをクリックして、ファイル形式の設定を表示します。

## ファイル形式の編集

### このタスクについて

ファイル形式を編集するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。

2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オーダー・タイプ・マネージャー (Order Type Manager)」 > 「ファイル形式の構成 (File Format Configuration)」を選択します。
3. 「ファイル形式の構成 (File Format Configuration)」ページで、「検索 (Search)」または「リスト (List)」を使用して、編集するファイル形式を探して選択し、「実行 (Go)」をクリックします。
4. 編集するファイル形式の横にある「編集 (edit)」をクリックします。
5. 「国コード (Country Code)」ドロップダウン・リストから国コードを選択し、「次へ (Next)」をクリックします。
6. 「確認 (Confirm)」ページで、ファイル形式の設定を確認し、「完了 (Finish)」をクリックします。

## ファイル形式の削除

### このタスクについて

ファイル形式を削除するには、以下のステップを実行します。

注: オーダー・タイプに割り当てられているファイル形式を削除することはできません。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オーダー・タイプ・マネージャー (Order Type Manager)」 > 「ファイル形式の構成 (File Format Configuration)」を選択します。
3. 「ファイル形式の構成 (File Format Configuration)」ページで、「検索 (Search)」または「リスト」を使用して、削除するファイル形式を探して選択し、「実行 (Go)」をクリックします。
4. 削除するファイル形式の横にある「削除 (delete)」をクリックします。
5. 「ファイル形式の構成 (File Format Configuration)」ページに戻るには、「戻る (Return)」をクリックします。

## オーダー・タイプの検索

EBICS オーダー・タイプは、EBICS Banking Server と EBICS Client の間で発生する可能性のある多様なトランザクションを指定します。各オーダー・タイプは XML スキーマに基づいており、異なる要件に対応します。

### このタスクについて

オーダー・タイプを検索するには、以下の手順を実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。

2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オーダー・タイプ・マネージャー (Order Type Manager)」 > 「オーダー・タイプの構成 (Order Type Configuration)」を選択します。
3. 「オーダー・タイプの構成 (Order Type Configuration)」ページで、次のいずれかの操作を行い、「実行 (Go)」をクリックします。
  - 「オーダー・タイプの検索 (Search Order Type)」フィールドに、検索するオーダー・タイプの名前の一部または名前全体を入力します。
  - 「プロトコル・バージョンの検索 (Search Protocol Version)」フィールドに、検索するオーダー・タイプのプロトコル・バージョンの名前の一部またはプロトコル・バージョンの名前全体を入力します。
  - 「英数字別にリスト (List Alphabetically)」ドロップダウン・リストから、「すべて」を選択するか、あるいは検索するオーダー・タイプの名前の先頭の文字を選択します。「すべて (ALL)」を選択すると、すべてのオーダー・タイプがリストに表示されます。
4. 「オーダー・タイプ設定 (Order Type Settings)」ページで、該当するオーダー・タイプをクリックして、オーダー・タイプの設定を表示します。「オーダー・タイプ設定 (Order Type Settings)」ページでオーダー・タイプに割り当てられたファイル形式のリストを表示するには、「ファイル形式のリスト (List of File Formats)」の横にある「すべて表示 (Show All)」をクリックします。

## オーダー・タイプの編集

### このタスクについて

オーダー・タイプを編集するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オーダー・タイプ・マネージャー (Order Type Manager)」 > 「オーダー・タイプの構成 (Order Type Configuration)」を選択します。
3. 「オーダー・タイプの構成 (Order Type Configuration)」ページで、「検索 (Search)」または「リスト (List)」を使用して、編集するオーダー・タイプを探して選択し、「実行 (Go)」をクリックします。
4. 編集するオーダー・タイプの横にある「編集 (edit)」をクリックします。オーダー・タイプをクリックして、オーダー・タイプの設定を表示します。

注: 編集できるのは、銀行特有オーダー・タイプ、FUL と FDL のみです。

5. 「オーダー・タイプ (Order Type)」ページで、次の表に記載されているオーダー・タイプの設定を確認し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
オーダーのタイプ	システムに存在するオーダー・タイプ (例: FDL)。

フィールド	説明
プロトコル・バージョン (Protocol Version)	サポートされている EBICS バージョンに関連するスキーマ・バージョン (例: H003)。
リリース・バージョン (Release Version)	銀行でサポートされている EBICS バージョン (例: 02.40)。
説明	オーダー・タイプのわかりやすい説明 (例: あらゆる形式のファイルのダウンロード)。
転送タイプ (Transfer Type)	転送タイプは次のどちらかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アップロード = EBICS クライアントから EBICS サーバーへのオーダー・データのアップロード</li> <li>・ ダウンロード = EBICS サーバーから EBICS クライアントへのオーダー・データのダウンロード</li> </ul>
オーダー・データ・タイプ (Order Data Type)	オーダー・データ・タイプは次のどちらかです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ システム = システム・オーダー・タイプ</li> <li>・ 銀行特有 = 銀行特有オーダー・タイプ</li> </ul>

6. オーダー・タイプに関連付けられているファイル形式および対応する国コードが「ファイル形式リスト (File Format List)」ページに表示されます。ファイル形式をオーダー・タイプに関連付けるには、「追加 (add)」をクリックします。ファイル形式とオーダー・タイプの関連付けを解除するには、「削除 (delete)」をクリックします。
7. このステップは、ファイル形式の追加または削除を選択した場合にのみ適用されます。「名前データでフィルター (Filter Data By Name)」フィールドにファイル形式名の一部を入力し、「フィルター (Filter)」アイコンをクリックして、フィルター処理されたリストを表示します。矢印を使用して、使用可能なファイル形式を「割り当て済み (Assigned)」リストに追加することもできます。使用可能なファイル形式をすべて「割り当て済み (Assigned)」リストに追加するには、最初の二重矢印をクリックします。
8. 「次へ (Next)」をクリックします。
9. 「確認 (Confirm)」ページで、「ファイル形式のリスト (List of File Formats)」の横にある「すべて表示 (Show All)」をクリックして、オーダー・タイプに関連付けられているファイル形式のリストを表示します。オーダー・タイプの設定を確認し、「完了 (Finish)」をクリックします。

## プロファイル・マネージャーの構成

### このタスクについて

Sterling B2B Integrator のプロファイル・マネージャーでは、次のプロファイルを構成することができます。

- ・ 銀行
- ・ パートナー
- ・ ユーザー

注: 各種データベース間における大/小文字の区別の無視を回避するために、プロフィール ID (銀行、パートナー、およびユーザー) の値は大文字で指定する必要があります。プロフィール ID の値を他の形式で指定した場合、Sterling B2B Integrator では値が大文字に変更されます。

## 銀行プロフィールの作成

銀行プロフィールには EBICS ホスト情報が格納されます。

### このタスクについて

銀行プロフィールを作成するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロフィール・マネージャー (Profile Manager)」 > 「銀行の構成 (Bank Configuration)」を選択します。
3. 「銀行の構成 (Bank Configuration)」ページで、「新規銀行の作成 (Create New Bank)」の横にある「実行 (Go)」をクリックします。
4. 「銀行の構成 (Bank Configuration)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を入力し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
銀行 ID (ホスト ID)	必須。銀行のシステムでの銀行の固有 ID を指定します。  注: 銀行 ID を指定するには SWIFT-BIC (金融機関識別コード) 形式を使用する必要があります。推奨される SWIFT-BIC 形式で銀行 ID を指定しなかった場合、支払ステータス・レポート (.PSR) は生成されません。
銀行名 (Bank Name)	必須。銀行の名前を指定します。
住所行 1 (Address Line 1)	オプション。銀行の住所を指定します。
住所行 2 (Address Line 2)	オプション。銀行の住所を指定します。
市区町村 (City)	オプション。銀行の住所に関連します。市区町村の名前を指定します。
都道府県 (State or Province)	オプション。都道府県の名前を指定します。
国/地域	オプション。国または地域を選択します。
郵便番号 (Zip or Postal Code)	オプション。郵便番号を指定します。
時間帯	オプション。タイム・ゾーンを選択します。
E メール・アドレス (E-mail Address)	オプション。銀行の E メール・アドレスを指定します。
電話番号 (Telephone Number)	オプション。電話番号を指定します。国コードと市外局番も入力してください。

5. 「銀行特有の情報 (Bank Technical Information)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を入力し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
暗号化プライベート証明書 (Encryption Private Certificate)	オプション。インバウンド・オーダー・データの暗号解除に銀行が使用するキーを指定します。このキーは、Sterling B2B Integrator システム証明書でなければなりません。銀行は、キーのパブリック部分を EBICS パートナーおよびユーザーに配布する必要があります。
暗号化パブリック証明書 (Encryption Public Certificate)	オプション。EBICS Banking Server への暗号化された要求の送信を有効にするためのキーを指定します。このキーは、EBICS Banking Server によって配布されます。銀行は、キーのパブリック部分を EBICS パートナーおよびユーザーに配布する必要があります。このキーは、Sterling B2B Integrator システム証明書のパブリック部分でなければなりません。
認証プライベート証明書 (Authentication Private Certificate)	オプション。EBICS パートナーおよびユーザーに送信される応答のデジタル署名を作成するのに銀行が使用するプライベート・キーを指定します。パートナーとユーザーは、権限を検証するために、キーのパブリック部分を持っている必要があります。このキーは、Sterling B2B Integrator システム証明書でなければなりません。
認証パブリック証明書 (Authentication Public Certificate)	オプション。EBICS Banking Server から受け取った応答の権限を検証するために銀行がユーザーに提供するキーを指定します。このキーは、EBICS Banking Server によって配布されます。このキーは、Sterling B2B Integrator システム証明書のパブリック部分でなければなりません。
リカバリーの最大試行回数 (Maximum Recovery Attempts)	必須。トランザクションのリカバリーの試行回数を指定します。デフォルト値は 0 で、リカバリーが行われないことを示します。
許可される署名最大数	必須。契約内の各オーダー・タイプまたはファイル・フォーマットに対して許可される個人署名の最大数を指定します。デフォルト値は 2 です。値が 0 に設定される場合、銀行の契約に個人署名は不要です。
事前検証を許可する (Allow Prevalidation)	オプション。最初のトランザクション・ステップの一部である、口座の権限、口座の上限、電子署名、およびオーダー・データなどの事前検証を許可するには、このチェック・ボックスを選択します。デフォルトでは、このオプションは選択されています。

フィールド	説明
クライアント・ダウンロードをサポートする (Support Client Download)	オプション。クライアント・データのダウンロード。オーダー・タイプ HKD および HTD をサポートするには、このチェック・ボックスを選択します。
オーダー・ダウンロードをサポートする (Support Order Download)	オプション。ダウンロード可能なオーダー・データ。オーダー・タイプ HAA をサポートするには、このチェック・ボックスを選択します。
X509 データをサポートする (Support X509Data)	オプション。X.509 データをサポートするには、このチェック・ボックスを選択します。デフォルトでは、このオプションは選択されています。
X509 データを保持する (Persist X509Data)	オプション。サーバー上にユーザーの X.509 データを永続的に保管するには、このチェック・ボックスを選択します。デフォルトでは、このオプションは選択されています。

6. 「銀行 URL (Bank URL)」 ページで、次の操作を実行します。

- 「追加 (add)」 をクリックして、新しい銀行 URL を追加します。
- 編集する銀行 URL の横にある「編集 (edit)」 をクリックします。
- 削除する銀行 URL の横にある「削除 (delete)」 をクリックします。

7. このステップは、新しい銀行 URL の追加を選択した場合にのみ適用されます。「銀行 URL: 詳細 (Bank URL: Details)」 ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「次へ (Next)」 をクリックします。

フィールド	説明
銀行 URL (Bank URL)	必須。銀行がホストする HTTP URL を指定します。1 つの銀行に複数の URL を指定することができ、少なくとも 1 つは URL が必要です。ユーザーが要求を銀行に送信できるように、銀行 URL がユーザーに提供されます。Uniform Resource Indicator (URI) は、ポートで待機して EBICS 要求があれば受信するように、HTTP Server アダプターで構成します。  注: 銀行 ID ごとに固有のポート番号または URI が必要です。
有効期間の開始日 (Valid From)	オプション。URL または IP が有効になる日付を MM/DD/YYYY 形式で指定します。「カレンダー (Calendar)」 アイコンをクリックして、日付を選択してください。

8. 「銀行プロトコル (Bank Protocol)」 ページで、次の操作を実行します。

- 「追加 (add)」 をクリックして、新しい銀行プロトコルを追加します。
- 編集する銀行プロトコルの横にある「編集 (edit)」 をクリックします。
- 削除する銀行プロトコルの横にある「削除 (delete)」 をクリックします。



9. このステップは、新しい銀行プロトコルの追加を選択した場合にのみ適用されます。「銀行プロトコル: 詳細 (Bank Protocol: Details)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
プロトコル・バージョン (Protocol Version)	必須。サポートされている EBICS バージョンに関連するスキーマ・バージョンを選択します。有効な値は H004、H003 および H000 です。デフォルト値は H003 です。
リリース・バージョン (Release Version)	銀行でサポートされており、指定したプロトコル・バージョンに関連付けられている EBICS バージョンが表示されます。

10. このステップは、新規銀行プロトコルを追加した場合にのみ適用できます。「銀行プロトコル: 銀行プロセス (Bank Protocol: Bank Process)」ページで、次の操作を実行します。
- 「追加 (add)」をクリックして、新しい銀行プロセスを追加します。
  - 編集する銀行プロセスの横にある「編集 (edit)」をクリックします。
  - 削除する銀行プロセスの横にある「削除 (delete)」をクリックします。
11. このステップは、新しい銀行プロセスの追加を選択した場合にのみ適用されます。「銀行プロセス: 詳細 (Bank Process: Details)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
タイプ (Type)	必須。プロセス・タイプを選択します。有効な値は以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 暗号化 (Encryption)</li> <li>• 署名 (Signature)</li> <li>• 認証 (Authentication)</li> </ul>
バージョン (Version)	必須。プロセス・バージョンを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• プロセス・タイプとして暗号化を選択した場合、有効な値は E002 です。</li> <li>• プロセス・タイプとして署名を選択した場合、有効な値は A005 および A006 です。</li> <li>• プロセス・タイプとして認証を選択した場合、有効な値は X002 です。</li> </ul>

12. 「銀行プロトコル: 銀行プロセス (Bank Protocol: Bank Process)」ページで、「次へ (Next)」をクリックします。
13. 「確認 (Confirm)」ページで、銀行の構成設定を確認します。
- 銀行 URL 情報の横にある「すべてを表示」をクリックして、銀行 URL 設定を表示します。
  - 銀行プロトコル情報/銀行プロセス情報の横にある「すべてを表示」をクリックして、プロトコル・バージョン、リリース・バージョン、銀行プロセス・タイプ、および銀行プロセス・バージョンを表示します。

銀行構成設定を確認し終わったら、「終了」をクリックします。

## 銀行プロフィールの検索

### このタスクについて

銀行プロフィールを検索するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロフィール・マネージャー (Profile Manager)」 > 「銀行の構成 (Bank Configuration)」を選択します。
3. 「銀行の構成 (Bank Configuration)」ページで、次のいずれかの操作を行い、「実行 (Go)」をクリックします。
  - 「検索 (Search)」の下の「銀行 ID (ホスト ID) (Bank ID (Host ID))」フィールドに、検索する銀行プロフィールの銀行 ID の一部または銀行 ID 全体を入力します。
  - 「英数字別にリスト (List Alphabetically)」ドロップダウン・リストから、「すべて」を選択するか、あるいは検索する銀行の ID の先頭の文字を選択します。「すべて (ALL)」を選択すると、すべての銀行 ID がリストに表示されます。

## 銀行プロフィールの編集

銀行プロフィールには EBICS ホスト情報が格納されます。

### このタスクについて

銀行プロフィールを編集するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロフィール・マネージャー (Profile Manager)」 > 「銀行の構成 (Bank Configuration)」を選択します。
3. 「銀行の構成 (Bank Configuration)」ページで、「検索 (Search)」または「リスト (List)」を使用して、編集する銀行 ID (ホスト ID) を探して選択し、「実行 (Go)」をクリックします。
4. 編集する銀行 ID の横にある「編集 (edit)」をクリックします。
5. 「銀行の構成 (Bank Configuration)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を入力し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
銀行名 (Bank Name)	必須。銀行の名前を指定します。
住所行 1 (Address Line 1)	オプション。銀行の住所を指定します。
住所行 2 (Address Line 2)	オプション。銀行の住所を指定します。
市区町村 (City)	オプション。市区町村の名前を指定します。

フィールド	説明
都道府県 (State or Province)	オプション。都道府県の名前を指定します。
国/地域	オプション。国または地域を選択します。
郵便番号 (Zip or Postal Code)	オプション。郵便番号を指定します。
時間帯	オプション。タイム・ゾーンを選択します。
E メール・アドレス (E-mail Address)	オプション。銀行の E メール・アドレスを指定します。
電話番号 (Telephone Number)	オプション。電話番号を指定します。国コードと市外局番も入力してください。

6. 「銀行特有の情報 (Bank Technical Information)」 ページで、次の表に記載されているフィールドの値を入力し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
暗号化プライベート証明書 (Encryption Private Certificate)	オプション。インバウンド・オーダー・データの暗号化解除に銀行が使用するキーを指定します。このキーは、Sterling B2B Integrator システム証明書でなければなりません。銀行は、キーのパブリック部分を EBICS パートナーおよびユーザーに配布する必要があります。
暗号化パブリック証明書 (Encryption Public Certificate)	オプション。EBICS Banking Server への暗号化された要求の送信を有効にするためのキーを指定します。このキーは、EBICS Banking Server によって配布されます。銀行は、キーのパブリック部分を EBICS パートナーおよびユーザーに配布する必要があります。このキーは、Sterling B2B Integrator システム証明書のパブリック部分でなければなりません。
認証プライベート証明書 (Authentication Private Certificate)	オプション。EBICS パートナーおよびユーザーに送信される応答のデジタル署名を作成するのに銀行が使用するプライベート・キーを指定します。パートナーとユーザーは、権限を検証するために、キーのパブリック部分を持っている必要があります。このキーは、Sterling B2B Integrator システム証明書でなければなりません。
認証パブリック証明書 (Authentication Public Certificate)	オプション。EBICS Banking Server から受け取った応答の権限を検証するために銀行がユーザーに提供するキーを指定します。このキーは、EBICS Banking Server によって配布されます。このキーは、Sterling B2B Integrator システム証明書のパブリック部分でなければなりません。
リカバリーの最大試行回数 (Maximum Recovery Attempts)	必須。トランザクションのリカバリーの試行回数を指定します。デフォルト値は 0 で、リカバリーが行われないことを示します。

フィールド	説明
許可される署名最大数	必須。契約内の各オーダー・タイプまたはファイル・フォーマットに対して許可される個人署名の最大数を指定します。デフォルト値は 2 です。値が 0 に設定される場合、銀行の契約に個人署名は不要です。
事前検証を許可する (Allow Prevalidation)	オプション。最初のトランザクション・ステップの一部である、口座の権限、口座の上限、電子署名、およびオーダー・データなどの事前検証を許可するには、このチェック・ボックスを選択します。デフォルトでは、このオプションは選択されています。
クライアント・ダウンロードをサポートする (Support Client Download)	オプション。クライアント・データのダウンロード。オーダー・タイプ HKD および HTD をサポートするには、このチェック・ボックスを選択します。
オーダー・ダウンロードをサポートする (Support Order Download)	オプション。ダウンロード可能なオーダー・データ。オーダー・タイプ HAA をサポートするには、このチェック・ボックスを選択します。
X509 データをサポートする (Support X509Data)	オプション。X.509 データをサポートするには、このチェック・ボックスを選択します。デフォルトでは、このオプションは選択されています。
X509 データを保持する (Persist X509Data)	オプション。サーバー上にユーザーの X.509 データを永続的に保管するには、このチェック・ボックスを選択します。デフォルトでは、このオプションは選択されています。

7. 「銀行 URL (Bank URL)」 ページで、次の操作を実行します。
  - 「追加 (add)」 をクリックして、新しい銀行 URL を追加します。
  - 編集する銀行 URL の横にある「編集 (edit)」 をクリックします。
  - 削除する銀行 URL の横にある「削除 (delete)」 をクリックします。
8. このステップは、銀行 URL の追加または編集を選択した場合にのみ適用されます。「銀行 URL: 詳細 (Bank URL: Details)」 ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「次へ (Next)」 をクリックします。

フィールド	説明
銀行 URL (Bank URL)	<p>必須。銀行がホストする HTTP URL を指定します。1 つの銀行に複数の URL を指定することができ、少なくとも 1 つは URL が必要です。ユーザーが要求を銀行に送信できるように、銀行 URL がユーザーに提供されます。Uniform Resource Indicator (URI) は、ポートで待機して EBICS 要求があれば受信するように、HTTP Server アダプターで構成します。</p> <p><b>注:</b> 銀行 ID ごとに固有のポート番号または URI が必要です。</p>
有効期間の開始日 (Valid From)	<p>オプション。URL または IP が有効になる日付を MM/DD/YYYY 形式で指定します。「カレンダー (Calendar)」アイコンをクリックして、日付を選択してください。</p>

9. 「銀行プロトコル (Bank Protocol)」ページで、次の操作を実行します。
  - 「追加 (add)」をクリックして、新しい銀行プロトコルを追加します。
  - 編集する銀行プロトコルの横にある「編集 (edit)」をクリックします。
  - 削除する銀行プロトコルの横にある「削除 (delete)」をクリックします。
10. このステップは、銀行プロトコルの追加または編集を選択した場合にのみ適用できます。「銀行プロトコル: 詳細 (Bank Protocol: Details)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
プロトコル・バージョン (Protocol Version)	<p>必須。サポートされている EBICS バージョンに関連するプロトコル・バージョンを選択します。有効な値は H004、H003 および H000 です。デフォルト値は H003 です。</p>
リリース・バージョン (Release Version)	<p>銀行でサポートされており、指定したプロトコル・バージョンに関連付けられている EBICS バージョンが表示されます。</p>

11. このステップは、銀行プロトコルを追加または編集した場合にのみ適用できます。「銀行プロトコル: 銀行プロセス (Bank Protocol: Bank Process)」ページで、次の操作を実行します。
  - 「追加 (add)」をクリックして、新しい銀行プロセスを追加します。
  - 編集する銀行プロセスの横にある「編集 (edit)」をクリックします。
  - 削除する銀行プロセスの横にある「削除 (delete)」をクリックします。
12. このステップは、銀行プロセスの追加または編集を選択した場合にのみ適用されます。「銀行プロセス: 詳細 (Bank Process: Details)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
タイプ (Type)	<p>必須。プロセス・タイプを選択します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 暗号化 (Encryption)</li> <li>• 署名 (Signature)</li> <li>• 認証 (Authentication)</li> </ul>
バージョン (Version)	<p>必須。プロセス・バージョンを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プロセス・タイプとして暗号化を選択した場合、有効な値は E002 です。</li> <li>• プロセス・タイプとして署名を選択した場合、有効な値は A005 および A006 です。</li> <li>• プロセス・タイプとして認証を選択した場合、有効な値は X002 です。</li> </ul>

- 「銀行プロトコル: 銀行プロセス (Bank Protocol: Bank Process)」ページで、「次へ (Next)」をクリックします。
- 「確認 (Confirm)」ページで、銀行の構成設定を確認します。
  - 銀行 URL 情報の横にある「すべてを表示」をクリックして、銀行 URL 設定を表示します。
  - 銀行プロトコル情報/銀行プロセス情報の横にある「すべてを表示」をクリックして、プロトコル・バージョン、リリース・バージョン、銀行プロセス・タイプ、および銀行プロセス・バージョンを表示します。

銀行構成設定を確認し終わったら、「終了」をクリックします。

## 銀行プロファイルの削除 このタスクについて

銀行プロファイルを削除するには、以下のステップを実行します。

注: パートナーとの契約が銀行で確立されている場合、銀行プロファイルを削除することはできません。

### 手順

- Sterling B2B Integrator にログインします。
- 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロファイル・マネージャー (Profile Manager)」 > 「銀行の構成 (Bank Configuration)」を選択します。
- 「銀行の構成 (Bank Configuration)」ページで、「検索 (Search)」または「リスト (List)」を使用して、削除する銀行 ID (ホスト ID) を探して選択し、「実行 (Go)」をクリックします。
- 削除する銀行 ID の横にある「削除 (delete)」をクリックします。
- 「銀行の構成 (Bank Configuration)」ページに戻るには、「戻る (Return)」をクリックします。

## パートナー・プロファイルの作成

パートナー・プロファイルを作成すると、パートナーは EBICS サーバーと対話できるようになります。

### このタスクについて

パートナーとは、EBICS サーバーとやり取りする顧客です。顧客とは、銀行と契約を結んでいる組織単位（企業または個人）です。

顧客には、それぞれパートナー ID が割り当てられた 1 つ以上のパートナーを指定できます。各パートナーには、1 つ以上の銀行口座を指定することができます。

パートナー・プロファイルを作成するには、以下の手順を実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロファイル・マネージャー (Profile Manager)」 > 「パートナーの構成 (Partner Configuration)」を選択します。
3. 「パートナーの構成 (Partner Configuration)」ページで、「新規パートナーの作成 (Create New Partner)」の横にある「実行 (Go)」をクリックします。
4. 「パートナーの構成 (Partner Configuration)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を入力し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
パートナー ID	必須。銀行のシステムでのパートナーの固有 ID を指定します。パートナー ID のリストから選択するには、「パートナー ID」フィールドの横にある「ルックアップ (Lookup)」アイコンをクリックします。 注: 「ルックアップ」アイコンを使用した場合は、35 文字を超えるパートナー ID を選択すると、Sterling B2B Integrator がその値を 35 文字にトリムして、データベースに新しいレコード (トリムされた値) を作成します。
組織コード (Organization Code)	必須。取引パートナーのユーザー・インターフェースまたは Sterling File Gateway のユーザー・インターフェースを使用して Sterling B2B Integrator で作成された組織のコードを指定します。
パートナー名 (Partner Name)	必須。パートナーの名前を指定します。 Sterling File Gateway ユーザー・インターフェースの検索機能を使用して、パートナーを検索することができます。
住所行 1 (Address Line 1)	オプション。パートナーの住所を指定します。

フィールド	説明
住所行 2 (Address Line 2)	オプション。パートナーの住所を指定します。
市区町村 (City)	オプション。市区町村の名前を指定します。
都道府県 (State or Province)	オプション。都道府県の名前を指定します。
国/地域	オプション。国または地域を選択します。
郵便番号 (Zip or Postal Code)	オプション。郵便番号を指定します。
時間帯	オプション。タイム・ゾーンを選択します。
E メール・アドレス (E-mail Address)	オプション。パートナーの E メール・アドレスを指定します。
電話番号 (Telephone Number)	オプション。パートナーの電話番号を指定します。国コードと市外局番も入力してください。

- 「パートナー口座 (Partner Acct)」ページで、次の操作を実行します。
  - 「追加 (add)」をクリックして、新しいパートナー口座を追加します。
  - 編集するパートナー口座の横にある「編集 (edit)」をクリックします。
  - 削除するパートナー口座の横にある「削除 (delete)」をクリックします。
- このステップは、新しいパートナー口座の追加または既存のパートナー口座の編集を選択した場合にのみ適用されます。パートナーには複数の口座情報を指定できますが、口座情報を指定しなくてもかまいません。「パートナー口座: パートナー口座情報 (Partner Acct: Partner Account Info)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を入力し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
口座 ID (Account ID)	必須。パートナーの口座識別コードを指定します。口座 ID は、銀行がパートナーおよびユーザーをオーダー・タイプと関連付ける際に使用されます。
口座所有者名 (Account Holder Name)	必須。口座 ID が属する口座所有者の名前を指定します。
口座の説明 (Account Description)	オプション。パートナーの口座に関する情報を指定します。
口座通貨 (Account Currency)	必須。口座に関連する取引を行う際の通貨を選択します。デフォルト値は「[EUR] 欧州共同体ユーロ ([EUR] European Community Euro)」です。



フィールド	説明
口座番号 (Account Number)	国内口座番号を指定しない場合は必須です。国内標準 (ドイツ) または国際標準 (IBAN) 形式で口座番号を指定します。  有効な口座番号は、3 から 10 桁の数字コード、または 7 から 30 文字の英数字コードでなければなりません。英数字コードの場合、最初の 2 文字は A から Z、次の 2 文字は数字で、その後に A-Za-z0-9 というパターンを使用する 3 から 30 個の文字が続きます。
国際標準 (International)	オプション。口座番号を国際標準 (IBAN) 形式で指定する場合、このチェック・ボックスを選択します。
国内口座番号 (National Account Number)	口座番号を指定しない場合は必須です。自由形式で口座番号を指定します。これは、ドイツ標準にも国際 (SWIFT-BIC) 標準にも準拠しない国内口座番号に適用できます。
フォーマット (Format)	国内口座番号を指定する場合は必須です。口座番号のフォーマットを指定します。
銀行コード (Bank Code)	口座 ID を指定する場合は必須です。自由形式で銀行コードを指定します。  銀行コードは、8 桁の数字コード、または 11 文字の英数字コードでなければなりません。英数字コードの場合、最初の 6 文字は A から Z、次の 5 文字は A から Z または 0 から 9 です。
国際標準 (International)	オプション。銀行コードを国際標準 (SWIFT) 形式で指定する場合、このチェック・ボックスを選択します。
接頭辞 (銀行コード) (Prefix (Bank Code))	オプション。国内銀行ソート・コードの接頭辞を指定します。
国内銀行コード (National Bank Code)	必須。自由形式で銀行コードを指定します。これは、ドイツ標準にも国際 (SWIFT-BIC) 標準にも準拠しない各国銀行コードに適用できます。
フォーマット (Format)	国内銀行コードを指定する場合は必須です。銀行コードのフォーマットを指定します。

7. 「パートナー口座 (Partner Acct)」 ページで、「次へ (Next)」 をクリックします。
8. 「確認 (Confirm)」 ページで、パートナーの構成設定を確認します。「パートナー・アカウント設定」の横にある「すべてを表示」をクリックすると、そのパートナーに対して指定されているアカウントの詳細が表示されます。すべてのパートナー構成設定を確認し終わったら、「終了」 をクリックします。

## パートナー・プロファイルの検索

### このタスクについて

パートナー・プロファイルを検索するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロファイル・マネージャー (Profile Manager)」 > 「パートナーの構成 (Partner Configuration)」を選択します。
3. 「パートナーの構成 (Partner Configuration)」ページで、次のいずれかの操作を行い、「実行 (Go)」をクリックします。
  - 「検索 (Search)」の下の「パートナー ID」フィールドに、検索するパートナー・プロファイルのパートナー ID の一部またはパートナー ID 全体を入力します。
  - 「英数字別にリスト (List Alphabetically)」ドロップダウン・リストから、「すべて」を選択するか、あるいは検索するパートナーの ID の先頭の文字を選択します。「すべて (ALL)」を選択すると、すべてのパートナー ID がリストに表示されます。

## パートナー・プロファイルの編集

パートナーが EBICS サーバーと適正に対話できるようにするために、ときにはパートナー・プロファイルの更新が必要になることがあります。

### このタスクについて

パートナー・プロファイルを編集するには、以下の手順を実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロファイル・マネージャー (Profile Manager)」 > 「パートナーの構成 (Partner Configuration)」を選択します。
3. 「パートナーの構成 (Partner Configuration)」ページで、「検索 (Search)」または「リスト (List)」を使用して、編集するパートナー ID を探して選択し、「実行 (Go)」をクリックします。
4. 編集するパートナー ID の横にある「編集 (edit)」をクリックします。
5. 「パートナーの構成 (Partner Configuration)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を入力し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
パートナー名 (Partner Name)	必須。パートナーの名前を指定します。 Sterling File Gateway ユーザー・インターフェースの検索機能を使用して、パートナーを検索することができます。

フィールド	説明
住所行 1 (Address Line 1)	オプション。パートナーの住所を指定します。
住所行 2 (Address Line 2)	オプション。パートナーの住所を指定します。
市区町村 (City)	オプション。市区町村の名前を指定します。
都道府県 (State or Province)	オプション。都道府県の名前を指定します。
国/地域	オプション。国または地域を選択します。
郵便番号 (Zip or Postal Code)	オプション。郵便番号を指定します。
時間帯	オプション。タイム・ゾーンを選択します。
E メール・アドレス (E-mail Address)	オプション。パートナーの E メール・アドレスを指定します。
電話番号 (Telephone Number)	オプション。パートナーの電話番号を指定します。国コードと市外局番も入力してください。

6. 「パートナー口座 (Partner Acct)」 ページで、次の操作を実行します。
  - 「追加 (add)」 をクリックして、新しいパートナー口座を追加します。
  - 編集するパートナー口座の横にある「編集 (edit)」 をクリックします。
  - 削除するパートナー口座の横にある「削除 (delete)」 をクリックします。
7. このステップは、新しいパートナー口座の追加または既存のパートナー口座の編集を選択した場合にのみ適用されます。パートナーには複数の口座情報を指定できますが、口座情報を指定しなくてもかまいません。「パートナー口座: パートナー口座情報 (Partner Acct: Partner Account Info)」 ページで、次の表に記載されているフィールドの値を入力し、「次へ (Next)」 をクリックします。

フィールド	説明
口座 ID (Account ID)	必須。パートナーの口座識別コードを指定します。口座 ID は、銀行がパートナーおよびユーザーをオーダー・タイプと関連付ける際に使用されます。
口座所有者名 (Account Holder Name)	必須。口座 ID が属する口座所有者の名前を指定します。
口座の説明 (Account Description)	オプション。パートナーの口座に関する情報を指定します。
口座通貨 (Account Currency)	必須。口座に関連する取引を行う際の通貨を選択します。デフォルト値は「[EUR] 欧州共同体ユーロ ([EUR] European Community Euro)」です。

フィールド	説明
口座番号 (Account Number)	国内口座番号を指定しない場合は必須です。国内標準 (ドイツ) または国際標準 (IBAN) 形式で口座番号を指定します。  有効な口座番号は、3 から 10 桁の数字コード、または 7 から 30 文字の英数字コードでなければなりません。英数字コードの場合、最初の 2 文字は A から Z、次の 2 文字は数字で、その後に A-Za-z0-9 というパターンを使用する 3 から 30 個の文字が続きます。
国際標準 (International)	オプション。口座番号を国際標準 (IBAN) 形式で指定する場合、このチェック・ボックスを選択します。
国内口座番号 (National Account Number)	口座番号を指定しない場合は必須です。自由形式で口座番号を指定します。これは、ドイツ標準にも国際 (SWIFT-BIC) 標準にも準拠しない国内口座番号に適用できます。
フォーマット (Format)	国内口座番号を指定する場合は必須です。口座番号のフォーマットを指定します。
銀行コード (Bank Code)	口座 ID を指定する場合は必須です。自由形式で銀行コードを指定します。  銀行コードは、8 桁の数字コード、または 11 文字の英数字コードでなければなりません。英数字コードの場合、最初の 6 文字は A から Z、次の 5 文字は A から Z または 0 から 9 です。
国際標準 (International)	オプション。銀行コードを国際標準 (SWIFT) 形式で指定する場合、このチェック・ボックスを選択します。
接頭辞 (銀行コード) (Prefix (Bank Code))	オプション。国内銀行ソート・コードの接頭辞を指定します。
国内銀行コード (National Bank Code)	必須。自由形式で銀行コードを指定します。これは、ドイツ標準にも国際 (SWIFT-BIC) 標準にも準拠しない各国銀行コードに適用できます。
フォーマット (Format)	国内銀行コードを指定する場合は必須です。銀行コードのフォーマットを指定します。

8. 「パートナー口座 (Partner Acct)」 ページで、「次へ (Next)」 をクリックします。
9. 「確認 (Confirm)」 ページで、パートナーの構成設定を確認します。「パートナー・アカウント設定」の横にある「すべてを表示」をクリックすると、そのパートナーに対して指定されているアカウントの詳細が表示されます。すべてのパートナー構成設定を確認し終わったら、「終了」 をクリックします。

## パートナー・プロファイルの削除

### このタスクについて

パートナー・プロファイルを削除するには、以下のステップを実行します。

注: パートナーが銀行との契約を確立している場合、パートナー・プロファイルを削除することはできません。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロファイル・マネージャー (Profile Manager)」 > 「パートナーの構成 (Partner Configuration)」を選択します。
3. 「パートナーの構成 (Partner Configuration)」ページで、「検索 (Search)」または「リスト (List)」を使用して、削除するパートナー ID を探して選択し、「実行 (Go)」をクリックします。
4. 削除するパートナー ID の横にある「削除 (delete)」をクリックします。
5. 「パートナーの構成 (Partner Configuration)」ページに戻るには、「戻る (Return)」をクリックします。

## ユーザー・プロファイルの作成

EBICS ユーザーは、1 つまたは複数のパートナーに属することができます。EBICS メッセージを交換できるように、必ず、ユーザーをパートナーと関連付ける必要があります。

### このタスクについて

ユーザー・プロファイルを作成するには、以下の手順を実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロファイル・マネージャー (Profile Manager)」 > 「ユーザーの構成 (User Configuration)」を選択します。
3. 「ユーザーの構成 (User Configuration)」ページで、「新規ユーザーの作成 (Create New User)」の横にある「実行 (Go)」をクリックします。
4. 「ユーザーの構成 (User Configuration)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を入力し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
ユーザー ID	必須。銀行のシステムでのユーザーの固有 ID を指定します。
ユーザー名 (User Name)	必須。ユーザーの名前を指定します。
住所行 1 (Address Line 1)	オプション。ユーザーの住所を指定します。
住所行 2 (Address Line 2)	オプション。ユーザーの住所を指定します。

フィールド	説明
市区町村 (City)	オプション。市区町村の名前を指定します。
都道府県 (State or Province)	オプション。都道府県の名前を指定します。
国/地域	オプション。国または地域を選択します。
郵便番号 (Zip or Postal Code)	オプション。郵便番号を指定します。
時間帯	オプション。タイム・ゾーンを選択します。
E メール・アドレス (E-mail Address)	オプション。ユーザーの E メール・アドレスを指定します。
電話番号 (Telephone Number)	オプション。ユーザーの電話番号を指定します。国コードと市外局番も入力してください。

5. 「関連パートナー (Associated Partners)」 ページで、次の操作を実行します。

- 「追加 (add)」 をクリックして、新しい関連パートナーを追加します。
- 編集する関連パートナーの横にある「編集 (edit)」 をクリックします。
- 削除する関連パートナーの横にある「削除 (delete)」 をクリックします。
- 保留する関連パートナーの横にある「保留 (suspend)」 をクリックします。

中断して、ユーザーにこれ以上トランザクションを行わせないようにするには、「中断」 をクリックします。この中断オプションを使用してユーザーが中断された後は、INI および HIA の送信による初期化は不可能になります。中断は、銀行が「リセット」 をクリックすることによってのみ取り消すことができます。

6. このステップは、新しい関連パートナーの追加または既存の関連パートナーの編集を選択した場合にのみ適用されます。銀行は、契約に基づいて、許可、オーダー・タイプ、およびファイル形式のセットをユーザーに割り当てます。「関連パートナー: ユーザー設定 (Associated Partners: User Settings)」 ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「次へ (Next)」 をクリックします。

フィールド	説明
<b>関連パートナー (Associate Partner)</b>	
パートナー ID	必須。「パートナー ID」 フィールドでは、ユーザーが関連付けられているパートナーを指定します。ユーザーは、複数のパートナーに属することができます。「パートナー ID」 フィールドの横にある「ルックアップ (Lookup)」 アイコンをクリックして、パートナー ID のリストからパートナー ID を選択することもできます。
<b>メールボックス設定 (Mailbox Settings)</b>	

フィールド	説明
アップロード・メールボックス・パス (Upload Mailbox Path)	<p>必須。アップロードされたメッセージのメールボックス・パスを指定します。EBICS 要求からアンパックされたメッセージを保管するには、メールボックス・パスを割り当てる必要があります。</p> <p>ユーザー ID、パートナー ID、および受信ボックスの設定が指定されていない場合、メールボックスが自動作成されます。値を指定しなかった場合は、デフォルトのメールボックス・パスが設定されます。</p> <p>メールボックス (ユーザー ID、パートナー ID、受信ボックス) が既に Sterling B2B Integrator に存在する場合、このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメールボックス・パスを指定するように求めるエラー・メッセージが表示されます。  <b>注:</b> メールボックス・パスの先頭には、必ずスラッシュ (/) を付けてください。</p>
ダウンロード・メールボックス・パス (Download Mailbox Path)	<p>必須。ダウンロードされたメッセージのメールボックス・パスを指定します。EBICS 応答の一部としてパッケージ化されるメッセージを保管するには、メールボックス・パスを割り当てる必要があります。</p> <p>ユーザー ID、パートナー ID、および送信ボックスの設定が指定されていない場合、メールボックスが自動作成されます。値を指定しなかった場合は、デフォルトのメールボックス・パスが設定されます。</p> <p>メールボックス (ユーザー ID、パートナー ID、送信ボックス) が既に Sterling B2B Integrator に存在する場合、このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメールボックス・パスを指定するように求めるエラー・メッセージが表示されます。  <b>注:</b> メールボックス・パスの先頭には、必ずスラッシュ (/) を付けてください。</p>

フィールド	説明
アーカイブ・メールボックス・パス (Archive Mailbox Path)	<p>必須。ダウンロードされたメッセージをアーカイブするためのメールボックス・パスを指定します。支払ステータス・レポート (PSR) など、FDL 要求によってダウンロードされたメッセージを保管するには、メールボックス・パスを割り当てる必要があります。</p> <p>ユーザー ID、パートナー ID、およびアーカイブの設定が指定されていない場合、メールボックスが自動作成されます。値を指定しなかった場合は、デフォルトのメールボックス・パスが設定されます。</p> <p>メールボックス (ユーザー ID、パートナー ID、アーカイブ) が既に Sterling B2B Integrator に存在する場合、このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメールボックス・パスを指定するように求めるエラー・メッセージが表示されます。</p> <p>注: メールボックス・パスの先頭には、必ずスラッシュ (/) を付けてください。</p>

7. 「関連パートナー (Associated Partners)」 ページで、「次へ (Next)」 をクリックします。
8. 「確認 (Confirm)」 ページで、ユーザーの構成設定を確認します。「パートナーの関連付け」の横にある「すべてを表示」をクリックして、ユーザーに関連付けられたパートナーのリストを表示します。すべてのユーザー構成設定を確認し終えたら、「終了」をクリックします。

## ユーザー・プロファイルの検索

### このタスクについて

ユーザー・プロファイルを検索するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロファイル・マネージャー (Profile Manager)」 > 「ユーザーの構成 (User Configuration)」を選択します。
3. 「ユーザーの構成 (User Configuration)」 ページで、次のいずれかの操作を行い、「実行 (Go)」 をクリックします。
  - 「検索 (Search)」 の下の「ユーザー ID (User ID)」 フィールドに、検索するユーザー・プロファイルのユーザー ID の一部またはユーザー ID 全体を入力します。
  - 「英数字別にリスト (List Alphabetically)」 ドロップダウン・リストから、「すべて」を選択するか、あるいは検索するユーザーの ID の先頭の文字を選択します。「すべて (ALL)」を選択すると、すべてのユーザー ID がリストに表示されます。



## ユーザー・プロファイルの編集

EBICS ユーザーは、1 つまたは複数のパートナーに属することができます。EBICS メッセージを交換できるように、必ず、ユーザーをパートナーと関連付ける必要があります。

### このタスクについて

ユーザー・プロファイルを編集するには、以下の手順を実行します。

### 手順

1. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロファイル・マネージャー (Profile Manager)」 > 「ユーザーの構成 (User Configuration)」を選択します。
2. 「ユーザーの構成 (User Configuration)」ページで、「検索 (Search)」または「リスト (List)」を使用して、編集するユーザー ID を探して選択し、「実行 (Go)」をクリックします。ユーザー ID をクリックすると、ユーザー・プロファイルの設定を表示できます。「ユーザー設定」サマリー・ページで「関連するパートナー」の横にある「すべてを表示」をクリックすると、ユーザーに関連付けられているパートナー ID について、ユーザー・ステータス、ユーザーの役割 (トランスポートまたは署名者)、証明書 (署名、暗号化、および認証)などを始めとする詳細を表示できます。
3. 編集するユーザー ID の横にある「編集 (edit)」をクリックします。
4. 「ユーザーの構成 (User Configuration)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を入力し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
ユーザー名 (User Name)	必須。ユーザーの名前を指定します。
住所行 1 (Address Line 1)	オプション。ユーザーの住所を指定します。
住所行 2 (Address Line 2)	オプション。ユーザーの住所を指定します。
市区町村 (City)	オプション。市区町村の名前を指定します。
都道府県 (State or Province)	オプション。都道府県の名前を指定します。
国/地域	オプション。国または地域を選択します。
郵便番号 (Zip or Postal Code)	オプション。郵便番号を指定します。
時間帯	オプション。タイム・ゾーンを選択します。
E メール・アドレス (E-mail Address)	オプション。ユーザーの E メール・アドレスを指定します。
電話番号 (Telephone Number)	オプション。ユーザーの電話番号を指定します。国コードと市外局番も入力してください。

5. 「関連パートナー (Associated Partners)」ページで、次の操作を実行します。
  - 「追加 (add)」をクリックして、新しい関連パートナーを追加します。
  - 編集する関連パートナーの横にある「編集 (edit)」をクリックします。
  - 削除する関連パートナーの横にある「削除 (delete)」をクリックします。
  - 保留する関連パートナーの横にある「保留 (suspend)」をクリックします。

中断して、ユーザーにこれ以上トランザクションを行わせないようにするには、「**中断**」をクリックします。この中断オプションを使用してユーザーが中断された後は、INI および HIA の送信による初期化は不可能になります。中断は、銀行が「**リセット**」をクリックすることによってのみ取り消すことができます。

- このステップは、新しい関連パートナーの追加または既存の関連パートナーの編集を選択した場合にのみ適用されます。銀行は、契約に基づいて、許可、オーダー・タイプ、およびファイル形式のセットをユーザーに割り当てます。「関連パートナー: ユーザー設定 (Associated Partners: User Settings)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「**次へ (Next)**」をクリックします。

フィールド	説明
<b>関連パートナー (Associate Partner)</b>	
パートナー ID	必須。「 <b>パートナー ID</b> 」フィールドでは、ユーザーが関連付けられているパートナーを指定します。ユーザーは、複数のパートナーに属することができます。「 <b>パートナー ID</b> 」フィールドの横にある「 <b>ルックアップ (Lookup)</b> 」アイコンをクリックして、パートナー ID のリストからパートナー ID を選択することもできます。
<b>メールボックス設定 (Mailbox Settings)</b>	
アップロード・メールボックス・パス (Upload Mailbox Path)	<p>必須。アップロードされたメッセージのメールボックス・パスを指定します。EBICS 要求からアンパックされたメッセージを保管するには、メールボックス・パスを割り当てる必要があります。</p> <p>ユーザー ID、パートナー ID、および受信ボックスの設定が指定されていない場合、メールボックスが自動作成されます。値を指定しなかった場合は、デフォルトのメールボックス・パスが設定されます。</p> <p>メールボックス (ユーザー ID、パートナー ID、受信ボックス) が既に Sterling B2B Integrator に存在する場合、このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメールボックス・パスを指定するように求めるエラー・メッセージが表示されます。</p> <p><b>注:</b> メールボックス・パスの先頭には、必ずスラッシュ (/) を付けてください。</p>

フィールド	説明
ダウンロード・メールボックス・パス (Download Mailbox Path)	<p>必須。ダウンロードされたメッセージのメールボックス・パスを指定します。EBICS 応答の一部としてパッケージ化されるメッセージを保管するには、メールボックス・パスを割り当てる必要があります。</p> <p>ユーザー ID、パートナー ID、および送信ボックスの設定が指定されていない場合、メールボックスが自動作成されます。値を指定しなかった場合は、デフォルトのメールボックス・パスが設定されます。</p> <p>メールボックス (ユーザー ID、パートナー ID、送信ボックス) が既に Sterling B2B Integrator に存在する場合、このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメールボックス・パスを指定するように求めるエラー・メッセージが表示されます。  <b>注:</b> メールボックス・パスの先頭には、必ずスラッシュ (/) を付けてください。</p>
アーカイブ・メールボックス・パス (Archive Mailbox Path)	<p>必須。ダウンロードされたメッセージをアーカイブするためのメールボックス・パスを指定します。支払ステータス・レポート (PSR) など、FDL 要求によってダウンロードされたメッセージを保管するには、メールボックス・パスを割り当てる必要があります。</p> <p>ユーザー ID、パートナー ID、およびアーカイブの設定が指定されていない場合、メールボックスが自動作成されます。値を指定しなかった場合は、デフォルトのメールボックス・パスが設定されます。</p> <p>メールボックス (ユーザー ID、パートナー ID、アーカイブ) が既に Sterling B2B Integrator に存在する場合、このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメールボックス・パスを指定するように求めるエラー・メッセージが表示されます。  <b>注:</b> メールボックス・パスの先頭には、必ずスラッシュ (/) を付けてください。</p>

7. 「関連パートナー (Associated Partners)」 ページで、「次へ (Next)」 をクリックします。
8. 「確認 (Confirm)」 ページで、ユーザーの構成設定を確認します。「パートナーの関連付け」の横にある「すべてを表示」 をクリックして、ユーザーに関連付けられたパートナーのリストを表示します。すべてのユーザー構成設定を確認し終えたら、「終了」 をクリックします。

## ユーザー・プロファイルの削除

### このタスクについて

ユーザー・プロファイルを削除するには、以下のステップを実行します。

注: ユーザー・アクセス許可の構成時にオーダー・タイプがユーザーに割り当てられている場合、ユーザー・プロファイルを削除することはできません。

### 手順

1. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロファイル・マネージャー (Profile Manager)」 > 「ユーザーの構成 (User Configuration)」を選択します。
2. 「検索 (Search)」または「リスト (List)」を使用して、削除するユーザー ID を探し、「実行 (Go)」をクリックします。
3. 削除するユーザー ID の横にある「削除 (delete)」をクリックします。

注: ユーザー・プロファイルを削除しても、既に作成済みの対応するメールボックスは削除されません。

4. 「ユーザーの構成 (User Configuration)」ページに戻るには、「戻る (Return)」をクリックします。

---

## オファー・マネージャーの構成

### このタスクについて

銀行では 1 つ以上のオファーを作成することができます。オファーを使用すると、オーダー・タイプおよびファイル形式のセットをパートナーのリストにまとめることができます。銀行は、オファーを使用することで、パートナーとの契約を簡単に設定することができます。オファーによって、オーダー・タイプ・セットが、関連するオーダー形式および署名とともにまとめられます。1 つのオファーは、1 つのオーダー・タイプ・セットで有効に使用することができます。各パートナーにオーダー・タイプ・セットが 1 つずつ割り当てられます。オファーを作成するには、Sterling B2B Integrator を使用します。

## オファーの作成

Sterling B2B Integrator のオファー・マネージャーを使用してオファーを作成します。

### このタスクについて

オファーを作成するには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オファー・マネージャー (Offer Manager)」 > 「オファーの構成 (Offer Configuration)」を選択します。

3. 「オファーの構成 (Offer Configuration)」 ページで、「**新規オファーの作成 (Create New Offer)**」の横にある「**実行 (Go)**」をクリックします。
4. 「オファーの構成 (Offer Configuration)」 ページで、次の表に記載されているフィールドの値を入力し、「**次へ (Next)**」をクリックします。

フィールド	説明
銀行 ID (ホスト ID)	必須。ドロップダウン・リストから銀行 ID を選択します。
オファー名 (Offer Name)	必須。オファーの名前を指定します。

5. 「オーダー・タイプの関連付け/関連付けの解除 (Associate/Disassociate Order Types)」 ページで、銀行は、オーダー・タイプとファイル形式をオファーのパートナーに割り当てます。その際、すべてのオーダー・タイプを割り当てることもあれば、一部のオーダー・タイプを割り当てることもあります。
  - a. オプションとして、「選択可能なオーダー・タイプ」のリストをフィルタリングすることができます。「**名前データでフィルター (Filter Data By Name)**」フィールドにオーダー・タイプの一部を入力し、「フィルター (Filter)」アイコンをクリックして、フィルター処理されたリストを表示します。
  - b. 使用可能なオーダー・タイプを「**選択されたオーダー・タイプ (Selected Order Types)**」リストに追加するには、矢印を使用します。これで新規に作成されたオファーにオーダー・タイプが割り当てられます。使用可能なオーダー・タイプをすべて「**選択済みのオーダー・タイプ**」リストに追加するには、最初の二重矢印をクリックします。
  - c. 次の表に記載されているフィールドに値を入力し、「**次へ (Next)**」をクリックします。

フィールド	説明
権限レベル (Authorization Level)	<p>オプション。署名者の役割を果たしたユーザーの署名権限を選択します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [T] トランスポート署名: オーダー・データを送信する場合に使用</li> <li>• [E] 単一署名: オーダー・データを許可する場合に使用</li> </ul> <p><b>注:</b> このフィールドは、INI、HIA、およびプロトコル・バージョンが H003 または H004 に設定されたダウンロード・オーダー・タイプには適用できません。</p> <p>このオプションを表示するには、<code>ebics_server.properties</code> ファイルで <code>SigClassesAllowed</code> パラメーターの値を「TE」に設定することによって、許可レベルを指定します。「TE」は、EBICS Banking Serverが T 署名と E 署名の両方をサポートすることを示します。</p> <p>トランスポート署名の場合、ユーザーの役割は送信者です。単一署名の場合、ユーザーの役割は送信者と署名者のどちらにでもすることができます。</p>
必要な署名数。 最小および最大	<p>オプション。オーダーを許可するのに必要な個人署名の最小数および最大数を指定します。これらのフィールド値を指定しない場合、デフォルト値の 0 が使用されます。</p>
ポスト・ビジネス・プロセス	<p>オプション。選択されたオーダー・タイプの完了後に EBICS Banking Server で呼び出されるビジネス・プロセスを選択します。</p>
VEU 使用可能	<p>分散電子署名 (VEU) が使用可能であるかどうかを示します。次の値が有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enabled: VEU を使用可能にする</li> <li>• Disabled: VEU を使用不可にする</li> </ul>

フィールド	説明
デフォルト属性の置換 (Replace Default Attributes)	<p>有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在追加されているオーダー・タイプを置換 (Replace Currently Added Order Types) - このページで指定した属性が、このユーザー・インターフェースから追加されたオーダー・タイプに適用されることを示します。これには、データベースから取得されたオーダー・タイプや、以前に追加されたオーダー・タイプは含まれません。これはデフォルト値です。</li> <li>新しく追加された (未保存の) オーダー・タイプを置換 (Replace Newly Added (unsaved) Order Types) - このページで指定した属性が、追加されたもののまだ保存されていないオーダー・タイプに適用されることを示します。これには、データベースから取得されたオーダー・タイプは含まれません。</li> <li>すべて置換 (Replace ALL) - このページで指定した属性が、「選択されたオーダー・タイプ (Selected Order Types)」リスト内のすべてのオーダー・タイプに適用されることを示します。</li> </ul>

- 「オーダー・タイプ・リスト (Order Type List)」ページに、オファーに割り当てられているオーダー・タイプが表示されます。オーダー・タイプの横にある「編集 (edit)」をクリックして、オファーに割り当てられているオーダー・タイプの設定を編集することができます。「追加 (add)」または「削除 (delete)」をそれぞれクリックして、オーダー・タイプを追加または削除することもできます。
- 「オーダー・タイプ・リスト (Order Type List)」ページで、「次へ (Next)」をクリックします。
- 「確認 (Confirm)」ページで、「オーダー・タイプのリスト (List of Order Types)」の横にある「すべて表示 (Show All)」をクリックして、オファーに割り当てられているオーダー・タイプのリストを表示します。オファー構成設定を確認し、「終了」をクリックします。

## オファーの検索

### このタスクについて

オファーを検索するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

- Sterling B2B Integrator にログインします。
- 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オファー・マネージャー (Offer Manager)」 > 「オファーの構成 (Offer Configuration)」を選択します。

3. 「オファーの構成 (Offer Configuration)」 ページで、次のいずれかの操作を行い、「**実行 (Go)**」をクリックします。
  - 「検索 (Search)」 の下の「**銀行 ID (ホスト ID) (Bank ID (Host ID))**」 フィールドに、検索する銀行 ID の一部または銀行 ID 全体を入力します。
  - 「検索 (Search)」 の下の「**オファー名 (Offer Name)**」 フィールドに、検索するオファー名の一部またはオファー名全体を入力します。
  - 「**英数字別にリスト (List Alphabetically)**」 ドロップダウン・リストから、「すべて」を選択するか、あるいは検索する銀行の ID の先頭の文字を選択します。「すべて (ALL)」を選択すると、すべての銀行 ID がリストに表示されます。

## オファーの編集

Sterling B2B Integrator のオファー・マネージャーを使用してオファーを編集します。

### このタスクについて

オファーを編集するには、以下の手順を実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「**EBICS**」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オファー・マネージャー (Offer Manager)」 > 「オファーの構成 (Offer Configuration)」を選択します。
3. 「オファーの構成 (Offer Configuration)」 ページで、「**検索 (Search)**」または「**リスト (List)**」を使用して、編集するオファーを探して選択し、「**実行 (Go)**」をクリックします。
4. 編集するオファーの横にある「**編集 (edit)**」をクリックします。
5. 「オファーの構成 (Offer Configuration)」 ページに表示されている情報を確認し、「**次へ (Next)**」をクリックします。
6. 「オーダー・タイプの関連付け/関連付けの解除 (Associate/Disassociate Order Types)」 ページで、銀行は、オーダー・タイプとファイル形式をオファーのパートナーに割り当てます。その際、すべてのオーダー・タイプを割り当てることもあれば、一部のオーダー・タイプを割り当てることもあります。
  - a. オプションとして、「選択可能なオーダー・タイプ」のリストをフィルタリングすることができます。「**名前データでフィルター (Filter Data By Name)**」 フィールドにオーダー・タイプの一部を入力し、「フィルター (Filter)」 アイコンをクリックして、フィルター処理されたリストを表示します。
  - b. 使用可能なオーダー・タイプを「**選択されたオーダー・タイプ (Selected Order Types)**」 リストに追加するには、矢印を使用します。これで新規に作成されたオファーにオーダー・タイプが割り当てられます。使用可能なオーダー・タイプをすべて「**選択済みのオーダー・タイプ**」 リストに追加するには、最初の二重矢印をクリックします。
  - c. 次の表に記載されているフィールドに値を入力し、「**次へ (Next)**」をクリックします。



フィールド	説明
権限レベル (Authorization Level)	<p>オプション。署名者の役割を果たしたユーザーの署名権限を選択します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [T] トランスポート署名: オーダー・データを送信する場合に使用</li> <li>• [E] 単一署名: オーダー・データを許可する場合に使用</li> </ul> <p><b>注:</b> このフィールドは、INI、HIA、およびプロトコル・バージョンが H003 または H004 に設定されたダウンロード・オーダー・タイプには適用できません。</p> <p>このオプションを表示するには、<code>ebics_server.properties</code> ファイルで <code>SigClassesAllowed</code> パラメーターの値を「TE」に設定することによって、許可レベルを指定します。「TE」は、EBICS Banking Serverが T 署名と E 署名の両方をサポートすることを示します。</p> <p>トランスポート署名の場合、ユーザーの役割は送信者です。単一署名の場合、ユーザーの役割は送信者と署名者のどちらにでもすることができます。</p>
必要な署名数。 最小および最大	<p>オプション。オーダーを許可するのに必要な個人署名の最小数および最大数を指定します。これらのフィールド値を指定しない場合、デフォルト値の 0 が使用されます。</p>
ポスト・ビジネス・プロセス	<p>オプション。選択されたオーダー・タイプの完了後に EBICS Banking Server で呼び出されるビジネス・プロセスを選択します。</p>
VEU 使用可能	<p>分散電子署名 (VEU) が使用可能であるかどうかを示します。次の値が有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enabled: VEU を使用可能にする</li> <li>• Disabled: VEU を使用不可にする</li> </ul>

フィールド	説明
デフォルト属性の置換 (Replace Default Attributes)	<p>有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 現在追加されているオーダー・タイプを置換 (Replace Currently Added Order Types) - このページで指定した属性が、このユーザー・インターフェースから追加されたオーダー・タイプに適用されることを示します。これには、データベースから取得されたオーダー・タイプや、以前に追加されたオーダー・タイプは含まれません。これはデフォルト値です。</li> <li>• 新しく追加された (未保存の) オーダー・タイプを置換 (Replace Newly Added (unsaved) Order Types) - このページで指定した属性が、追加されたもののまだ保存されていないオーダー・タイプに適用されることを示します。これには、データベースから取得されたオーダー・タイプは含まれません。</li> <li>• すべて置換 (Replace ALL) - このページで指定した属性が、「選択されたオーダー・タイプ (Selected Order Types)」リスト内のすべてのオーダー・タイプに適用されることを示します。</li> </ul>

7. 「オーダー・タイプ・リスト (Order Type List)」ページに、オファーに割り当てられているオーダー・タイプが表示されます。オーダー・タイプの横にある「編集 (edit)」をクリックして、オファーに割り当てられているオーダー・タイプの設定を編集することができます。「追加 (add)」または「削除 (delete)」をそれぞれクリックして、オーダー・タイプを追加または削除することもできます。
8. 「オーダー・タイプ・リスト (Order Type List)」ページで、「次へ (Next)」をクリックします。
9. 「確認 (Confirm)」ページで、「オーダー・タイプのリスト (List of Order Types)」の横にある「すべて表示 (Show All)」をクリックして、オファーに割り当てられているオーダー・タイプのリストを表示します。オファー構成設定を確認し、「終了」をクリックします。

## オファーの削除 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オファー・マネージャー (Offer Manager)」 > 「オファーの構成 (Offer Configuration)」を選択します。
3. 「オファーの構成 (Offer Configuration)」ページで、「検索 (Search)」または「リスト (List)」を使用して、削除するオファーを探して選択し、「実行 (Go)」をクリックします。
4. 削除するオファーの横にある「削除 (delete)」をクリックします。

注: 契約の構成でオファーが既に割り当てられている場合、オファーを削除することはできません。

5. 「オファーの構成 (Offer Configuration)」ページに戻るには、「戻る (Return)」をクリックします。

## 契約の作成

Sterling B2B Integrator のオファー・マネージャーを使用して、銀行とそのパートナーの間の契約を作成します。

### このタスクについて

契約では、次の条件に合意します。

- 顧客が銀行と実施するビジネス・トランザクション
- パートナーの口座情報
- 銀行のシステムを使用するのに必要な許可を持っているユーザー
- ユーザーが所有する権限

契約を作成するには、以下の手順を実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オファー・マネージャー (Offer Manager)」 > 「契約の構成 (Contract Configuration)」を選択します。
3. 「契約の構成 (Contract Configuration)」ページで、「銀行 ID (ホスト ID) (Bank ID (Host ID))」および「オファー名 (Offer Name)」ドロップダウン・リストを使用して、契約を作成する銀行 ID およびオファー名を選択し、「実行 (Go!)」をクリックします。また、契約が既に存在している場合には、「パートナー ID」フィールドにパートナー IDを入力して既存の契約を検索したうえで、「実行」をクリックすることもできます。
4. 銀行は、パートナーをオファーに割り当てることによって、契約を作成します。パートナー ID は、銀行 ID に属するオファーにマップされます。
  - 新規契約を追加する場合には、「新規パートナーのオファーへの追加」の横にある「追加」をクリックします。
  - 契約を変更または削除する場合には、その契約のパートナー ID の横にある「編集」または「削除」をそれぞれクリックします。
  - 各契約のサマリーを表示する場合には、「情報」をクリックします。
5. このステップは、契約の追加または編集を選択した場合にのみ適用されます。「パートナーのオファーへのリンク」ページで、以下の手順を実行します。
  - a. オプション。リストをフィルタリングするには、「パートナー ID でフィルタリング」フィールドにパートナー ID の一部を入力し、フィルター・アイコンをクリックします。
  - b. 「選択」リストからパートナー ID を選択します。
  - c. 「次へ (Next)」をクリックします。

6. 「パートナー・オーダー・タイプ」ページで、「追加」をクリックしてパートナーにオーダー・タイプを追加するか、または「削除」をクリックしてパートナーからオーダー・タイプを削除します。
7. このステップは、オーダー・タイプの追加または削除を選択した場合にのみ適用されます。「オーダー・タイプのパートナーへの追加」ページで、以下の手順を実行します。
  - a. オプション。リストをフィルタリングするには、「パートナー ID でフィルタリング」フィールドにパートナー ID の一部を入力し、フィルター・アイコンをクリックします。
  - b. 使用可能なオーダー・タイプを「選択されたオーダー・タイプ (Selected Order Types)」リストに追加するには、矢印を使用します。使用可能なオーダー・タイプをすべて「選択されたオーダー・タイプ (Selected Order Types)」リストに追加するには、最初の二重矢印をクリックします。
    - a. 「オーダー・タイプをパートナーに追加 (Add Order Types to Partner)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を入力し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
必要な署名の数 (No. of Sign Reqd.) 最小および最大	<p>オプション。オーダーを許可するのに必要な個人署名の最小数および最大数を指定します。これらのフィールドで値を指定しなかった場合、オファーで指定した値が使用されます。</p> <p><b>注:</b> 十分な数の署名者が契約内のオーダー・タイプまたはファイル・フォーマットに割り当てられていない場合は、必要な最小署名数および必要な最大署名数の値が赤色で強調表示されます。必要な署名数がゼロに変更されると、契約に関連付けられているすべての署名者の関連付けが解除されます。</p>
ポスト・ビジネス・プロセス	<p>オプション。選択されたオーダー・タイプの完了後に EBICS Banking Server で呼び出されるビジネス・プロセスを選択します。このフィールドで値を指定しなかった場合、オファーで指定した値が使用されます。</p>
VEU 使用可能	<p>分散電子署名 (VEU) が使用可能であるかどうかを示します。次の値が有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enabled: VEU を使用可能にする</li> <li>• Disabled: VEU を使用不可にする</li> </ul>

フィールド	説明
デフォルト属性の置換 (Replace Default Attributes)	<p>有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 現在追加されているオーダー・タイプを置換 (Replace Currently Added Order Types) - このページで指定した属性が、このユーザー・インターフェースから追加されたオーダー・タイプに適用されることを示します。これには、データベースから取得されたオーダー・タイプや、以前に追加されたオーダー・タイプは含まれません。</li> <li>• 新しく追加された (未保存の) オーダー・タイプを置換 (Replace Newly Added (unsaved) Order Types) - このページで指定した属性が、追加されたもののまだ保存されていないオーダー・タイプに適用されることを示します。これには、データベースから取得されたオーダー・タイプは含まれません。</li> <li>• すべて置換 (Replace ALL) - このページで指定した属性が、「選択されたオーダー・タイプ (Selected Order Types)」リスト内のすべてのオーダー・タイプに適用されることを示します。これはデフォルト値です。</li> </ul>

8. 「パートナー・オーダー・タイプ (Partner Order Types)」ページに、パートナーに割り当てられているオーダー・タイプが表示されます。以下のことを実行することができます。
  - オーダー・タイプの横にある「編集」をクリックして、パートナーに割り当てられているオーダー・タイプの設定を編集します。
  - 「追加」をクリックして、オーダー・タイプを追加します。
  - 「削除」をクリックして、オーダー・タイプを削除します。
    - a. 選択に基づいて必要になるすべてのアクションを完了します。
    - b. すべてのアクションを完了したら、「パートナー・オーダー・タイプ」ページの「次へ」をクリックします。
9. 「確認」ページで、契約構成設定を確認します。「オーダー・タイプのリスト」の横にある「すべてを表示」をクリックして、パートナーに割り当てられているオーダー・タイプのリストを表示します。すべての設定を確認し終えたら、「終了」をクリックします。

## 契約の検索

### このタスクについて

契約を検索するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。

2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オファー・マネージャー (Offer Manager)」 > 「契約の構成 (Contract Configuration)」を選択します。
3. 「契約の構成 (Contract Configuration)」ページで、「銀行 ID (Bank ID)」および「オファー名 (Offer Name)」ドロップダウン・リストを使用して、銀行 ID およびオファー名を探して選択し、「実行 (Go)」をクリックします。

## 契約の編集

Sterling B2B Integrator のオファー・マネージャーを使用して、銀行とそのパートナーの間の契約を編集します。

### このタスクについて

契約を編集するには、以下の手順を実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オファー・マネージャー (Offer Manager)」 > 「契約の構成 (Contract Configuration)」を選択します。
3. 「契約の構成 (Contract Configuration)」ページで、「銀行 ID (ホスト ID) (Bank ID (Host ID))」および「オファー名 (Offer Name)」ドロップダウン・リストを使用して、編集する契約を探して選択し、「実行 (Go)」をクリックします。
4. 編集する契約の横にある「編集 (edit)」をクリックします。
5. 「パートナー・オーダー・タイプ (Partner Order Types)」ページに、パートナーに割り当てられているオーダー・タイプが表示されます。以下のことを実行することができます。
  - オーダー・タイプの横にある「編集」をクリックして、パートナーに割り当てられているオーダー・タイプの設定を編集します。
  - 「追加」をクリックして、オーダー・タイプを追加します。
  - 「削除」をクリックして、オーダー・タイプを削除します。
6. このステップは、オーダー・タイプの追加または削除を選択した場合にのみ適用されます。「オーダー・タイプのパートナーへの追加」ページで、以下の手順を実行します。
  - a. オプション。リストをフィルタリングするには、「パートナー ID でフィルタリング」フィールドにパートナー ID の一部を入力し、フィルター・アイコンをクリックします。
  - b. 使用可能なオーダー・タイプを「選択されたオーダー・タイプ (Selected Order Types)」リストに追加するには、矢印を使用します。使用可能なオーダー・タイプをすべて「選択済みのオーダー・タイプ」リストに追加するには、最初の二重矢印をクリックします。
  - c. 次の表に記載されているフィールドに値を入力し、「次へ (Next)」をクリックします。

フィールド	説明
必要な署名の数 (No. of Sign Reqd.)  最小および最大	オプション。オーダーを許可するのに必要な個人署名の最小数および最大数を指定します。これらのフィールドで値を指定しなかった場合、オファーで指定した値が使用されます。 <b>注:</b> 十分な数の署名者が契約内のオーダー・タイプまたはファイル・フォーマットに割り当てられていない場合は、必要な最小署名数および必要な最大署名数の値が赤色で強調表示されます。必要な署名数がゼロに変更されると、契約に関連付けられているすべての署名者の関連付けが解除されます。
ポスト・ビジネス・プロセス	オプション。選択されたオーダー・タイプの完了後に EBICS Banking Server で呼び出されるビジネス・プロセスを選択します。このフィールドで値を指定しなかった場合、オファーで指定した値が使用されます。
VEU 使用可能	分散電子署名 (VEU) が使用可能であるかどうかを示します。次の値が有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enabled: VEU を使用可能にする</li> <li>• Disabled: VEU を使用不可にする</li> </ul>
デフォルト属性の置換 (Replace Default Attributes)	有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 現在追加されているオーダー・タイプを置換 (Replace Currently Added Order Types) - このページで指定した属性が、このユーザー・インターフェースから追加されたオーダー・タイプに適用されることを示します。これには、データベースから取得されたオーダー・タイプや、以前に追加されたオーダー・タイプは含まれません。</li> <li>• 新しく追加された (未保存の) オーダー・タイプを置換 (Replace Newly Added (unsaved) Order Types) - このページで指定した属性が、追加されたもののまだ保存されていないオーダー・タイプに適用されることを示します。これには、データベースから取得されたオーダー・タイプは含まれません。</li> <li>• すべて置換 (Replace ALL) - このページで指定した属性が、「選択されたオーダー・タイプ (Selected Order Types)」リスト内のすべてのオーダー・タイプに適用されることを示します。これはデフォルト値です。</li> </ul>

7. このステップは、オーダー・タイプの編集を選択した場合にのみ適用されます。「パートナー・オーダー詳細の編集」ページでは、「オーダー・タイプ」、「プロトコル・バージョン」、および「ファイル・フォーマット」が表示されます

が、編集することはできません。必要に応じて、以下の表に記載されているフィールドの値を修正し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
必要な署名の数 (No. of Sign Req'd.) 最小および最大	オプション。オーダーを許可するのに必要な個人署名の最小数および最大数を指定します。これらのフィールドで値を指定しなかった場合、オファーで指定した値が使用されます。 <b>注:</b> 十分な数の署名者が契約内のオーダー・タイプまたはファイル・フォーマットに割り当てられていない場合は、必要な最小署名数および必要な最大署名数の値が赤色で強調表示されます。必要な署名数がゼロに変更されると、契約に関連付けられているすべての署名者の関連付けが解除されます。
VEU 使用可能	分散電子署名 (VEU) が使用可能であるかどうかを示します。次の値が有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enabled: VEU を使用可能にする</li> <li>• Disabled: VEU を使用不可にする</li> </ul>
ポスト・ビジネス・プロセス	オプション。選択されたオーダー・タイプの完了後に EBICS Banking Server で呼び出されるビジネス・プロセスを選択します。このフィールドで値を指定しなかった場合、オファーで指定した値が使用されます。

- すべてのアクションを完了したら、「パートナー・オーダー・タイプ」ページの「次へ」をクリックします。
- 「確認」ページで、契約構成設定を確認します。「オーダー・タイプのリスト」の横にある「すべてを表示」をクリックして、パートナーに割り当てられているオーダー・タイプのリストを表示します。すべての設定を確認し終えたら、「終了」をクリックします。

## ユーザー・アクセス許可の構成

### このタスクについて

Sterling B2B Integrator では、オーダー・タイプとファイル形式すべて、または契約など、特定のオファーでパートナーに現在割り当てられているオーダー・タイプとファイル形式の一部を割り当てることによって、必要な許可を EBICS ユーザーに付与することができます。

## ユーザー・アクセス許可の検索

### このタスクについて

パートナーとユーザーの関係を検索するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。



2. 「管理」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー」 > 「ユーザー許可構成」を選択します。
3. 「ユーザー・アクセス許可の構成 (User Permission Configuration)」ページで、次のいずれかの操作を行い、「実行 (Go)」をクリックします。
  - 「検索 (Search)」の下の「パートナー ID」フィールドに、検索するパートナー ID の一部またはパートナー ID 全体を入力します。パートナー ID のリストから選択するには、「パートナー ID」フィールドの横にある「ルックアップ (Lookup)」アイコンをクリックします。「パートナー ID でデータをフィルター (Filter Data By Partner ID)」フィールドにパートナー ID の一部を入力し、「フィルター (Filter)」アイコンをクリックして、フィルター処理されたリストを表示することができます。「パートナー ID の選択 (Select Partner ID)」リストからパートナー ID を選択し、「保存 (Save)」をクリックすることもできます。
  - 「検索 (Search)」の下の「ユーザー ID (User ID)」フィールドに、検索するユーザー ID の一部またはユーザー ID の名前全体を入力します。ユーザー ID のリストから選択するには、「ユーザー ID (User ID)」フィールドの横にある「ルックアップ (Lookup)」アイコンをクリックします。「ユーザー ID でデータをフィルター (Filter Data By User ID)」フィールドに名前の一部を入力し、「フィルター (Filter)」アイコンをクリックして、フィルター処理されたリストを表示することができます。「ユーザー ID の選択 (Select User ID)」リストからユーザー ID を選択し、「保存 (Save)」をクリックすることもできます。

パートナーとユーザー、オファーとユーザー、およびパートナーが契約を確立している銀行とユーザーの間にある関係のリストが表示されます。

## ユーザー・アクセス許可の編集

Sterling B2B Integrator のサブスクリプション・マネージャーを使用してユーザー許可を編集することができます。

### このタスクについて

ユーザー許可構成を編集するには、以下の手順を実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「ユーザー・アクセス許可の構成 (User Permission Configuration)」を選択します。
3. 「ユーザー・アクセス許可の構成 (User Permission Configuration)」ページで、「検索 (Search)」または「リスト (List)」を使用して、編集する契約を探して選択し、「実行 (Go)」をクリックします。
4. 編集するユーザー・アクセス許可の横にある「編集 (edit)」をクリックします。各ユーザー許可のサマリーを表示する場合には、「情報」をクリックします。
5. 「オーダー・タイプのリスト (List of Order Types)」ページに、ユーザーに割り当てられているオーダー・タイプが表示されます。以下の情報が表示されます。

- オーダーのタイプ
- プロトコル・バージョン (Protocol Version)
- ファイル形式 (File Format)
- 許可レベル (Authorization Level): T または E
- 選択されたアカウント (Selected Accounts): パートナー・アカウント ID (パートナー・アカウントの詳細を表示する場合には、リンクをクリックします。)
- 通貨 (Currency)
- 最高金額 (Maximum Amount)

「オーダー・タイプの追加または削除」の横にある「追加」または「削除」をクリックすると、オーダー・タイプを追加または削除できます。

また、オーダー・タイプの横にある「編集」をクリックすると、ユーザーに割り当てられている大半のオーダー・タイプの設定を編集することもできます。ただし、すべてのオーダー・タイプを編集できるわけではありません。オーダー・タイプのリストを編集するときには、オーダー・タイプが銀行特有オーダー・タイプであれば、「許可レベル」の値を変更できます。しかし、オーダー・タイプがそのプロトコル・バージョンを H003 に設定されたダウンロード用の銀行特有オーダー・タイプである場合には、「許可レベル」の値を変更できません。これは、H003 が電子署名をサポートしていないからです。特定のオーダー・タイプについては、最大金額を変更することもできます。

- このステップは、ユーザーに関連付けられたオーダー・タイプの追加または削除を選択した場合にのみ適用できます。「オーダー・データでデータをフィルター (Filter Data By Order Data)」フィールドにオーダー・タイプの一部を入力し、「フィルター (Filter)」アイコンをクリックして、フィルター処理されたリストを表示することができます。矢印を使用して、使用可能なオーダー・タイプを「選択されたオーダー・タイプ (Selected Order Types)」リストに追加することもできます。使用可能なオーダー・タイプをすべて「選択済みのオーダー・タイプ」リストに追加するには、最初の二重矢印をクリックします。「使用可能なオーダー・タイプ (Available Order Types)」リストに、契約でパートナーに割り当てられているオーダー・タイプが表示されます。ユーザーに許可を割り当てるには、「使用可能なオーダー・タイプ (Available Order Types)」リストから「選択されたオーダー・タイプ (Selected Order Types)」リストにオーダー・タイプを移動します。終了したら、「次へ」をクリックします。
- このステップは、ユーザーに関連付けられたオーダー・タイプの追加を選択した場合にのみ適用できます。「オーダー・タイプ属性設定 (Order Type Attribute Settings)」ページで、パートナー・アカウント ID のリンクをクリックすると、そのパートナー・アカウント情報を表示できます。設定を選択するには、次の表に記載されているフィールドの値を入力し、「次へ」をクリックします。

フィールド	説明
通貨 (Currency)	このフィールドは編集できません。このフィールドの値は、このフィールドが関連付けられているパートナー・アカウントに応じて決定されます。

フィールド	説明
最高金額 (Maximum Amount)	<p>オプション。ユーザーの金額の上限を指定します。アカウントの関連付けは、銀行特有オーダー・タイプに適用できますが、プロトコル・バージョンが H003 に設定されたダウンロード用の銀行特有オーダー・タイプには適用できません。これは、H003 が電子署名をサポートしていないからです。</p> <p>アカウントの関連付けに適用できるオーダー・タイプについては、パートナー・アカウントに少なくとも 1 つの最大金額を入力する必要があります。値は 0 より大きくなければなりません。</p>
権限レベル (Authorization Level)	<p>オプション。署名者の役割を果たしたユーザーの署名権限を選択します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [T] トランスポート署名: オーダー・データを送信する場合に使用</li> <li>• [E] 単一署名: オーダー・データを許可する場合に使用</li> </ul> <p><b>注:</b> このフィールドは、INI、HIA、およびプロトコル・バージョンが H003 または H004 に設定されたダウンロード・オーダー・タイプには適用できません。</p> <p>このオプションを表示するには、<code>ebics_server.properties</code> ファイルで <code>SigClassesAllowed</code> パラメーターの値を「TE」に設定することによって、許可レベルを指定します。「TE」は、EBICS Banking Serverが T 署名と E 署名の両方をサポートすることを示します。</p> <p>トランスポート署名の場合、ユーザーの役割は送信者です。単一署名の場合、ユーザーの役割は送信者と署名者のどちらにでもすることができます。</p> <p>このフィールドの値を指定しない場合には、デフォルト値である「[T] トランスポート署名」が使用されます。</p>

フィールド	説明
デフォルト属性の置換 (Replace Default Attributes)	<p>有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 現在追加されているオーダー・タイプを置換 (Replace Currently Added Order Types) - このページで指定した属性が、このユーザー・インターフェースから追加されたオーダー・タイプに適用されることを示します。これには、データベースから取得されたオーダー・タイプや、以前に追加されたオーダー・タイプは含まれません。</li> <li>• 新しく追加された (未保存の) オーダー・タイプを置換 (Replace Newly Added (unsaved) Order Types) - このページで指定した属性が、追加されたもののまだ保存されていないオーダー・タイプに適用されることを示します。これには、データベースから取得されたオーダー・タイプは含まれません。</li> <li>• すべて置換 (Replace ALL) - このページで指定した属性が、「選択されたオーダー・タイプ (Selected Order Types)」リスト内のすべてのオーダー・タイプに適用されることを示します。これはデフォルト値です。</li> </ul>

8. このステップは、ユーザーに関連付けられたオーダー・タイプの編集を選択した場合にのみ適用できます。「オーダー・タイプの設定」ページで、関連付けられたオーダー・タイプの許可レベルを編集できます。許可レベルの設定を編集するには、リストから次のいずれかを選択します。

- [T] トランспорт署名: オーダー・データを送信する場合に使用
- [E] 単一署名: オーダー・データを許可する場合に使用

許可レベルが E から T に変更されると、関連付けられているアカウントと署名者が関連付け解除されます。

終了したら、「次へ」をクリックします。

9. このステップは、ユーザーに関連付けられたオーダー・タイプの編集を選択した場合に、特定のオーダー・タイプに対してのみ適用できます。「アカウントの関連付け」ページで、パートナー・アカウント ID のリンクをクリックすると、そのパートナー・アカウント情報を表示できます。1 つ以上の関連付けられたパートナー・アカウントの最大金額設定を編集するには、「最大金額」フィールドでパートナーの限度額を指定します。少なくとも 1 つのパートナー・アカウントが「最大金額」と関連付けられていなければなりません。終了したら、「次へ」をクリックします。

注: アカウントの関連付けは、銀行特有オーダー・タイプに適用できますが、プロトコル・バージョンが H003 に設定されたダウンロード用の銀行特有オーダー・タイプには適用できません。これは、H003 が電子署名をサポートしていないからです。アカウントの関連付けに適用できるオーダー・タイプについて

は、パートナー・アカウントの少なくとも 1 つに最大金額を入力する必要があります。値は 0 より大きくなければなりません。  
これで「オーダー・タイプのリスト」ページに戻ります。

10. 「オーダー・タイプのリスト (List of Order Type(s))」ページで、「次へ (Next)」をクリックします。
11. 「確認」ページで、ユーザー許可構成設定を確認します。「オーダー・タイプのリスト」の横にある「すべてを表示」をクリックして、ユーザーに割り当てられているオーダー・タイプのリストを表示します。すべてのユーザー許可構成設定を確認し終わったら、「終了」をクリックします。

## ユーザー・アクセス許可の確認

### このタスクについて

ユーザーの構成に関する情報がサブスクリプション・マネージャー・データベースに保管されているかどうかを確認するには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「操作 (Operation)」 > 「システム (System)」 > 「サポート・ツール (Support Tool)」 > 「SQL マネージャー (SQL Manager)」を選択します。
3. 「SQL マネージャー (SQL Manager)」ページで、次の操作を実行します。
  - ユーザーおよびパートナーに関連するユーザー関係情報を表示するには、`select * from EB_PTNER_USER` を実行します。
  - 銀行およびオファーに関連するユーザー関係情報を表示するには、`select * from EB_HOST_OFFER` を実行します。

---

## 署名者の作成

契約およびユーザー許可を構成した後で、契約内のオーダー・タイプまたはファイル・フォーマットに関連付けられる署名者の指定リストを構成できます。契約を構成するときには、オーダーを許可するために必要な署名の数を 0 より大きな値に指定した場合、署名者を構成する必要があります。

### このタスクについて

署名者を構成する際は、契約に関連付けられた各オーダー・タイプまたはファイル・フォーマットに対して署名の追加、編集、および削除を行うことができます。「署名者構成」ページを使用すると、特定の銀行、オファー、またはパートナーについて署名者を追加することができます。このページは、契約の署名者を構成するために使用します。

**注:** このメニューを使用できるのは、EBICS 管理者許可グループに割り当てられたユーザーです。

署名者を作成するには、以下のステップを実行します。

## 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理」メニューから、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー」 > 「署名者構成」を選択します。
3. 「署名者構成」ページで、「銀行 ID (ホスト ID)」ドロップダウン・リストと「オファー名」ドロップダウン・リストを使用して、署名者の作成に必要な銀行 ID とオファー名を選択し、「実行」をクリックします。また、「パートナー ID」フィールドでパートナー ID を指定することもできます。「パートナー ID」フィールドの横にある「ルックアップ」アイコンをクリックして、リストからパートナー ID を選択します。「Go」をクリックします。選択した銀行のオファーに関連付けられたパートナー契約のリストが表示されます。「情報」をクリックして契約のサマリーを表示します。オーダーを許可するために必要な署名が 1 つ以上あるオーダー・タイプまたはファイル・フォーマットが少なくとも 1 つ契約に含まれていれば、「編集」ボタンが表示されます。
4. 変更するパートナー ID の横にある「編集 (edit)」をクリックします。契約内のオーダー・タイプとファイル・フォーマットのリストが表示されます。「パートナー ID」、「ユーザー ID」、および「許可レベル」の各フィールドについては、契約のオーダー・タイプまたはファイル・フォーマットに署名者が割り当てられたとき、値が設定されます。
5. 「パートナー・オーダー・タイプ」ページに、オーダー ID とオファー名に関連する以下の情報が表示されます。
  - オーダーのタイプ
  - プロトコル・バージョン (Protocol Version)
  - ファイル形式 (File Format)
  - 必要な最小署名数
  - 必要な最大署名数
  - パートナー ID (署名者と関連付けられたもの)
  - ユーザー ID (署名者と関連付けられたもの)
  - 許可レベル - T または E (署名者と関連付けられたもの)必要な最小署名数と必要な最大署名数の数字が赤で表示された場合は、十分な数の署名者がオーダー・タイプに割り当てられていないことを示します。
6. オーダー・タイプまたはファイル・フォーマットの横にある「編集」をクリックして、署名者の詳細を変更します。署名者は、パートナー ID 別にグループ化されています。複数の署名者が同じパートナーに割り当てられている場合、ユーザー ID は分割された行に表示されます。
7. 「署名者の編集」ページに、選択したパートナー ID の銀行 ID とオファー名に関連する以下の情報が表示されます。
  - 銀行 ID (ホスト ID)
  - オファー名 (Offer Name)
  - オーダーのタイプ
  - プロトコル・バージョン (Protocol Version)
  - ファイル形式 (File Format)
  - 必要な最小署名数

- 必要な最大署名数
8. 署名者を追加するには「追加」を、編集するには「編集」を、削除するには「削除」を、それぞれクリックします。
  9. 「署名者の追加」ページで、既存のパートナーまたは新規のパートナーからのオーダー・タイプに署名者を関連付けることができます。
    - a. 「パートナー ID」フィールドでパートナー IDを指定します。パートナー ID のリストから選択するには、「パートナー ID (Partner ID)」フィールドの横にある「ルックアップ (Lookup)」アイコンをクリックします。非トランスポート署名許可を持つ選択されたパートナーに関連付けられ、選択済みのオーダー・タイプおよびファイル・フォーマットにアクセスできるユーザーのリストが、「選択可能なユーザー」と「選択済みユーザー」の欄に表示されます。
    - b. 使用可能なユーザーを「選択されたユーザー (Selected Users)」リストに追加するには、矢印を使用します。選択可能なユーザーをすべて「選択済みユーザー」リストに追加するには、最初の二重矢印をクリックします。
    - c. 「次へ (Next)」をクリックします。
  10. 「署名者の編集」ページで、「次へ」をクリックします。
  11. 「パートナー・オーダー・タイプ」ページで、「次へ」をクリックします。
  12. 「確認」ページで、「オーダー・タイプ」の横にある「すべてを表示」をクリックして、オーダー・タイプに割り当てられた署名者の数を表示します。署名者構成設定を確認し、「終了」をクリックします。

---

## VEU 管理による支払い明細の処理の使用可能化

Sterling B2B Integrator で、EBICS 支払いオーダーから支払い明細を抽出するには、ポストプロセス・ビジネス・プロセスのパートナー・オーダー・タイプを構成する必要があります。

### 始める前に

ポストプロセス・ビジネス・プロセス (ポスト BP) のパートナー・オーダー・タイプを構成する前に、Sterling B2B Integrator で以下を完了する必要があります。

1. EBICS Payment Detail xml ファイルへの入力となるオーダー・データを変換または抽出する JavaTask サービスまたは変換サービスを作成します。
2. このサービスを、EBICSPaymentDetail ビジネス・プロセス内にあるサンプル・サービスに置換します。
3. EBICSPaymentDetail ビジネス・プロセスのバージョンを保存します。

### このタスクについて

以下の手順に従って、ポスト・ビジネス・プロセス処理のパートナー・オーダー・タイプを構成します。

### 手順

1. 「管理メニュー」から、「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー」 > 「オファー・マネージャー」 > 「契約構成」を選択します。
2. 「銀行 ID (ホスト ID)」と「オファー名」を選択します。

3. 「Go」をクリックします。
4. 変更する必要がある契約の行内で「編集」をクリックします。
5. 「パートナー・オーダー・タイプ」ページから、以下を実行します。
  - a. 「ポスト・ビジネス・プロセス」を構成する必要がある「オーダー・タイプ」と「ファイル・フォーマット」を含む行を見つけ、その行内で「編集」をクリックします。
  - b. 「ポスト・ビジネス・プロセス」ドロップダウンから「EBICSPaymentDetail」を選択します。
  - c. 「次へ (Next)」をクリックします。
  - d. 追加のオーダー・タイプおよびファイル・フォーマットの必要に応じて繰り返します。
6. 「パートナー・オーダー・タイプ (Partner Order Types)」ページで、「次へ (Next)」をクリックします。
7. 契約構成設定を確認し、「終了」をクリックします。

## タスクの結果

これにより、Sterling B2B Integrator EBICS Server の VEU 管理が、HVT および HVZ の支払い明細を処理できるようになります。

---

## EBICS GUI リソースにアクセスするための権限

EBICS グラフィカル・ユーザー・インターフェースおよび Sterling B2B Integrator のその機能にアクセスするには、「EBICS オペレーター」または「EBICS 管理者」権限グループのいずれかのうちに割り当てられている必要があります。次の表は、各グループのメンバーが使用できる機能をまとめたものです。

グループ	グループ・メンバーが使用できる機能
EBICS オペレーター (EBICS Operators)	サブスクリプション・マネージャーでのエンティティの作成および編集
EBICS 管理者 (EBICS Administrators)	サブスクリプション・マネージャーでのエンティティの作成、編集、および削除

注: FG\_OPERATOR グループの場合、Web サービス (/ws) 画面に EBICS メニューは表示されません。これは、EBICS はサブグループであり、Web サービス (/ws) 画面には、サブグループのものではない権限が表示されるためです。FG\_SYSADMIN グループの場合は、Web サービス (/ws) 画面に EBICS メニューが表示されます。Sterling File Gateway のオペレーターおよびシステム管理者の役割については詳しくは、Sterling File Gateway のヘルプを参照してください。

次の表は、Sterling B2B Integrator の EBICS メニュー項目と、各グループに関連するページにアクセスするのに必要な権限のリストです。

注: メニュー項目へのアクセス権限があれば、関連するページの全機能に加えて、管理者許可があるユーザーに制限されている削除機能にアクセスすることができます。



メニュー項目	許可名 (許可 ID)	EBICS オペレーター とともに継承される許 可	EBICS 管理者とともに 継承される許可
EBICS	UI EBICS メニュー (UI EBICS Menu) (EBICS)	はい	はい
「EBICS」 > 「サブスクリ プション・マネージャー (Subscription Manager)」	UI EBICS Subscription Manager (UI EBICS Subscription Manager) (EBICS_SUBSCRIP_MANAGER)	はい	はい
「EBICS」 > 「サブスクリ プション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オーダー・タイプ・マネ ージャー (Order Type Manager)」	UI EBICS オーダー・タイプ・マネ ージャー (UI EBICS Order Type Manager) (EBICS_ORDER_MANAGER)	はい	はい
「EBICS」 > 「サブスクリ プション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オーダー・タイプ・マネ ージャー (Order Type Manager)」 > 「ファイル形 式の構成 (File Format Configuration)」	UI EBICS ファイル形式の構成の削除 (UI Delete EBICS File Format Configuration) (EBICS_FILE_FMT_CONF_DEL)	いいえ	はい
	UI EBICS ファイル形式の構成 (UI EBICS File Format Configuration) (EBICS_FILE_FMT_CONF)	はい	はい
「EBICS」 > 「サブスクリ プション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オーダー・タイプ・マネ ージャー (Order Type Manager)」 > 「オーダー・ タイプの構成 (Order Type Configuration)」	UI EBICS オーダー・タイプの構成の 削除 (UI Delete EBICS Order Type Configuration) (EBICS_ORD_TYPE_CONF_DEL)	いいえ	はい
	UI EBICS オーダー・タイプの構成 (UI EBICS Order Type Configuration) (EBICS_ORDER_CONFIG)	はい	はい
「EBICS」 > 「サブスクリ プション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロファイル・マネー ジャー (Profile Manager)」	UI EBICS プロファイル・マネージャ ー (UI EBICS Profile Manager) (EBICS_PROFILE_MANAGER)	はい	はい
「EBICS」 > 「サブスクリ プション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロファイル・マネー ジャー (Profile Manager)」 > 「銀行の構成 (Bank Configuration)」	UI EBICS 銀行プロファイルの構成の 削除 (UI Delete EBICS Bank Profile Configuration) (EBICS_BANK_CONFIG_DEL)	いいえ	はい
	UI EBICS 銀行プロファイルの構成 (UI EBICS Bank Profile Configuration) (EBICS_BANK_CONFIG)	はい	はい

メニュー項目	許可名 (許可 ID)	EBICS オペレーター とともに継承される許可	EBICS 管理者とともに 継承される許可
「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロファイル・マネージャー (Profile Manager)」 > 「パートナーの構成 (Partner Configuration)」	UI EBICS パートナー・プロファイルの構成の削除 (UI Delete EBICS Partner Profile Configuration) (EBICS_PARTNER_CONFIG_DEL)	いいえ	はい
	UI EBICS パートナー・プロファイルの構成 (UI EBICS Partner Profile Configuration) (EBICS_PARTNER_CONF)	はい	はい
「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「プロファイル・マネージャー (Profile Manager)」 > 「ユーザーの構成 (User Configuration)」	UI EBICS ユーザー・プロファイルの構成の削除 (UI Delete EBICS User Profile Configuration) (EBICS_USER_CONFIG_DEL)	いいえ	はい
	UI EBICS ユーザー・プロファイルの構成 (UI EBICS User Profile Configuration) (EBICS_USER_CONFIG)	はい	はい
「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オファー・マネージャー (Offer Manager)」	UI EBICS オファー・マネージャー (UI EBICS Offer Manager) (EBICS_OFFER_MANAGER)	はい	はい
「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オファー・マネージャー (Offer Manager)」 > 「オファーの構成 (Offer Configuration)」	UI EBICS オファーの構成の削除 (UI Delete EBICS Offer Configuration) (EBICS_OFFER_CONFIG_DEL)	いいえ	はい
	UI EBICS オファーの構成 (UI EBICS Offer Configuration) (EBICS_OFFER_CONFIG)	はい	はい
「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「オファー・マネージャー (Offer Manager)」 > 「契約の構成 (Contract Configuration)」	UI EBICS 契約の構成の削除 (UI Delete EBICS Contract Configuration) (EBICS_CONTRACT_CONF_DEL)	いいえ	はい
	UI EBICS 契約の構成 (UI EBICS Contract Configuration) (EBICS_CONTRACT_CONF)	はい	はい
「EBICS」 > 「サブスクリプション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「ユーザー・アクセス許可の構成 (User Permission Configuration)」	UI EBICS ユーザー・アクセス許可の構成の削除 (UI Delete EBICS User Permission Configuration) (EBICS_USERPERM_CONF_DEL)	いいえ	はい
	UI EBICS ユーザー・アクセス許可の構成 (UI EBICS User Permission Configuration) (EBICS_USERPERM_CONF)	はい	はい

メニュー項目	許可名 (許可 ID)	EBICS オペレーター とともに継承される許 可	EBICS 管理者とともに 継承される許可
「EBICS」 > 「ユーティリ ティー (Utilities)」 > 「サ ブスクライバー・キーの検 証 (Subscriber Keys Validation)」	UI EBICS サブスクライバー・キーの 検証 (UI EBICS Subscriber Key Validation) (EBICS_SUBS_KEY_VAL)	はい	はい
「EBICS」 > 「サブスクリプ ション・マネージャー (Subscription Manager)」 > 「署名者構成 (Signatory Configuration)」	UI EBICS 署名者構成 (UI EBICS Signatory Configuration) (EBICS_SIGNATORY_CONF)	いいえ	はい

ユーザーがいずれのグループにも割り当てられていない場合、親メニューに GUI 項目を表示するには、次の許可とともに対応する子項目の許可が割り当てられている必要があります。

- UI EBICS メニュー (UI EBICS Menu)
- UI EBICS Subscription Manager (UI EBICS Subscription Manager)
- UI EBICS オーダー・タイプ・マネージャー (UI EBICS Order Type Manager)
- UI EBICS プロファイル・マネージャー (UI EBICS Profile Manager)
- UI EBICS オファー・マネージャー (UI EBICS Offer Manager)

## サブスクリプション・マネージャー情報のインポート

EBICSSubscrMgrImport ビジネス・プロセスを使用すると、銀行、パートナー、ユーザー、オファー、ユーザー関係、およびオーダー・タイプとファイル形式に関連する構成を EBICS Banking Server でインポートすることができます。

### 始める前に

インポート・ファイルを作成するには、次のいずれかの方法を使用します。

**注:** 最適なパフォーマンスを確保するには、単独のインポート・ファイルを使用する場合は、ファイル内のパートナーおよびユーザーの数を最大 5000 ずつとし (例えば、1 ユーザーに対して 1 パートナー)、対応する個別の構成の詳細を含むインポート・ファイルを使用する場合は、それぞれのインポート・ファイルについて最大 5000 パートナーまたは 5000 ユーザーとすることをお勧めします。また、個別の構成の詳細を含むユーザー・データのファイルは、順次インポートすることをお勧めします。ファイルの同時インポートは、ファイルの順次インポートと比べると、短時間で完了する可能性があります。ただし、ファイルを同時にインポートできるかどうかは、システムのパフォーマンスによって決まります。例えば、4 つのプロセッサを搭載した Red Hat Enterprise Linux Server リリース 5.1 では、2000 パートナーおよび 2000 ユーザーのファイル 5 つを同時にインポートする際にも、優れたパフォーマンス結果がもたらされます。

- 銀行、パートナー、ユーザー、オファー、契約、ユーザー許可、およびオーダー・タイプとファイル形式の構成情報を含む単独のインポート・ファイルを使用する。
- 対応する構成情報を含む個別のインポート・ファイル (例えば、ユーザーに関連する構成の詳細を含むインポート・ファイル、パートナーとのユーザー関係およびユーザー許可の構成の詳細を含むインポート・ファイルなど) を使用する。

## このタスクについて

銀行、パートナー、ユーザー、オファー、ユーザー関係、またはオーダー・タイプとファイル形式に関連する構成を EBICS Banking Server でインポートするには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「ビジネス・プロセス (Business Processes)」 > 「マネージャー (Manager)」を選択します。
3. 「プロセス名 (Process Name)」フィールドでビジネス・プロセス名の一部またはビジネス・プロセス名全体を指定して、EBICSSubscrMgrImport ビジネス・プロセスを検索し、「実行 (Go)」をクリックします。あるいは、すべてのビジネス・プロセスをリストしたり、プロセス名の先頭文字に基づいて特定のプロセスをリストしたりすることもできます。「アルファベット順 (Alphabetically)」の横にある下矢印をクリックし、選択を行って、「実行 (Go)」をクリックします。
4. 実行するプロセス名の横にある「実行マネージャー (execution manager)」をクリックします。
5. 「実行 (execute)」をクリックします。
6. 「ビジネス・プロセス入力の実行 (Execute Business Process Input)」ページで、必要な構成を含む <input.xml> ファイルを参照して探し、そのファイルを選択して、「実行 (Go)」をクリックします。銀行、パートナー、ユーザー、オファー、ユーザー関係、またはオーダー・タイプとファイル形式に関連する構成に基づいて、EBICS Banking Server で入力ファイルが作成されます。

ビジネス・プロセスの実行が完了すると、Sterling B2B Integrator のインスタンス・データに、インポートが成功したかどうかを示すメッセージが表示されます。

---

## サブスクリプション・マネージャー情報のエクスポート

次の表は、EBICSSubscrMgrExport ビジネス・プロセスの主要ドキュメントに必要な XML 属性のリストです。このビジネス・プロセスでは、ホスト ID、パートナー ID、ユーザー ID、プロトコル・バージョン、およびオーダー・タイプに関連する情報を取得することができます。

## このタスクについて

属性	説明
HostId	ホスト ID に基づいて、ホストに関連するすべての情報が取得されます。これには、基本的なホスト情報、ホストに関連するすべての URL、ホストに属するすべてのオファー、および各オファーに属するすべてのオーダー・タイプが含まれます。
HostId PartnerId	ホスト ID とパートナー ID に基づいて、ホストおよび指定されたパートナーに関連するすべての情報が取得されます。パートナーが属するオファー、パートナーが使用するオーダー、およびそのパートナーに属するユーザーのリストが指定されます。パートナー情報には、パートナーに関連する口座情報が含まれます。
HostId PartnerId UserId	ホスト、パートナー、パートナーが属するオファー、ユーザー、およびパートナーが関連付けられているオーダーに関連する情報が取得されます。口座情報は、ユーザーによって使用されます。ユーザー情報には、ユーザーの許可 (権限レベルなど)、最高金額、通貨、テスト・フローの許可、およびユーザー・キーなどが含まれます。
ProtocolVer	H003 など、定義されているプロトコル・バージョンに関連付けられているすべてのオーダー・タイプとファイル形式に関連する情報が取得されます。
ProtocolVer OrdType	H003 など、定義されているプロトコル・バージョンに関連付けられているすべてのオーダー・タイプとファイル形式、および FUL などのオーダー・タイプに関連する情報が取得されます。

銀行、パートナー、ユーザー、オファー、ユーザー関係、またはオーダー・タイプとファイル形式に関連する構成を EBICS Banking Server でエクスポートするには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「ビジネス・プロセス (Business Processes)」 > 「マネージャー (Manager)」を選択します。
3. 「プロセス名 (Process Name)」フィールドでビジネス・プロセス名の一部またはビジネス・プロセス名全体を指定して、EBICSSubscrMgrExport ビジネス・プロセスを検索し、「実行 (Go)」をクリックします。あるいは、すべてのビジネス・プロセスをリストしたり、プロセス名の先頭文字に基づいて特定のプロセス

をリストしたりすることもできます。「**アルファベット順 (Alphabetically)**」の横にある下矢印をクリックし、選択を行って、「**実行 (Go)**」をクリックします。

4. 実行するプロセス名の横にある「**実行マネージャー (execution manager)**」をクリックします。
5. 「**実行 (execute)**」をクリックします。
6. 「**ビジネス・プロセス入力の実行 (Execute Business Process Input)**」ページで、必要な構成を含む `<input.xml>` ファイルを参照して探し、そのファイルを選択して、「**実行 (Go)**」をクリックします。銀行、パートナー、ユーザー、オファー、ユーザー関係、またはオーダー・タイプとファイル形式に関連する構成に基づいて、EBICS Banking Server で入力ファイルが作成されます。

`<input.xml>` の形式は次のとおりです。

- ルート XML タグは `<SubscriberMgrInfo>` です。
- 子 XML タグ `<Profiles>` は、パートナーおよびサブスクリャイパーに関するオファーや許可など、銀行および銀行関連の情報に使用されます。`<HostInfo>` は、適切な属性を指定して、`<Profiles>` タグの下に置かれます。
- 子 XML タグ `<OrderTypes>` は、オーダー・タイプ情報に使用されます。`<OrdTypeInfo>` は、適切な属性を指定して、`<OrderTypes>` タグの下に置かれます。

次の XML は、ユーザーに割り当てられたホスト、パートナー、オーダー・タイプ、ファイル形式、および許可に関連するデータをエクスポートするための入力 XML を示しています。

```
<SubscriberMgrInfo xmlns="http://www.sterlingcommerce.com/ebics/SubscriberMgrInfo"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="http://www.sterlingcommerce.com/ebics/SubscriberMgrInfo">
  <Profiles>
    <HostInfo HostId="HOSTBNK1" PartnerId="PARTNER1" UserId="USER1"/>
  </Profiles>
  <OrderTypes>
    <OrdTypeInfo ProtocolVer="H003" OrdType="FUL"/>
  </OrderTypes>
</SubscriberMgrInfo>
```

ビジネス・プロセスの実行が完了すると、Sterling B2B Integrator のインスタンス・データに、エクスポートが成功したかどうかを示すメッセージが表示されません。

---

## EBICS アダプターおよびサービスの構成

### このタスクについて

ユーザーの要求を受け取るには、銀行は前提条件として、Sterling B2B Integrator に EBICS HTTP Server アダプターをインストールする必要があります。EBICS HTTP Server アダプターの URI (Uniform Resource Indicator) は、EBICS 要求を処理する `handleEBICSRequest` ビジネス・プロセスを起動し、EBICS Server サービスを呼び出します。

注: EBICS Banking Server によって処理されたファイルを保管するのに必要なデータベース・スペースは、処理されたファイルのサイズの約 2.5 倍です。

## HTTP Server アダプターの構成

### このタスクについて

HTTP Server アダプター・インスタンスは、着信 EBICS 要求を受け取るために使用され、EBICS トランザクションの処理を開始するビジネス・プロセスを起動します。

デフォルトでは、HTTP Server アダプターのインスタンス (EBICS HTTP Server アダプター) の EBICS 要求の処理が自動構成されます。HTTP Server アダプター・インスタンスには、ビジネス・プロセスにマップされた URI があります。

URI /ebicsrequest は、EBICS HTTP Server アダプターで指定されるデフォルトの URI です。新しい URI を構成する場合は、EBICS HTTP Server アダプターで新しい URI を構成する際に、必ず次の操作を実行してください。URI の構成について詳しくは、『HTTP Server アダプター』を参照してください。

注: 新たに構成した URI と HTTP Server ポート番号は、銀行のプロファイルのホスト URL と一致している必要があります。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator で EBICS HTTP Server アダプターを構成する際に、「新規 URI (New URI)」の横にある「追加 (add)」をクリックします。
2. 「BP または WAR の起動 (Launch a BP Or WAR)」で、「ビジネス・プロセス (Business Process)」を選択します。
3. 「ビジネス・プロセス (Business Process)」ドロップダウン・リストから、「handleEBICSRequest」を選択します。
4. 「ロー・メッセージの送信 (Send Raw Messages)」は「いいえ (No)」に設定します。

## HTTPS Server アダプターの構成

### このタスクについて

HTTPS Server アダプターを構成する場合は、HTTP Server アダプター・インスタンスを構成する際に、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「デプロイメント (Deployment)」 > 「サービス (Services)」 > 「構成 (Configuration)」の順にナビゲートします。
3. 「サービス名 (Service Name)」フィールドで EBICS HTTP Server アダプターを探します。「Go」をクリックします。
4. 「サービスの構成 (Services Configuration)」ページで、サービス名の横にある「編集 (edit)」をクリックします。

5. 構成パラメーターで有効な値を指定します。HTTP Server アダプターの構成については、『HTTP Server アダプター』を参照してください。
6. 「SSL の使用 (Use SSL)」チェック・ボックスで「必須 (Must)」を選択します。
7. HTTPS Server アダプターで使用する自己署名証明書を作成します。自己署名証明書の作成については、60 ページの『自己署名証明書の作成』を参照してください。
8. 「システム証明書 (System Certificate)」ドロップダウン・リストから、新しく作成した証明書を選択します。
9. 「暗号の強度 (Cipher Strength)」を指定します。有効な値は、「強 (Strong)」、「すべて (All)」、および「弱 (Weak)」です。  
  
注: SSL を使用する HTTP Server アダプターを構成する場合の暗号強度としては「強い」を使用するようにしてください。
10. EBICS HTTP Server アダプターに関連する残りのフィールドに有効な値を指定して、構成を完了します。HTTP Server アダプターの構成については、『HTTP Server アダプター』を参照してください。

## EBICS Server サービスの構成

### このタスクについて

EBICS Server サービスは、EBICS プロトコル仕様に基づいて (HTTP および HTTPS 経由の) 着信 EBICS 要求を処理し、適切な応答を生成してサブスクライバーに返します。

EBICS Server サービスのその他の役割は次のとおりです。

- 着信 EBICS 要求の処理と応答の生成
- メッセージの認証、生成、および EBICS メッセージの識別および認証署名の検証の実行
- 銀行のシステムでの EBICS トランザクションのライフサイクルの管理
- ダウンロード (FDL) やアップロード (FUL) など、さまざまな要求のプロセス・フローの管理

注: 最大アイドル時間を超えると、アイドル状態のトランザクションが取り消されるように、適切な値を指定してスケジューラーを設定してください。

EBICS Server サービスの構成については、「EBICS Server サービス」を参照してください。

---

## サブスクライバーの初期化

契約が定義されると、対応する銀行はインポート機能を使用して、サブスクリプション・マネージャー・データベースにパートナーおよびサブスクライバー (ユーザー) のマスター・データを設定します。

銀行には、ユーザーのパブリック証明書がまだありません。ユーザーを初期化するには、ユーザーのパブリック証明書を銀行のシステムに送信する必要があります。



サブスクライバーの初期化には、3つのオーダー・タイプ (H3K、INI、および HIA) が使用されます。H3K は最もシンプルで、3つすべてのパブリック証明書を同時に送信します。ただし、H3K はすべてのケースで使用できません。例えば、トラステッド鍵が使用されている場合やプロトコル・バージョンが H003 の場合などです。H3K を使用できない場合や使用したくない場合は、INI と HIA を一緒に使用してパブリック証明書を送信することができます。

表 1. サブスクライバーの初期化のオーダー・タイプ

オーダー・タイプ	プロトコル	鍵/証明書
H3K	H004	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子署名 (ES) 用の銀行規定キー証明書</li> <li>識別および認証証明書</li> <li>暗号化証明書</li> </ul>
INI	H003, H004	銀行規定キー
HIA	H003, H004	<ul style="list-style-type: none"> <li>識別および認証鍵</li> <li>暗号鍵</li> </ul>

## H3K

プロトコル・バージョン H004 では、オーダー・タイプ H3K を使用できます。これにより、基本的に INI と HIA が単一ステップに結合されて、手順が単純化および自動化されます。H3K ではトラステッド鍵がサポートされていません。少なくとも ES に使用される銀行特有鍵は、認証局 (CA) によって発行された証明書である必要があります。識別および許可用と暗号化用の残り 2 つの証明書は、自己署名証明書でもかまいません。H3K には初期化文字は必要ありません。

CA によって発行されていない証明書またはトラステッド鍵、あるいはプロトコル・バージョン H003 を使用した初期化には、INI および HIA を使用します。

## INI および HIA

電子署名 (ES)、暗号署名、識別および認証署名のサポートされているバージョンは、銀行パラメーターに含まれます。ユーザーが適切な銀行特有のキーを持っていない場合や、新しい銀行接続に既存の銀行特有のキーを使用したくない場合は、ユーザーの銀行特有のキーを新しく生成する必要があります。暗号鍵と識別および認証鍵についても同様です。

ユーザーは、次の 2 つの独立した通信パスを使用して、パブリック証明書を金融機関に送信します。

- INI - 銀行特有の公開鍵を送信
- HIA - パブリック識別および認証鍵とパブリック暗号鍵を送信

ユーザーが最初にパートナーに割り当てられたとき、ユーザーのステータスは「New (新規)」です。ユーザーが INI 要求のみを銀行に送信した場合、ステータスは「一部初期化済み (INI) (Partly Initialized (INI))」に変わります。ユーザーが HIA 要求のみを銀行に送信した場合、ステータスは「一部初期化済み (HIA) (Partly Initialized (HIA))」に変わります。ユーザーが INI 要求と HIA 要求の両方を銀行に送信すると、ステータスは「初期化済み (Initialized)」に変わります。ユーザーは、

INI キーと HIA キーを含む、署名済みの初期化レターを銀行にメールで送信します。銀行は、INI および HIA の初期化レターを受け取ると、証明書内のハッシュ値をデータベースと照合して検証します。検証が正常に完了すると、ユーザーのステータスは「準備完了 (Ready)」に設定され、ユーザーは銀行と取引を行えるようになります。次に、ユーザーは HPB システム・オーダー・タイプを使用して、銀行のパブリック証明書をダウンロードします。

サブスクライバーは、ユーザー・ステータスが「有効」に設定された後、HKD および HTD のオーダー・タイプを使用して、銀行によって保管された情報を取り出すことができます。

## 自己署名証明書の作成

銀行は、Sterling B2B Integrator データベースに銀行の暗号証明書と認証および識別証明書を作成する必要があります。

### このタスクについて

自己署名証明書を作成するには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「取引パートナー (Trading Partner)」 > 「デジタル証明書 (Digital Certificates)」 > 「システム (System)」を選択します。
3. 「システム証明書 (System Certificates)」ページで、「自己署名証明書の作成 (Create Self-Signed Certificate)」の横にある「実行 (Go)」をクリックします。
4. 「名前 (Name)」フィールドに、自己署名証明書の名前を入力します。わかりやすい固有の名前を入力してください。
5. 「組織 (Organization)」フィールドに、作成元の組織の名前を入力します。
6. 「国 (Country)」ドロップダウン・リストから、自己署名証明書の作成元の国を選択します。
7. 「E メール (E-mail)」フィールドに、組織の証明書担当者の E メール・アドレスを入力します。
8. 「次へ (Next)」をクリックします。
9. 「仕様 (Specification)」ページで、自己署名証明書に割り当てるシリアル番号を「シリアル番号 (Serial Number)」フィールドに入力します。
10. 「期間 (Duration)」フィールドに、自己署名証明書が有効な日数を入力します。
11. 「IP アドレスのコンマ区切りリスト (List of IP addresses Separated by Comma)」フィールドで、IP アドレスを指定します。
12. 「DNS 名のコンマ区切りリスト (List of DNS Names Separated by Comma)」フィールドで、DNS 名を指定します。
13. 「鍵の長さ (Key Length)」ドロップダウン・リストから、鍵の長さ (512、1024、または 2048) を選択します。

注: EBICS については、鍵の長さとして 2048 を使用します。

14. 「署名アルゴリズム (Signing Algorithm)」 ドロップダウン・リストから、次の署名アルゴリズム・オプションを選択します。
  - SHA1withRSA - EBICS トランザクションおよび TLS レイヤー暗号化 (SSL) で使用する証明書には、これを使用します。
  - SHA256withRSA (推奨) - EBICS トランザクションで使用する証明書には、これを使用します。
15. 「使用時の検証 (Validate When Used)」 チェック・ボックスの横で、次の検証オプションを選択します。
  - 有効期間 (Validity) – 証明書の有効期間の日付がまだ有効であるかどうかを検証します。日付が有効でない場合、証明書は使用されません。

注: 証明書の有効期間に値を設定する前に、「Microsoft PKI Quick Guide」に記載されているベスト・プラクティスの推奨事項を参照し、適用する必要があります。証明書を使用する際のベスト・プラクティスの推奨事項については、<http://www.windowsecurity.com/articles/Microsoft-PKI-Quick-Guide-Part3.html>。

  - 認証チェーン (Auth Chain) – 自己署名されていない証明書の信頼チェーンを構成します。有効な証明書を使用して信頼チェーンを構成できない場合、証明書は使用されません。証明書が自己署名されている場合、このオプションでは、証明書の署名のみが検証されます。
16. 「証明書署名ビットを設定する (Set the Certificate Signing bit)」 チェック・ボックスを選択します。
17. 「次へ (Next)」 をクリックします。
18. 「確認 (Confirm)」 ページで、自己署名証明書に関連する情報を確認し、「完了 (Finish)」 をクリックします。
19. 「システム証明書 (System Certificates)」 ページに戻るには、「戻る (Return)」 をクリックします。 Sterling B2B Integrator の「管理 (Administration)」メニューで「取引パートナー (Trading Partner)」 > 「デジタル証明書 (Digital Certificates)」 > 「システム (System)」を選択して、銀行証明書を表示したり編集したりすることができます。

## ユーザーのパブリック証明書の承認 このタスクについて

銀行は、ユーザーからの INI 要求および HIA 要求を承認する前に、それらの要求を検証します。銀行は、ユーザー ID とパートナー ID 間の関係を確認し、ユーザーの状態を検証します。検証が正常に完了すると、ユーザーのパブリック証明書が自動的に EBICS Banking Server リポジトリに追加されます。新しく追加された証明書を表示するには、Sterling B2B Integrator の「管理 (Administration)」メニューで「取引パートナー (Trading Partner)」 > 「デジタル証明書 (Digital Certificates)」 > 「システム (System)」の順にナビゲートします。

INI 要求と HIA 要求の両方が正常に処理されたら、銀行はユーザーのステータスを「初期化済み (Initialized)」に変更します。

## サブスクライバー・キーの検証

### このタスクについて

銀行が INI および HIA オーダー・タイプを受け取ると、対応するユーザーのステータスが「初期化済み (Initialized)」に設定されます。Sterling B2B Integrator では、初期化文字でユーザーから送信された証明書のハッシュ値を、サブスクリプション・マネージャー・データベースと照合して検証することができます。検証が正常に完了すると、ユーザーのステータスは「準備完了 (Ready)」に設定されます。

サブスクライバー・キーを検証するには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「EBICS」 > 「ユーティリティー (Utilities)」 > 「サブスクライバー・キーの検証 (Subscriber Keys Validation)」を選択します。
3. 「サブスクライバー・キーの検証 (Subscriber Keys Validation)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定します。

フィールド	説明
パートナー ID	必須。パートナー ID を指定します。パートナー ID のリストから選択するには、「パートナー ID」フィールドの横にある「ルックアップ (Lookup)」アイコンをクリックします。
ユーザー ID	必須。ユーザー ID を指定します。ユーザー ID のリストから選択するには、「ユーザー ID (User ID)」フィールドの横にある「ルックアップ (Lookup)」アイコンをクリックします。
ID および認証鍵ハッシュ値 (16 進数フォーマット)	オプション。証明書が CA 署名の証明書である場合には、ID および認証鍵ハッシュ値を 16 進数フォーマットで指定します。
ハッシュ・アルゴリズム (Hash Algorithm)	必須。識別および認証鍵のハッシュ値のハッシュ・アルゴリズムを選択します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• SHA256 (デフォルト)</li><li>• SHA1</li></ul>
暗号鍵ハッシュ値 (16 進数フォーマット)	オプション。証明書が CA 署名の証明書である場合には、暗号鍵ハッシュ値を 16 進数フォーマットで指定します。
ハッシュ・アルゴリズム (Hash Algorithm)	必須。暗号鍵のハッシュ値のハッシュ・アルゴリズムを選択します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• SHA256 (デフォルト)</li><li>• SHA1</li></ul>

フィールド	説明
電子署名鍵ハッシュ値 (16 進数フォーマット)	オプション。証明書が CA 署名の証明書である場合には、電子署名鍵ハッシュ値を 16 進数フォーマットで指定します。
ハッシュ・アルゴリズム (Hash Algorithm)	必須。電子署名キーのハッシュ値のハッシュ・アルゴリズムを選択します。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• SHA256 (デフォルト)</li> <li>• SHA1</li> </ul>

4. 既存の値をクリアし、新しい値を入力するには、「リセット (Reset)」をクリックします。
5. 「検証 (Validate)」をクリックします。

## 銀行のパブリック証明書をダウンロードするための要求の承認

ユーザーは、オーダー・タイプ HPB を使用して、対応する銀行からすべてのパブリック証明書 (識別および認証署名、銀行特有署名、および暗号化) をダウンロードします。ユーザーは、ユーザー・ステータスが「準備完了 (Ready)」に設定された後にはのみ、銀行のパブリック証明書をダウンロードすることができます。

### このタスクについて

以下のステップは、銀行による HPB オーダー・タイプの処理を要約したものです。

#### 手順

1. 銀行がユーザーから HPB 要求を受け取ります。
2. 銀行は、ユーザーの要求の認証チェックを実施します。
3. 銀行は、ユーザーが銀行のパブリック証明書をダウンロードできるように、要求された HPB オーダー・データ、つまり銀行のパブリック証明書をユーザーへの応答として提供します。

## 自己署名証明書または CA 署名証明書の検証

着信クライアント証明書が自己署名証明書であるときは、EBICS Banking Server が日付を検証します。

着信クライアント証明書が CA 署名証明書または中間 CA 署名証明書であるときは、EBICS Banking Server が以下の項目を検証します。

1. オンライン証明書状況 (OCSP) または証明書取り消しリスト (CRL) - 証明書状況が取り消し済みである場合、EBICS Banking Server はユーザーを中断にします。デフォルトでは、EBICS Banking Server は OCSP を検証します。OCSP が成功した場合、サーバーは CRL を検証しません。サーバーに CRL を検証させる場合には、ebics\_server.properties ファイルで ebicsserver.ocsp パラメーターを false に設定します。
2. 日付 - 証明書の有効期間
3. チェーン署名 - 認証局の有効期間

## 着信クライアント証明書の OCSP の検証

OCSP (Online Certificate Status Protocol) は、証明書失効状況に関する情報を要求および受信するための一連の ASN.1 定義のデータ構造体です。これらのデータ構造体は、原理的には多くのトランスポート・プロトコルによって送受信可能です。ただし実際には、HTTP が使用されます。OCSP クライアントは、問い合わせを送信して、応答を処理します。

### このタスクについて

OCSP 応答者は、問い合わせに回答して、応答を生成します。着信クライアント証明書の OCSP を検証するには、以下のステップを実行します。

### 手順

1. サーバー・データベース内で認証局を設定します。発行者証明書が CA 証明書としてチェックインされていることを確認します。
  - UNIX の場合には、次のコマンドを実行します。`./ManageCertAuthority.sh -a VPCA admin SHA1 <ca_cert_id> always,end-user none`
  - Windows の場合には、次のコマンドを実行します。`ManageCertAuthority.cmd -a VPCA admin SHA1 <ca_cert_id> always,end-user none`
2. HTTP をプロトコルとし、OCSP レスポンダーをエンドポイントとして基本プロファイルを設定します。例: `http://ocsp.verisign.com` (Verisign を認証局として使用する場合)
3. サーバー・データベース内で認証局の OCSP レスポンダーを設定します。
  - UNIX の場合には、次のコマンドを実行します。`./ManageOCSPResponder.sh -a VPCA admin SHA1 <ca_cert_id> <resp_cert_id> no <time_to_live_in_sec> <profile_id> HTTPClientSend 3600 no no`
  - Windows の場合には、次のコマンドを実行します。`ManageOCSPResponder.cmd -a VPCA admin SHA1 <ca_cert_id> <resp_cert_id> no <time_to_live_in_sec> <profile_id> HTTPClientSend 3600 no no`

各 OCSP 回答は、`<time_to_live_in_sec>` の値に基づいてサーバー内でキャッシュされます。それ以降の類似した OCSP 要求は、キャッシュ・レコードが有効である限り、このレコードを利用します。

### タスクの結果

これで、作成した認証局と着信クライアント証明書の発行者が一致する場合に、その証明書の OCSP を検証するためのサーバーの準備が整いました。Sterling B2B Integrator の HTTPClientSend ビジネス・プロセスを使用して、タイムアウト値を 3600 に設定した HTTP 要求を OCSP レスポンダーに送信することができます。なお、HTTP クライアント・アダプターでプロキシ設定を構成することが必要になる場合があります。

### 次のタスク

Sterling B2B Integrator における OCSP については、[http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS3JSW\\_5.2.0/com.ibm.help.enhancement\\_ocsp\\_522.doc/ocspSupportInSI.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS3JSW_5.2.0/com.ibm.help.enhancement_ocsp_522.doc/ocspSupportInSI.html) を参照してください。

## 証明書取り消しリストの設定

証明書取り消しリスト (CRL) の検証は、OCSP の検証が失敗した場合、あるいはサーバーが OCSP を検証しないように構成されている場合に行われます。

CRL の検証を行う前に、CRL 配布ポイントから 4 時間ごとに CRL をダウンロードするスケジュール済みビジネス・プロセスを実行するようにサーバーを構成します。CRL 配布ポイントは、認証局の Web サイトまたは証明書から取得することができます。

必要な CRL 配布ポイントとプロキシの設定を使用してスケジュール済みビジネス・プロセスを作成するには、GET\_CRL\_PROCESS ビジネス・プロセスを使用します。

サーバーが証明書の CRL を検出できない場合には、検証が続行されます。証明書が取り消されると、サーバーはユーザーを中断し、それ以上のトランザクションは許可されません。

## オーダー・タイプを使用した証明書の検証

### INI および HIA

INI オーダー・タイプを処理するときには、EBICS クライアントがサーバーに ES 証明書を送信します。また、HIA オーダー・タイプを処理するときには、EBICS クライアントがサーバーに認証証明書および暗号化証明書を送信します。

サーバーは、証明書を検証して整合性を確認した後で、それらをサーバー・データベースに格納します。すべての証明書 (ES、認証、および暗号化) が CA 署名の証明書であり、ユーザーが署名者として構成されている場合、ユーザーのステータスは、INI および HIA オーダー・タイプの処理に成功した後で、自動的に「有効」に設定されます。

いずれかの証明書が自己署名の証明書である場合には、サーバーが証明書のハッシュ値を初期化レターに格納されているハッシュ値に対して検証します。

### FUL

FUL オーダー・タイプを処理するときには、初期化フェーズの後で、転送フェーズが非同期になります。クライアントは、オーダー・データの複数のセグメントをアップロードできます。オーダー・データには複数の署名者が署名できます。署名者は、FUL の送信者でなくてもかまいません。

サーバーの Prevalidate パラメーターが「オン」に設定されている場合、クライアントがオーダー・データを送信する前に、サーバーは初期化フェーズにおいて ES 証明書をアンパックして検証します。一部の検証 (OCSP または CRL) は、転送フェーズで実行されます。

サーバーの Prevalidate パラメーターが「オフ」に設定されている場合、サーバーは ES 証明書をアンパックせずに、転送フェーズにおいて証明書を検証します。

注: Prevalidate パラメーターの設定にかかわらず、サーバーは各フェーズにおいて認証証明書を検証します。クライアントの暗号化証明書は、FUL オーダー・タイプでは使用されないため検証されません。サーバーは、それ自体の秘密鍵を使用してオーダー・データを暗号化解除します。

サーバーは、オーダー・データの署名に使用される ES 証明書を検証します。FUL 送信者の ES 証明書がオーダー・データの署名に使用されていない場合、サーバーは ES 証明書を検証しません。

## FDL

FDL オーダー・タイプを処理するときに、サーバーはオーダー・データを圧縮して、クライアントがオーダー・データをダウンロードできるようにします。認証証明書は各フェーズで検証され、暗号化証明書は初期化フェーズと転送フェーズで検証されます。

クライアントの暗号化証明書は、オーダー・データを暗号化するために使用され、署名は行われません。したがって、サーバーが認証証明書および暗号化証明書の完全な検証を実行します。

---

## ユーザーからのテスト・フローの受け入れ

FUL または FDL 要求では、ユーザーは、テスト・ファイルの使用を示す値 True または実ファイルの使用を示す値 False を使用して、TEST パラメーターを指定することができます。このパラメーターは、FUL 要求の FULOrderParams 要素または FDL 要求の FDLOrderParams 要素で指定できます。

ユーザーが TEST フラグを使用した場合、実ファイルの場合と同様に要求が処理され、検証されます。実ファイルと TEST フラグ付きファイルの唯一の相違は、ユーザーのアップロード・メールボックスから要求が送信されたとき、またはユーザーのダウンロード・メールボックスで要求が受信されたとき、メッセージ・ファイル名が異なるということです。

TEST パラメーターが True に設定されたテスト・ファイルの命名規則は、次のとおりです。

```
<ホスト ID>_<ファイル形式>_T_D<YYYYMMDD>_H<HHMMSS>_<固有 ID>.DAT
```

TEST パラメーターが False に設定されるか、または何も設定されない実ファイルの命名規則は、次のとおりです。

```
<ホスト ID>_<ファイル形式>_R_D<YYYYMMDD>_H<HHMMSS>_<固有 ID>.DAT
```

---

## ダウンロード・オーダー用のデータの提供

FDL 要求は、対応するユーザーのダウンロード・メールボックスにデータがあるかどうかによって依存します。ユーザーは、次のファイル命名規則を使用して、ユーザーのダウンロード・メールボックスにデータが定期的に提供されるようにする必要があります。



TEST パラメーターが True に設定されたテスト・ファイルの命名規則は、次のとおりです。

<ホスト ID>\_<ファイル形式>\_T\_D<YYYYMMDD>\_H<HHMMSS>\_<固有 ID>.DAT

TEST パラメーターが False に設定されるか、または何も設定されない実ファイルの命名規則は、次のとおりです。

<ホスト ID>\_<ファイル形式>\_R\_D<YYYYMMDD>\_H<HHMMSS>\_<固有 ID>.DAT

---

## 日付範囲が指定された FDL 要求の受け入れ

FDL 要求の FDLOrderParams 要素で StartDate および EndDate 要素が指定されていない場合、メッセージはユーザーのダウンロード・メールボックスから収集されます。FDL 要求の FDLOrderParams 要素で StartDate および EndDate 要素が指定されている場合、メッセージはユーザーのアーカイブ・メールボックスから収集されます。

---

## EBICS レポートの生成と取得

各アップロード・オーダー (FUL) 要求で支払ステータス・レポート (PSR) を生成するには、EBICS Reporting サービスを使用します。.PSR レポートは XML 形式で、pain.002.001.02 スキーマに準拠しています。.PSR レポートが正常に生成されると、EBICS ユーザーのダウンロード・メールボックスに格納されます。

.PSR レポートは、各 FUL の非同期オーダー処理後に生成されます。ユーザーは、FileFormat が pain.002.001.02.ack である FDL 要求を送信することで、.PSR レポートを取得することができます。EBICS 要求で日付範囲が指定されていない場合、銀行はユーザーのダウンロード・メールボックスで PSR レポートを連結し、オーダー・データを EBICS 応答にパッケージ化します。

FDL 要求の FDLOrderParams 要素で指定されたパラメーター値に基づいて、銀行がユーザーから肯定応答を受け取ると、ユーザーのダウンロード・メールボックス内の .PSR レポートがユーザーのアーカイブ・メールボックスに移動されます。指定されたタイムアウト期間が経過しても、ユーザーから肯定応答を受け取らなかった場合、EBICS Server サービスのスケジューラーによって、ユーザーのダウンロード・メールボックス内の .PSR レポートの抽出可能カウントが 1 に戻され、ユーザーは再度 .PSR レポートをダウンロードすることができます。

ユーザーがユーザーのアーカイブ・メールボックスから .PSR レポートをダウンロードする場合は、EBICS 要求で日付範囲を指定する必要があります。ユーザーは、.PSR レポートがユーザーのダウンロード・メールボックスからユーザーのアーカイブ・メールボックスに移動したときのドロップ日付と一致する日付範囲を指定しなければなりません。

## EBICS ログ・ファイルの使用

次の表は、`<install_dir>/logs` ディレクトリーで参照できるログ・ファイルのリストです。

名前	説明
EBICS.log	サブスクリプション・マネージャー、インポート・サービス、エクスポート・サービスなどの EBICS サービス以外の EBICS コンポーネントのログ・メッセージが格納されます。このログは、EBICS コンポーネントの操作に関連するエラーが発生した場合に使用します。
EBICS Client.log	EBICS テスト・クライアントによって生成されたログ・メッセージが格納されます。このログは、EBICS テスト・クライアントでエラーが検出された場合に使用します。
EBICS Message.log	このログは、EBICS メッセージの初期化および転送フェーズに関する詳細なメッセージや、着信 EBICS 要求メッセージに関する詳細情報を表示する場合に使用します。
EBICS Server.log	EBICS Server サービスのあらゆる操作に関するログ・メッセージが格納されます。このログは、EBICS Server サービスでエラーが検出された場合に使用します。

## EBICS のドキュメント追跡

EBICS サービス内でのドキュメント追跡のサポートによって、EBICS メッセージング・プロセス全体のドキュメント中心のビューが提供されます。これにより、ビジネス・プロセスの観点からだけでなく、実際のドキュメントの観点からもワークフローをモニターすることができます。Sterling B2B Integrator 内でドキュメントが 1 つのフォームから別のフォームへどのように変換されるか、また、要求ドキュメントと応答ドキュメントが相互にどのように関連しているかを、1 つのビューで確認できます。

この機能を有効にするには、ビジネス・プロセスをチェックインまたは編集する際に、EBICS ワークフローに関連するすべてのビジネス・プロセスについて「ドキュメント追跡 (Document Tracking)」オプションが有効になっている必要があります。そのように設定して、フレームワークで追跡を有効にするには、「プロセス・レベル (Process Levels)」ページで「ドキュメント追跡 (Document Tracking)」チェック・ボックスを選択します。必要に応じて、次のオプションを設定します。その他のビジネス・プロセス・パラメーターはデフォルトのままにします。

- 「デッドライン設定 (Deadline Settings)」ページで、必要に応じてデッドラインおよび通知オプションを設定します。
- 「ライフ・スパン (Life Span)」ページで、必要に応じてライフ・スパンを設定します。

# EBICS データ・フローのモニター

## このタスクについて

Sterling B2B Integrator のデータ・フロー・モニタリング機能を使用すると、インバウンドおよびアウトバウンドの EBICS データ・フローを表示できます。着信要求ドキュメントの変換を関連付けたり、参照したりすることができます。また、着信要求ドキュメントに関連する情報を抽出して表示することもできます。

EBICS ビジネス・プロセス・データ・フローの拡張検索を実行するには、以下のステップを実行します。

## 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「ビジネス・プロセス (Business Processes)」 > 「モニター (Monitor)」 > 「拡張検索 (Advanced Search)」 > 「データ・フロー (Data Flows)」を選択します。
3. 「ビジネス・プロセスのデータ・フロー・モニター (Business Process Monitor Data Flows)」ページで、必要に応じて、次の表に記載されている検索条件の組み合わせを指定します。

フィールド	説明
検索 (Search)	
エンドポイント (Endpoint)	オプション。検索するデータ・フローのリモート・エンドポイント。ホスト名または IP アドレス。
方向 (Direction)	オプション。検索するデータ・フローの方向。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• インバウンド (Inbound)</li><li>• アウトバウンド (Outbound)</li></ul>
プロトコル (Protocol)	オプション。検索するデータ・フローのプロトコル。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"><li>• AS2</li><li>• AS3</li><li>• HTTP</li><li>• FTP</li><li>• SFTP</li><li>• MBI</li><li>• Mailbox Service</li><li>• Sterling Connect:Direct</li><li>• WebDAV</li><li>• SWIFTNet</li><li>• OFTP</li><li>• SAP</li><li>• EBICS</li></ul>

フィールド	説明
「ステータス (Status)」	オプション。データ・フローの現在のステータスまたは最終ステータス。次のどちらかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>標準</li> <li>エラー</li> </ul>
ドキュメント名 (Document Name)	オプション。特定のドキュメントに関連するデータ・フローの場合、ドキュメント名を入力します。
データ・サイズ (Data Size)	オプション。転送されたデータのサイズ範囲。「開始 (From)」および「終了 (To)」フィールドで、KB、MB、または GB 単位でサイズを指定します。
日付範囲 (DateRange)	オプション。 <p>開始 (From) - 検索するデータ・フローの開始日時。</p> <p>終了 (To) - 検索するデータ・フローの終了日時。</p> <p>注: カレンダーにアクセスするには、日付の横にある「<b>カレンダー (calendar)</b>」アイコンをクリックします。</p>
タグを使用して検索結果値を保存 (Save search results values by using tag)	必須。別のセッションで検索を繰り返す際に使用できるストリングを入力します。
ページあたりの結果 (Results per page)	必須。1 ページに表示される結果の数。有効な値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>10</li> <li>25</li> <li>50</li> <li>100</li> <li>200</li> <li>250</li> <li>400</li> <li>500</li> </ul> <p>デフォルト値は 10 です。</p>
直接リスト (List Directly)	
データ・フロー ID (By Data Flow ID)	検索するデータ・フロー ID を入力します。

- 「Go」をクリックします。「モニター (Monitor)」ページが表示され、検索条件と一致するビジネス・プロセス・データ・フローのリストが表示されます。
- 表示するデータ・フローに対応するルート・ドキュメント名をクリックします。次の 3 種類のデータ・フローがあります。
  - ルート・ドキュメント名が EBICS\_Request\_<オーダー・タイプ>\_Initialization\_<トランザクション ID> の場合は、要求の初期化フェーズを表すインバウンド・データ・フローを示します。名前の末尾のトランザクション

ID は、データ・フローが、そのトランザクション ID を持つ EBICS トランザクションの一部であることを示します。

- ルート・ドキュメント名が EBICS\_Request\_<オーダー・タイプ>\_Transfer-<セグメント番号>\_<トランザクション ID> の場合は、特定のセグメント番号の転送フェーズを表すインバウンド・データ・フローを示します。
- ルート・ドキュメント名が EBICS\_Request\_<オーダー・タイプ>\_Receipt-<セグメント番号>\_<トランザクション ID> の場合は、特定のトランザクション ID の承認フェーズを表すインバウンド・データ・フローを示します。

## EBICS 通信セッション・レコードのモニター

Sterling B2B Integrator では、ドキュメントが転送されず、データ・フロー・レコードが作成されない場合でも、関連する認証、許可、ファイル転送、またはファイル以外の転送のあらゆるレコードについて通信セッション・レコードが作成されます。

### このタスクについて

EBICS 通信セッション・レコードを表示するには、以下のステップを実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理 (Administration)」メニューから、「ビジネス・プロセス (Business Processes)」 > 「モニター (Monitor)」 > 「拡張検索 (Advanced Search)」 > 「通信セッション (Communication Sessions)」を選択します。
3. 次の表に記載されているフィールドの値を指定します。

フィールド	説明
検索 (Search)	
エンドポイント (Endpoint)	オプション。検索する通信セッションのリモート・エンドポイント。ホスト名または IP アドレス。

フィールド	説明
プロトコル (Protocol)	<p>オプション。検索する通信セッションのプロトコル。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• AS2</li> <li>• AS3</li> <li>• HTTP</li> <li>• FTP</li> <li>• SFTP</li> <li>• MBI</li> <li>• Mailbox Service</li> <li>• Sterling Connect:Direct</li> <li>• WebDAV</li> <li>• SWIFTNet</li> <li>• OFTP</li> <li>• SAP</li> <li>• EBICS</li> </ul>
日付範囲 (DateRange)	<p>オプション。</p> <p>開始 (From) - 検索する通信セッション・レコードの開始日時。</p> <p>終了 (To) - 検索する通信セッション・レコードの終了日時。</p> <p><b>注:</b> カレンダーにアクセスするには、日付の横にある「<b>カレンダー (calendar)</b>」アイコンをクリックします。</p>
主要 (Principal)	<p>オプション。1 次参加者に関連する通信セッションを検索します。</p>
セキュア・モード (Secure Mode)	<p>オプション。セキュア・モードの通信セッションを検索します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• SSL</li> <li>• CCC</li> </ul>
ローカルで初期化 (Locally Initialized)	<p>オプション。ローカルで初期化された通信セッション・レコードを検索します。有効な値は True および False です。</p>
ステータス (Status)	<p>オプション。通信セッションの現在のステータスまたは最終ステータス。次のどちらかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 標準</li> <li>• エラー</li> </ul>
接続 (Connection)	<p>オプション。接続の現在のステータスまたは最終ステータス。有効な値は「アクティブ」および「完了」です。</p>
タグを使用して検索結果値を保存 (Save search results values by using tag)	<p>必須。別のセッションで検索を繰り返す際に使用できるストリングを入力します。</p>

フィールド	説明
ページあたりの結果 (Results per page)	<p>必須。1 ページに表示される結果の数を選択します。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 10</li> <li>• 25</li> <li>• 50</li> <li>• 100</li> <li>• 200</li> <li>• 250</li> <li>• 400</li> <li>• 500</li> </ul> <p>デフォルト値は 10 です。</p>
プロセス ID で検索 (Search by Process ID)	検索するビジネス・プロセス ID を入力します。
直接リスト (List Directly)	
通信セッション ID (By Communication Session ID)	検索する通信セッション ID を入力します。

4. 「Go」をクリックします。「モニター (Monitor)」ページが表示され、検索条件と一致する通信セッション・レコードのリストが表示されます。

## EBICS リソースのインポートおよびエクスポート

Sterling B2B Integrator のリソース・マネージャーを使用して、EBICS に関連するリソースの構成データをインポートおよびエクスポートすることができます。

例えば、ファイル・フォーマット、オファー、パートナー・プロファイル、銀行プロフィール、オーダー・タイプ、およびユーザー・プロファイルの構成データをエクスポートし、システム上に保管することができます。また、この構成データをインポートすることもできます。

EBICS リソースは、XML ドキュメントまたはインストール・バンドルとしてインポートまたはエクスポートすることが可能です。さらに、メールボックス構成、デジタル証明書、または ID レコードの詳細のような従属レコードをエクスポートするかどうかを選択できます。リソースは、タグ名に基づいてエクスポートすることもできます。

リソースの管理について詳しくは、Sterling B2B Integrator Knowledge Center の『リソース管理 (Resource Management)』を参照してください。

## EBICS リソースのエクスポート

Sterling B2B Integrator のリソース・マネージャーを使用して、EBICS リソースをエクスポートすることができます。

### このタスクについて

EBICS リソースをエクスポートするには、以下の手順を実行します。

## 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理」メニューから、「展開」 > 「リソース・マネージャー」 > 「インポート/エクスポート」を選択します。
3. 「リソースのエクスポート」の横にある「実行 (Go!)」をクリックします。
4. 「出力フォーマット・タイプ」ページで、以下の操作を行います。
  - a. データをエクスポートする先のフォーマット・タイプを選択します。
    - 「XML ドキュメント」 (.xml)
    - 「インストール・バンドル」 (.jar)
  - b. 「次へ (Next)」をクリックします。
5. 「リソース・グループ」ページで、タグ名に基づいてリソースをエクスポートするかどうかを選択します。
  - タグ名に基づいてリソースをエクスポートしないことを示す場合は、「いいえ」を選択します。
  - タグ名に基づいてリソース・グループ全体をエクスポートする場合は、「はい」を選択します。次に、ドロップダウン・リストからタグ名を選択します。

「次へ」をクリックします。
6. 「エクスポート・タイプ」ページで、「標準・デフォルト・バージョンをエクスポートします」を選択し、「次へ」をクリックします。
7. 「リソースの選択」ページで、「EBICS」を選択し、「次へ (Next)」をクリックします。
8. 「EBICS Client リソースの選択 (Select EBICS Client Resource(s))」ページで、エクスポートするリソースを選択します。

オプション	説明
ファイル形式 (File Format)	ファイル形式に関する情報です。
オファー	銀行プロファイルの詳細およびオファーに関連付けられたファイル形式など、オファーに関する情報。
パートナー・プロファイル	取引パートナーに関する情報 (ID レコード)。
銀行プロファイル	銀行および銀行に関連付けられた信頼された証明書に関する情報。
オーダーのタイプ	オーダー・タイプに関する情報。
ユーザー・プロファイル	ユーザー、パートナー、関連データ (メールボックスの許可、ID レコード、信頼された証明書およびシステム証明書など) に関する情報。

- 「次へ (Next)」をクリックします。
9. 選択したそれぞれのリソース・タイプのページで、エクスポートする項目を「選択可能」リストから「エクスポート対象」リストに移動します。
    - a. オプション。「データのフィルタリング」を使用してデータをフィルタリングします。



b. Sterling B2B Integrator において EBICS Client 用に構成された情報をエクスポートする場合には、「**従属レコードのエクスポート**」フィールドで「はい」を選択します。例えば、メールボックス構成、デジタル証明書、ID レコードなどの詳細です。そうでない場合は、「いいえ」を選択します。

c. 「**次へ (Next)**」をクリックします。

追加されたリソース・タイプのそれぞれのページに対して、必要に応じて操作を繰り返します。

注: 一部のページではセットアップが異なっていることがあります。このようなページについては、そのページ上の説明に従ってください。

10. 「セキュリティ」ページで、システム・パスフレーズを入力して確認後、「**次へ**」をクリックします。
11. 「確認」ページで、エクスポートするリソースの情報を確認して、「**終了**」をクリックします。エクスポート・ファイルが作成されます。
12. 「終了」ページで、以下のいずれか 1 つを選択します。
  - 「**エクスポート・レポートの表示**」の横にあるアイコンをクリックしてエクスポート・レポートを確認します。
  - 「**エクスポート・データ (.xml)**」または「**エクスポート・データ (.jar)**」の横にある「**ダウンロード**」アイコンをクリックしてエクスポート・ファイルをダウンロードし、ハード・ディスクに保存します。
13. 「**戻る (Return)**」をクリックします。

## EBICS リソースのインポート

Sterling B2B Integrator のリソース・マネージャーを使用して、EBICS リソースをインポートすることができます。

### このタスクについて

EBICS リソースをインポートするには、以下の手順を実行します。

#### 手順

1. Sterling B2B Integrator にログインします。
2. 「管理」メニューから、「展開」 > 「リソース・マネージャー」 > 「インポート/エクスポート」を選択します。
3. 「リソースのインポート」の横にある「**実行 (Go!)**」をクリックします。
4. 「ファイルのインポート (Import File)」ページで、次の表に記載されているフィールドの値を指定し、「**次へ**」をクリックします。

フィールド	説明
ファイル名	必須。「参照」をクリックして、インポートするファイルを見つけて選択します。ファイルは、XML ドキュメント (.xml) またはインストール・バンドル (.jar) でなければなりません。
パスフレーズ	オプション。プロンプトが出された場合のファイルのパスフレーズを指定します。

フィールド	説明
バックアップ生成のスキップ	オプション。更新されたエンティティのバックアップの生成を必要としない場合、「チューニング・オプション」の下にある、チェック・ボックスを選択します。
すべてのリソースのインポート	オプション。すべてのリソースをインポートする場合、「チューニング・オプション」の下にある、チェック・ボックスを選択します。例えば、メールボックスに関連付けられた権限、ID レコード、秘密鍵証明書が自動的にインポートされます。このオプションを選択しない場合、各リソース・タイプについて、インポートする項目の選択を要求するプロンプトが表示されます。

5. 「リソース・タグの作成」ページで、以下の操作を行います。
  - a. このステップはオプションです。インポートされたデータをリソース・グループと関連付ける場合には、「タグ名」および「タグの説明」を入力します。
  - b. 「次へ (Next)」をクリックします。
6. 「オブジェクトの更新」ページで、以下の操作を行います。
  - 「はい」を選択すると、システムに存在するオブジェクトが更新されます。
  - 「いいえ」を選択すると、システムに存在しないオブジェクトがインポートされます。

「次へ (Next)」をクリックします。
7. このステップは、すべてのインポートに適用できるとはかぎりません。選択されたそれぞれのリソース・タイプについて、インポートする項目を「選択可能」リストから「インポートする」リストに移動します。「次へ (Next)」をクリックします。
8. 「確認」ページで、インポートするリソースの情報を確認して、「終了」をクリックします。データがインポートされます。
9. 「終了」ページでは、以下のアクションを実行できます。
  - インポート・レポートを確認するには、「インポート・レポートの表示」をクリックします。
  - パフォーマンス・レポートのサマリー・データを確認するには、「パフォーマンス・レポートの表示」をクリックします。
  - データのバックアップ・コピーを取得するには、「インポート前の Sterling B2B Integrator 内のデータ (.xml)」の横にある「ダウンロード」をクリックします。

注: 「バックアップ生成のスキップ」オプションを選択している場合、「ダウンロード」リンクは表示されません。
10. 「戻る (Return)」をクリックします。

## HAC 処理

EBICS 顧客確認応答 (オーダー・タイプ HAC) が Sterling B2B Integrator でダウンロードされるときには、ステータスおよび理由コード情報を含むデータが、EBICS 仕様 2.5 の定義に従って作成されます。

HAC オーダー・タイプは、送信されたオーダーの処理ステータスおよび詳細を提供するクライアントに対する技術的確認応答です。これには、ファイルのアップロード中、ダウンロード中、あるいは署名中に発生したアクションと結果が含まれており、さらにファイルの内容に関する情報が含まれることもあります。

ユーザーが直接 HAC 要求を開始することはありません。代わりに、HAC 要求は、HAC スケジューラーを使用してセットアップされた定義済みスケジュールに従い、Sterling B2B Integrator EBICS Client によって自動的に実行されます。各 HAC 応答は、最後に実行された HAC 要求以降の EBICS アクションおよびステータス情報の全履歴を提供します。各 HAC 応答から提供されたデータは、Sterling B2B Integrator により保管されます。

HAC データを表示するには、Sterling B2B Integrator で EBICS Client の「オーダー検索」ビューアーを使用するか、または Sterling File Gateway で「EBICS 検索」を使用します。

検索結果には、以下の表に記載されている HAC アクションおよび理由コードが含まれている場合があります。

表 2. HAC のアクションおよび理由コード

HAC アクション	アクションのタイプ	理由コード	HAC 結果
ファイルを銀行に送信	FILE_UPLOAD	DS0C	ユーザーがロックされています/証明書が取り消されました
		DS08	圧縮解除がエラーです
		DS09	暗号化解除がエラーです
		TA01	アップロードが中止されました
		TS01	アップロードに成功しました
ファイルを銀行からダウンロード	FILE_DOWNLOAD	DS0C	ユーザーがロックされています/証明書が取り消されました
		DS08	圧縮解除がエラーです
		DS09	暗号化解除がエラーです
		TA01	ダウンロードが中止されました
		TD01	ダウンロードできるデータがありません
電子署名を銀行に送信	ES_UPLOAD	ID01	元のオーダー・フォルダーが事前に送信されていません
		DS0C	ユーザーがロックされています/証明書が取り消されました
		DS08	圧縮解除がエラーです
		DS09	暗号化解除がエラーです
		TA01	ES のアップロードが中止されました
TS01	ES (電子署名) のアップロードに成功しました		

表2. HAC のアクションおよび理由コード (続き)

HAC アクション	アクションのタイプ	理由コード	HAC 結果
署名検査	ES_VERIFICATION	AM21	金額が限度を超えています
		DS01	ES は適正です
		DS0A	ES の数が不十分です
		DS0B	ES は適正ではありません
		DS0C	証明書が取り消されました/ユーザーがロックされています
		DS0D	証明書が無効です/公開鍵がアクティブになっていません
		DS0E	証明書がありません/公開鍵が存在しません
		DS0F	証明書の CA が不明です
		DS0G	署名者はこの操作に署名することを許可されていません
		DS0H	署名者はこのアカウントに署名することを許可されていません
		DS08	圧縮解除がエラーです
		DS09	暗号化解除がエラーです
		DS10	最初の署名者の証明書が取り消されました
		DS11	最初の署名者の証明書が無効です
		DS12	最初の署名者の証明書がありません
		DS13	最初の署名者に対し CA が不明です
		DS14	ユーザー (署名者) がこのサーバー上では不明です
		DS15	同じ ES が既に銀行に送信されています
		DS16	公開鍵のバージョンが適正ではありません
		DS17	オーダー・データと ES が一致しません
		DS18	オーダーを反復します (ファイルをテストできません)
		DS19	署名者の ES 権限が不十分です
		DS20	2 番目の署名者の証明書が取り消されました
		DS21	2 番目の署名者の証明書が無効です
		DS22	2 番目の署名者の証明書がありません
		DS23	2 番目の署名者に対し CA が不明です
		DS24	待機時間が満了し、ファイルが銀行によって削除されました
		DS25	ファイルが銀行によって削除されました (複数の理由)
		DS26	同じユーザーが複数回署名しました
		DS27	ユーザー (署名者) がまだアクティブになっていません
TD02	ファイルを読み取れません		
TD03	ファイル・フォーマットが無効です		
TS04	属性「DZHNN」を持つファイルです (ES による署名なし)		
VEU への転送	VEU_FORWARDING	DS06	オーダーが VEU に転送されました

表2. HAC のアクションおよび理由コード (続き)

HAC アクション	アクションのタイプ	理由コード	HAC 結果
VEU 署名検査	VEU_VERIFICATION	AM21	金額が限度を超えています
		DS01	ES は適正です
		DS0B	ES は適正ではありません
		DS0C	証明書が取り消されました/ユーザーがロックされています
		DS0D	証明書が無効です/公開鍵がアクティブになっていません
		DS0E	証明書がありません/公開鍵が存在しません
		DS0F	証明書の CA が不明です
		DS0G	署名者はこの操作に署名することを許可されていません
		DS0H	署名者はこのアカウントに署名することを許可されていません
		DS10	最初の署名者の証明書が取り消されました
		DS11	最初の署名者の証明書が無効です
		DS12	最初の署名者の証明書がありません
		DS13	最初の署名者に対し CA が不明です
		DS14	ユーザー (署名者) がこのサーバー上では不明です
		DS15	同じ ES が既に銀行に送信されています
		DS16	公開鍵のバージョンが適正ではありません
		DS17	オーダー・データと ES が一致しません
		DS18	オーダーを反復します (ファイルをテストできません)
		DS19	署名者の ES 権限が不十分です
		DS20	2 番目の署名者の証明書が取り消されました
		DS21	2 番目の署名者の証明書が無効です
		DS22	2 番目の署名者の証明書がありません
		DS23	2 番目の署名者に対し CA が不明です
DS24	待機時間が満了し、ファイルが銀行によって削除されました		
DS25	ファイルが銀行によって削除されました (複数の理由)		
DS26	同じユーザーが複数回署名しました		
DS27	ユーザー (署名者) がまだアクティブになっていません		
TD02	ファイルを読み取れません		
TD03	ファイル・フォーマットが無効です		
VEU 署名検査の終わり	VEU_VERIFICATION_END	DS05	オーダーは適正だったので、後処理のために転送されました
VEU オーダーの取り消し	VEU_CANCEL_ORDER	DS02	オーダーは取り消されました
		DS03	オーダーは取り消されていません
HAC オーダーの終了 (肯定)	ORDER_HAC_FINAL_POS	未指定	オーダーの処理が正常に行われたことを示す最終指示。
HAC オーダーの終了 (否定)	ORDER_HAC_FINAL_NEG	未指定	オーダーの処理が失敗したことを示す最終指示。

## 戻りコード

EBICS Client を使用すると、戻りコードとイベント・メッセージを受け取る場合があります。

## イベント関連の戻りコード

以下に示すそれぞれの表では、戻りコード、対応するイベント・メッセージ、および戻りコードの要旨を一覧にして紹介します。

表3. イベント関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL2302	オーダー・データが圧縮されました	トランザクションのオーダー・データが圧縮されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2303	オーダー・データが暗号化されました	トランザクションのオーダー・データが暗号化されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2304	オーダー・データがエンコードされました	トランザクションのオーダー・データがエンコードされていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2305	オーダー・データが署名されました	トランザクションのオーダー・データが署名されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2306	オーダー・データが圧縮解除されました	トランザクションのオーダー・データが圧縮解除されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2307	オーダー・データが暗号化解除されました	トランザクションのオーダー・データが暗号化解除されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2308	オーダー・データがデコードされました	トランザクションのオーダー・データがデコードされていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2309	署名データが圧縮されました	トランザクションの署名データが圧縮されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2310	署名データが暗号化されました	トランザクションの署名データが暗号化されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2311	署名データがエンコードされました	トランザクションの署名データがエンコードされていることを示します。アクションは不要です。

表 3. イベント関連の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL2312	署名データが圧縮解除されました	トランザクションの署名データが圧縮解除されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2313	署名データが暗号化解除されました	トランザクションの署名データが暗号化解除されていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2314	署名データがデコードされました	トランザクションの署名データがデコードされていることを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2300	EBICS のパッケージ化に成功しました	オーダー・データのパッケージ化が成功したことを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2301	EBICS のパッケージ化に失敗しました	オーダー・データのパッケージ化が失敗したことを示します。パッケージ化に失敗した理由としては、オーダー・データの圧縮や暗号化が正常に行われなかったこと、署名や暗号化で間違った鍵が使用されたことなどが考えられますが、これらはほんの一部です。EBICS Client ダッシュボード・インターフェースのイベント・ビューアーを使用して、イベントのリストを確認してください。
EBICSCL2500	EBICS のアンパックに成功しました	オーダー・データのアンパックが成功したことを示します。アクションは不要です。
EBICSCL2501	EBICS のアンパックに失敗しました	オーダー・データのアンパックが失敗したことを示します。アンパックに失敗した理由としては、オーダー・データの圧縮解除や暗号化解除が正常に行われなかったこと、署名検査で間違った鍵が使用されたことなどが考えられますが、これらはほんの一部です。EBICS Client ダッシュボード・インターフェースのイベント・ビューアーを使用して、イベントのリストを確認してください。

表 3. イベント関連の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL2318	有効な応答を受け取りました	オーダー・タイプの送信時にサーバーから有効な応答を受け取ったことを示します。
EBICSCL2319	無効な応答を受け取りました	特定のオーダー要求に対してサーバーが無効な応答を返したことを示します。応答について詳しくは、EBICS Client ダッシュボード・インターフェースのイベント・ビューアーを使用してイベントのリストを表示し、特有戻りコードおよびビジネス戻りコードを確認してください。
EBICSCL2320	EBICS の初期化要求に成功しました	要求が初期化されていることを示します。
EBICSCL2321	EBICS のデータ転送要求に成功しました	データ転送の要求が銀行によって受諾されていることを示します。
EBICSCL2322	送信者権限がありません	オーダーを送信するユーザー許可が割り当てられていないことを示します。許可レベルを「T」に設定し、許可タイプを「送信者」に設定した役割のユーザー許可を構成してください。
EBICSCL2323	アンパックされたデータのメールボックスへの書き込みに成功しました	データがアンパックされ、ユーザーのメールボックスに保管されたことを示します。
EBICSCL2324	アンパックされたデータのメールボックスへの書き込みに失敗しました	メールボックスにアクセスするための許可が不十分であったため、アンパックされたデータをメールボックスに書き込めなかった可能性があります。詳しくは、ebicsClient.log ファイルを参照してください。
EBICSCL2325	許可者の保留タスクが作成されました	ユーザー用に保留タスクが作成されたことを示します。EBICS Client ダッシュボード・インターフェースを使用して、これから署名される保留タスクのリストを表示してください。



表 3. イベント関連の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL2326	送信者の保留タスクが作成されました	オーダーを送信することを許可されているユーザー用に保留タスクが作成されたことを示します。EBICS Client ダッシュボード・インターフェースを使用して、これから送信される保留タスクのリストを表示してください。
EBICSCL2327	許可者の署名生成に成功しました	署名を保留していたオーダーに署名者が署名したときに、署名生成が成功したことを示します。
EBICSCL2328	許可者の署名生成に失敗しました	署名を保留していたオーダーに署名者が署名したときに、署名生成が失敗したことを示します。
EBICSCL2329	オーダー・タイプが無効です	指定したオーダー・タイプが無効であることを示します。有効なオーダー・タイプを指定してください。
EBICSCL2330	ホスト ID が無効です	指定したホスト ID または銀行 ID が無効であることを示します。有効なホスト ID を指定してください。
EBICSCL2331	パートナー ID とユーザー ID の組み合わせが無効です	ユーザー ID と関連パートナー ID の組み合わせが無効であることを示します。ユーザー ID と関連パートナー ID の有効な組み合わせを指定してください。
EBICSCL2332	システム ID が無効です	指定したシステム ID が無効であることを示します。有効なシステム ID を指定してください。
EBICSCL2333	オーダー・メタデータで必須パラメーターが欠落しています	オーダー・メタデータ内の必須パラメーターが含まれていないことを示します。欠落しているパラメーターについては、ordermetadata.xml を確認し、パラメーターに有効な値を指定してください。
EBICSCL2334	セキュリティー手段が無効です	セキュリティー手段として指定した値が無効であることを示します。0100 から 0499 の範囲の 4 桁のセキュリティー番号を入力します。

表 3. イベント関連の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL2335	ワークフローで 1 次ドキュメントを解析できません	構成を確認し直してからトランザクションを開始してください。
EBICSCL2336	銀行の暗号化公開鍵が見つかりません	有効な暗号鍵をアップロードしてください。
EBICSCL2337	使用する鍵を取得できませんでした	オーダー・データの署名または暗号化を行うときに、別名への鍵を取得できませんでした。
EBICSCL2338	セグメントをホストにアップロードしました	オーダー・データ・セグメントは、サーバーに正常にアップロードされました。
EBICSCL2339	セグメントをホストからダウンロードしました	オーダー・データ・セグメントは、サーバーから正常にダウンロードされました。
EBICSCL2340	アップロードするセグメントの総数を計算しました	EBICS Client は、アップロードするオーダー・データのセグメントの総数を計算します。
EBICSCL2341	ダウンロードするセグメントの総数を取得しました	EBICS Client は、ダウンロードするオーダー・データのセグメントの総数を受け取ります。
EBICSCL2342	自動送信の値が無効です	自動送信に定義されている値が無効なので、オーダーを自動的に送信できないことを示します。自動送信パラメーターに有効な値を入力してください。有効な値は true および false です。
EBICSCL2343	国別コードの値が無効です	国名の省略形が無効であることを示します。国名の省略形に有効な形式を指定してください。
EBICSCL2344	ホストがまだアクティブではありません	銀行のサーバーがまだアクティブになっていないことを示します。HPB オーダー・タイプを使用して銀行鍵をダウンロードし、それらの銀行鍵を検証してください。

表 3. イベント関連の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL2345	ユーザーがまだ有効ではありません	ユーザーのサブスクライバー初期化がまだ完了していないことを示します。パートナーに関連付けられたユーザーの INI レターおよび HIA レターを生成し、それらを銀行に送信して検証を受けてください。
EBICSCL2346	応答データのメールボックスへの書き込みに成功しました	銀行から受信した応答がメールボックスに正常に保管されたことを示します。
EBICSCL2347	応答データのメールボックスへの書き込みに失敗しました	メールボックスにアクセスするための許可が不十分であったため、応答データをメールボックスに書き込めなかった可能性があります。詳しくは、ebicsClient.log ファイルを参照してください。
EBICSCL2348	メッセージのメールボックスへの配置でエラーが発生しました	メッセージをメールボックスにアップロードできなかったことを示します。
EBICSCL2349	サーバーから応答がありません	要求がサーバーに送信されたときに、サーバーが応答しなかったことを示します。
EBICSCL2350	サーバーからの応答が無効です	要求がサーバーに送信されたときに、サーバーが無効な応答を返したことを示します。
EBICSCL2392	HttpClient の必須パラメーターが欠落しています	構成されている HTTP クライアント・アダプターの名前が null であること、またはアダプターのプロパティが欠落していることを示します。あるいは、ホストとポートのいずれかが正しく構成されていないかを示します。SSL が使用可能になっている場合には、CA 証明書が構成されていません。
EBICSCL2393	HttpClient インスタンスが見つかりません	HTTP クライアント・アダプター・インスタンスが欠落していることを示します。
EBICSCL2394	サーバーとの HTTP セッションの終了でエラーが発生しました	サーバーとの HTTP セッションを終了するときにエラーが発生したことを示します。これは、有効なセッションが見つからない結果である可能性があります。

表 3. イベント関連の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL2395	ホストが見つかりません	ホストまたはポートが正しく構成されていないことを示します。
EBICSCL2396	ハンドシェイクが失敗しました	SSL を使用してサーバーに接続するときに、例えば証明書が無効であることなどが理由となって、接続が成功しない可能性があります。
EBICSCL2398	指定されたホストへの接続を実行できませんでした	セッションが正常に開始された場合でも、クライアントがホストに接続できなかったことを示します。
EBICSCL2351	署名の鍵の長さが無効です	署名用の銀行規定鍵の長さが無効であることを示します。鍵の長さは、1536 ビット以上で、かつ、4096 ビット以下になるようにしてください。  電子署名、暗号化および認証の EBICS 固有の鍵の長さの定義については、EBICS 仕様、バージョン 2.4.2 を参照してください。
EBICSCL2352	認証の鍵の長さが無効です	識別と認証用の銀行規定鍵の長さが無効であることを示します。鍵の長さは、1024 ビット以上で、かつ、16384 ビット以下になるようにしてください。  電子署名、暗号化および認証の EBICS 固有の鍵の長さの定義については、EBICS 仕様、バージョン 2.4.2 を参照してください。
EBICSCL2353	暗号化の鍵の長さが無効です	暗号化用の銀行規定鍵の長さが無効であることを示します。鍵の長さは、1024 ビット以上で、かつ、16384 ビット以下になるようにしてください。  電子署名、暗号化および認証の EBICS 固有の鍵の長さの定義については、EBICS 仕様、バージョン 2.4.2 を参照してください。

表 3. イベント関連の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL2354	サーバーとの HTTP セッションの開始でエラーが発生しました	サーバーとの HTTP セッションを開始するときにエラーが発生したことを示します。
EBICSCL2355	メッセージ ID が であるオーダー・メタデータ・ドキュメントの解析でエラーが発生しました	XML のフォーマットが正しいかどうか確認してください。
EBICSCL2356	指定されたユーザーの代行者となる許可が特有サブスクライパーにありません	特有ユーザーを構成し、その特有ユーザーを既存のユーザーと関連付けてください。
EBICSCL2357	メールボックスからメッセージを取得しようとしてエラーが発生しました	メールボックスからメッセージを取り出すときにエラーが発生したことを示します。
EBICSCL2358	オーダー・メタデータ・ドキュメントの解析でエラーが発生しました	XML のフォーマットが正しいかどうか確認してください。
EBICSCL2359	署名申し込みが拒否されました	オーダーの署名要件は既に満たされているので、署名申し込みが拒否されました。
EBICSCL2360	送信申し込みが拒否されました	オーダーは既に銀行に送信されているので、送信申し込みが拒否されました。
EBICSCL2361	オーダー・メタデータ・ファイルが ZIP ファイルでないか、ZIP の中にファイルが存在しません	オーダー・メタデータ・ファイルが圧縮フォーマットになっていて、ZIP ファイルに有効な内容が含まれるようにしてください。
EBICSCL2362	オーダー・メタデータ ZIP の中に不正な数のファイルがあります	ordermetadata.zip ファイル内に存在するファイルの数が正しくないことを示します。例えば、バックエンドから FUL オーダー・タイプを送信するときに、ZIP ファイルにペイロード・データと ordermetadata.xml のいずれか一方、あるいはその両方が含まれない場合などです。
EBICSCL2363	オーダー・メタデータ ZIP の中に ordermetadata.xml という名前のファイルがありません	ordermetadata.xml という名前のファイルが ZIP ファイルに必ず含まれるようにしてください。
EBICSCL2364	オーダー・タイプが FUL であるオーダー・メタデータ ZIP の中にペイロード・ファイルがありません	オーダー・タイプ FUL 用のペイロード・オーダー・データが ZIP ファイルに必ず含まれるようにしてください。

表3. イベント関連の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL2365	トランスポート URL などの必須トランスポート・パラメーターを取得しようとしてエラーが発生しました	ホスト URL の形式が誤っているか、あるいはクライアントが HTTP 構成の詳細をデータベースから取得できないことを示します。
EBICSCL2366	データの暗号化解除中にエラーが発生しました	データを暗号化解除するときにエラーが発生しました。エラーは、例えば誤った証明書でデータを暗号化したり、データが不完全であったりする結果である可能性があります。
EBICSCL2367	データの暗号化中にエラーが発生しました	鍵が見つからなかったことを示します。
EBICSCL2368	XML 認証作成中にエラーが発生しました	エラーは、例えば証明書が構成されていないか、証明書を取得できなかったりした結果である可能性があります。
EBICSCL2369	XML 認証検証中にエラーが発生しました	エラーは、例えば証明書が構成されていないか、証明書を取得できなかったりした結果である可能性があります。
EBICSCL2370	予期しない戻りコードがサーバーから返されました	クライアント・データベースで定義されていないエラーをサーバーが返しました。
EBICSCL2371	EBICS Client 内部エラー	EBICS 要求を処理しているときに内部エラーが発生しました。

## HPB 関連の戻りコード

表4. HPB 関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL1701	EBICS の HPB 要求作成に失敗しました	HPB 要求の作成時にエラーが発生しました。
EBICSCL1702	EBICS の HPB 要求作成に成功しました	HPB オーダー要求が正常に作成されました。
EBICSCL1703	EBICS の HPB 応答解析に失敗しました	HPB 応答の構文解析時にエラーが発生しました。
EBICSCL1704	EBICS の HPB 応答解析に成功しました	HPB 応答は正常に構文解析されました。
EBICSCL1705	EBICS の HPB 応答アンパックに成功しました	HPB 応答は正常にアンパックされました。

表 4. HPB 関連の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL1706	EBICS の HPB 応答アンパックに失敗しました	HPB 応答のアンパック時にエラーが発生しました。
EBICSCL1707	EBICS の HPB 銀行証明書の保存に失敗しました	銀行鍵の保存時にエラーが発生しました。
EBICSCL1708	EBICS の HPB 銀行証明書の保存に成功しました	HPB 銀行鍵は正常に保存されました。

## 鍵関連の戻りコード

表 5. 鍵関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL2372 から EBICSCL2381	使用する秘密鍵を取得できませんでした	<p>以下は、秘密鍵の取得に失敗した理由として考えられるものを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム証明書がデータベースに見つかりません</li> <li>証明書が有効期限切れです</li> <li>証明書が有効になっていません</li> <li>証明書が保留中です</li> <li>証明書が取り消し済みです</li> <li>チェーン内の証明書の発行者署名が無効です</li> <li>CertPathValidation に失敗しました</li> <li>証明書でエラーが発生しました</li> <li>証明書の取り出しでエラーが発生しました</li> <li>RSA 鍵ストアからの鍵の取り出しでエラーが発生しました</li> </ul>

表 5. 鍵関連の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL2382 から EBICSCL2391	使用する公開鍵を取得できませんでした	<p>以下は、公開鍵の取得に失敗した理由として考えられるものを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 鍵がデータベースに見つかりません</li> <li>• 証明書が有効期限切れです</li> <li>• 証明書が有効になっていません</li> <li>• 証明書が保留中です</li> <li>• 証明書が取り消し済みです</li> <li>• チェーン内の証明書の発行者署名が無効です</li> <li>• CertPathValidation に失敗しました</li> <li>• 証明書でエラーが発生しました</li> <li>• 証明書の取り出しでエラーが発生しました</li> <li>• RSA 鍵ストアからの鍵の取り出しでエラーが発生しました</li> </ul>

## オーダー ID の生成関連の戻りコード

表 6. オーダー ID の生成関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL2399	オーダー ID の生成が再度初期化されました	オーダー ID の最後の 3 桁の英数字値 (有効な範囲は 000 から zzz まで) が 000 に再度初期化されたことを示します。
EBICSCL2400	EBICS Client システムでオーダーのログインに失敗しました	パートナー ID のオーダー ID は既にシステム内に存在します。管理者に連絡して、今後の処置をとってください。
EBICSCL2401	オーダー ID の生成に失敗しました	マルチノード・シナリオで、ノードの 1 つがオーダー ID キャッシュのリフレッシュに失敗し、その結果として特定のオーダーに対するオーダー ID の生成に失敗したとき。
EBICSCL2402	オーダー ID キャッシュの構成エラーが発生しました	システム・プロパティに属するオーダー ID キャッシュの構成を確認してください。



## 特有戻りコード

表7. 特有戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
ESRVT011000	[t011000] EBICS_DOWNLOAD_POSTPROCESS_DONE	サーバーからクライアントに送信される EBICS 応答の肯定応答です。
ESRVT011001	[t011001] EBICS_DOWNLOAD_POSTPROCESS_SKIPPED	サーバーからクライアントに送信される EBICS 応答の否定応答です。
ESRVT011101	[t011101] EBICS_TX_SEGMENT_NUMBER_UNDERRUN	クライアントがアップロード・トランザクションで、サーバーに送信されるセグメントを非常に多数(初期化フェーズで指定された数と比べて)指定した場合に、サーバーはトランザクションを強制終了します。
ESRVT031001	[t031001] EBICS_ORDER_PARAMS_IGNORED	指定されたオーダー・パラメーターのうち、銀行によってサポートされていないものは無視されます。
ESRVT061001	[t061001] EBICS_AUTHENTICATION_FAILED	銀行は、EBICS 要求の識別および認証署名を検証できません。
ESRVT061002	[t061002] EBICS_INVALID_REQUEST	受信した EBICS XML メッセージが EBICS 仕様に準拠していません。
ESRVT061099	[t061099] EBICS_INTERNAL_ERROR	EBICS 要求を処理しているときに内部エラーが発生しました。
ESRVT061101	[t061101] EBICS_TX_RECOVERY_SYNC	銀行は、トランザクション・リカバリーをサポートしている場合に、アップロード・トランザクションがリカバリー可能であるかどうかを検査します。サーバーは、トランザクションをリカバリーするために、クライアントと同期化します。
ESRVT091002	[t091002] EBICS_INVALID_USER_OR_USER_STATE	ユーザー ID の無効な組み合わせまたは無効なサブスクライバー状態に起因するエラー。
ESRVT091003	[t091003] EBICS_USER_UNKNOWN	特有ユーザーの識別および認証署名は正常に検証されましたが、非特有サブスクライバーは銀行に認識されていません。
ESRVT091004	[t091004] EBICS_INVALID_USER_STATE	特有ユーザーの識別および認証署名は正常に検証され、非特有サブスクライバーは銀行に認識されていますが、ユーザーが「有効」状態になっていません。

表7. 特有戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
ESRVT091005	[t091005] EBICS_INVALID_ORDER_TYPE	検証時に、指定されたオーダー・タイプは無効であることを銀行が検出します。
ESRVT091006	[t091006] EBICS_UNSUPPORTED_ORDER_TYPE	検証時に、指定されたオーダー・タイプは有効だが銀行がサポートしていないことを銀行が検出します。
ESRVT091007	(H003 プロトコル) [t091007] EBICS_USER_AUTHENTICATION_REQUIRED  (H004 プロトコル) [t091007] EBICS_DISTRIBUTED_SIGNATURE_AUTHORISATION_FAILED	VEU 管理において参照されたオーダーに署名する許可をサブスクライパーは得ていません。
ESRVT091008	[t091008] EBICS_BANK_PUBKEY_UPDATE_REQUIRED	ユーザーが送信したハッシュ値を銀行が検査します。ハッシュ値が現在の公開鍵と一致しない場合、銀行はトランザクションの初期化を強制終了します。
ESRVT091009	[t091009] EBICS_SEGMENT_SIZE_EXCEEDED	送信されたオーダー・データ・セグメントのサイズが 1 MB を超える場合、トランザクションは強制終了させられます。
ESRVT091010	[t091010] EBICS_INVALID_XML	XML スキーマが EBICS 仕様に準拠していません。
ESRVT091011	[t091011] EBICS_INVALID_HOST_ID	送信されたホスト ID が銀行に認識されていません。
ESRVT091101	[t091101] EBICS_TX_UNKNOWN_TXID	指定されたトランザクション ID は無効です。
ESRVT091102	[t091102] EBICS_TX_ABORT	銀行は、トランザクション・リカバリーをサポートしている場合に、アップロード・トランザクションがリカバリー可能であるかどうかを検査します。トランザクションをリカバリーできない場合、銀行はトランザクションを強制終了します。

表 7. 特有戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
ESRVT091103	[t091103] EBICS_TX_MESSAGE_REPLAY	リプレイを回避するために、銀行は受け取った nonce を、それ以前に受け取ってローカルに保管しておいた nonce 値のリストと比較します。受け取った nonce が銀行によって指定された許容期間より大きい場合に、応答 EBICS_TX_MESSAGE_REPLAY が戻されます。
ESRVT091104	[t091104] EBICS_TX_SEGMENT_NUMBER_EXCEEDED	送信されたオーダー・データ・セグメントのシリアル番号は、送信される予定のデータ・セグメントの総数以下である必要があります。送信されたオーダー・データ・セグメントの数がデータ・セグメントの総数を超えると、トランザクションは強制終了させられます。
ESRVT091112	[t091112] EBICS_INVALID_ORDER_PARAMS	このエラーには、さまざまな原因が考えられます。  例えば HVT 要求で、サブスクライバーが VEU トランザクション詳細を取得するオーダーを指定します。顧客システムに含まれる元のオーダー・ファイル内のオフセット位置を定義できます。オーダー詳細は、オフセット位置の後に続けて戻されます。オフセットに指定した値がオーダー詳細の総数より大きい場合に、エラー EBICS_INVALID_ORDER_PARAMS が戻されます。  サーバー構成のオーダー・タイプとファイル・フォーマットの設定と、クライアントからの要求が一致しない場合、FUL オーダーまたは FDL オーダーにエラー EBICS_INVALID_ORDER_PARAMS も戻されることがあります。
ESRVT091113	[t091113] EBICS_INVALID_REQUEST_CONTENT	EBICS 要求が、個々の要求に対して指定された XML スキーマ定義に準拠していません。
ESRVT091117	[t091117] EBICS_MAX_ORDER_DATA_SIZE_EXCEEDED	銀行は、要求されたオーダー・サイズをサポートしません。

表7. 特有戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
ESRVT091118	[t091118] EBICS_MAX_SEGMENTS_EXCEEDED	アップロードするために送信されたセグメントの数が多すぎます。
ESRVT091119	[t091119] EBICS_MAX_TRANSACTIONS_EXCEEDED	顧客あたりの並行トランザクションの最大数を超過しています。
ESRVT091120	[t091120] EBICS_PARTNER_ID_MISMATCH	電子署名ファイルのパートナー ID が送信者のパートナー ID と異なっています。
ESRVT091121	[t091121] EBICS_INCOMPATIBLE_ORDER_ATTRIBUTE	指定されたオーダー属性は銀行システム内のオーダーと互換性がありません。同じオーダーに対して属性 DZHNN を持つファイル、またはその他の電子署名ファイル (例えば、属性 UZHNN を持つファイル) が銀行にある場合、オーダー属性 DZHNN の使用は許可されません。また、同じオーダーが既に銀行にあり、そのオーダーがオーダー属性 DZHNN を指定された状態で送信されてきた場合も、オーダー属性 DZHNN の使用は許可されません。
(H004 プロトコル) ESRVT091219	[t091219] EBICS_CERTIFICATES_VALIDATION_ERROR	サーバーは、証明書を前に宣言された情報と自動的に一致させることができません。

## 銀行特有戻りコード

表8. 銀行特有戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
ESRVB011301	[b011301] EBICS_NO_ONLINE_CHECKS	銀行は基本的にオーダーの予備検査をサポートしていませんが、EBICS 要求にはオーダーの予備検査用のデータが含まれていません。
ESRVB091001	[b091001] EBICS_DOWNLOAD_SIGNED_ONLY	銀行システムは、オーダー要求に対して銀行特有署名が行われたダウンロード・オーダー・データのみをサポートします。サブスクライバーがオーダー属性を DZHNN に設定し、銀行の電子署名なしでダウンロード・データを要求した場合、トランザクションの初期化は強制終了させられます。

表 8. 銀行特有戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
ESRVB091002	[b091002] EBICS_DOWNLOAD_ UNSIGNED_ONLY	銀行システムは、オーダー要求に対して未署名のダウンロード・オーダー・データのみをサポートします。サブスクライバーが銀行の電子署名なしでのみオーダー・データをダウンロードできるようにすることが同意されたときには、サブスクライバーがオーダー属性を OZHNN に設定し、銀行の電子署名付きでダウンロード・データを要求した場合に、トランザクションの初期化が強制終了させられます。
ESRVB090003	[b090003] EBICS_AUTHORISATION_ ORDER_TYPE_FAILED	選択されたオーダー・タイプのオーダーを送信する資格がサブスクライバーにありません。サブスクライバーがオーダーに署名するための銀行特有許可を持っているかどうかを銀行が検査するとき、許可が欠落していると、トランザクションはキャンセルされます。
ESRVB090004	[b090004] EBICS_INVALID_ORDER_ DATA_FORMAT	オーダー・データが、指定されたフォーマットに対応していません。
ESRVB090005	[b090005] EBICS_NO_DOWNLOAD_ DATA_AVAILABLE	要求されたダウンロード・データが使用可能ではない場合、EBICS トランザクションは強制終了させられます。
ESRVB090006	[b090006] EBICS_UNSUPPORTED_ REQUEST_ FOR_ORDER_INSTANCE	一部のビジネス・トランザクションの場合には、オーダー・データの詳細情報を取得できないことがあります。
ESRVB091105	[b091105] EBICS_RECOVERY_NOT_ SUPPORTED	銀行がトランザクション・リカバリーをサポートしていない場合、アップロード・トランザクションは強制終了させられます。
ESRVB091111	[b091111] EBICS_INVALID_ SIGNATURE_ FILE_FORMAT	送信された電子署名ファイルが、定義されているフォーマットに準拠していません。
ESRVB091114	[b091114] EBICS_ORDERID_ UNKNOWN	検査時に、オーダーが VEU 処理システムに配置されていないことを銀行が検出します。
ESRVB091115	[b091115] EBICS_ORDERID_ALREADY_ EXISTS	送信されたオーダー番号は既に存在します。

表 8. 銀行特有戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
ESRVB091116	[b091116] EBICS_PROCESSING_ERROR	EBICS 要求の処理時に、他のビジネス関連エラーが発生しました。
ESRVB091201	[b091201] EBICS_KEYMGMT_ UNSUPPORTED_ VERSION_SIGNATURE	INI 要求の処理時に、銀行特有署名プロセスの無効なバージョンがオーダー・データに含まれています。
ESRVB091202	[b091202] EBICS_KEYMGMT_ UNSUPPORTED_ VERSION_ AUTHENTICATION	HIA 要求の処理時に、識別および認証署名プロセスの無効なバージョンがオーダー・データに含まれています。
ESRVB091203	[b091203] EBICS_KEYMGMT_ UNSUPPORTED_ VERSION_ENCRYPTION	HIA 要求の処理時に、暗号化プロセスの無効なバージョンがオーダー・データに含まれています。
ESRVB091204	[b091204] EBICS_KEYMGMT_ KEYLENGTH_ ERROR_SIGNATURE	INI 要求の処理時に、無効な長さの銀行規定キーがオーダー・データに含まれています。
ESRVB091205	[b091205] EBICS_KEYMGMT_ KEYLENGTH_ERROR_ AUTHENTICATION	HIA 要求の処理時に、無効な長さの識別および認証鍵がオーダー・データに含まれています。
ESRVB091206	[b091206] EBICS_KEYMGMT_ KEYLENGTH_ ERROR_ENCRYPTION	HIA 要求の処理時に、無効な長さの暗号鍵がオーダー・データに含まれています。
ESRVB091207	[b091207] EBICS_KEYMGMT_NO_ X509_SUPPORT	タイプ X509 の公開鍵が銀行に送信されますが、銀行では公開鍵値タイプのみをサポートしています。
ESRVB091208	[b091208] EBICS_X509_CERTIFICATE_ EXPIRED	証明書は、有効期限切れであるために、無効です。
ESRVB091209	[b091209] EBICS_X509_CERTIFICATE_ NOT_VALID_YET	証明書はまだ発効していないので、今のところ無効です。
ESRVB091210	[b091210] EBICS_X509_WRONG_ KEY_USAGE	証明書鍵の使用の検査時に、証明書が現在使用するために発行されているのではないことを銀行が検出します。
ESRVB091211	[b091211] EBICS_X509_WRONG_ ALGORITHM	証明書のアルゴリズムの検査時に、証明書が現在使用するために発行されているのではないことを銀行が検出します。
ESRVB091212	[b091212] EBICS_X509_INVALID_ THUMBPRINT	サムプリントが証明書と対応していません。

表 8. 銀行特有戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
ESRVB091213	[b091213] EBICS_X509_CTL_INVALID	証明書の検査時に、証明書信頼リスト (CTL) が有効ではないことを銀行が検出します。
ESRVB091214	[b091214] EBICS_X509_UNKNOWN_CERTIFICATE_AUTHORITY	認証局 (CA) が不明であるために、チェーンを検査できません。
ESRVB091215	[b091215] EBICS_X509_INVALID_POLICY	証明書の検証を確定しようとしたましたが、証明書に無効なポリシーが指定されています。
ESRVB091216	[b091216] EBICS_X509_INVALID_BASIC_CONSTRAINTS	証明書の検証を確定しようとしたましたが、基本制約が無効です。
ESRVB091217	[b091217] EBICS_ONLY_X509_SUPPORT	銀行は、X.509 データの評価のみをサポートしています。
ESRVB091218	[b091218] EBICS_KEYMGMT_DUPLICATE_KEY	認証または暗号化のために送信される鍵は、署名鍵と同じです。
ESRVB091301	[b091301] EBICS_SIGNATURE_VERIFICATION_FAILED	電子署名の検証が失敗しました。
ESRVB091302	[b091302] EBICS_ACCOUNT_AUTHORISATION_FAILED	口座許可の予備検査が失敗しました。
ESRVB091303	[b091303] EBICS_AMOUNT_CHECK_FAILED	[EBICS_AMOUNT_CHECK_FAILED] 口座金額限度の予備検査が失敗しました。
ESRVB091304	[b091304] EBICS_SIGNER_UNKNOWN	オーダーの署名者が有効なサブスクライバーではありません。
ESRVB091305	[b091305] EBICS_INVALID_SIGNER_STATE	署名者の状態が無効です。
ESRVB091306	[b091306] EBICS_DUPLICATE_SIGNATURE	署名者が既にオーダーに署名しています。

## VEU 関連の戻りコード

表 9. VEU 関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL1050	応答オーダー・データの整列解除とデータベースへの保管の際にエラーが発生しました	応答オーダー・データのフォーマットが正しくないことを示します。

## コンソール・イベント関連の戻りコード

表 10. コンソール・イベント関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL9000	ユーザーが正常に作成されました	ユーザー・プロファイルが正常に作成されました。

表 10. コンソール・イベント関連の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL9001	ユーザーが正常に更新されました	ユーザー・プロファイルが正常に更新されました。
EBICSCL9002	ユーザーが正常に削除されました	ユーザー・プロファイルが正常に削除されました。
EBICSCL9003	ユーザーの作成に失敗しました	ユーザー・プロファイルの作成に失敗しました。このエラーは、例えば、ユーザー・プロファイルが既に存在していたり、ユーザー構成のパラメーターに無効な値が設定されていたりする結果である可能性があります。
EBICSCL9004	ユーザーの更新に失敗しました	ユーザー構成のパラメーターに有効な値が設定されていること、またはデータベースへの接続が切断されているかどうかを確認してください。
EBICSCL9005	ユーザーの削除に失敗しました	ユーザー構成のパラメーターに有効な値が設定されていること、またはデータベースへの接続が切断されているかどうかを確認してください。

## ログイン関連の戻りコード

表 11. ログイン関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL9020	ユーザーが正常にログインしました	ユーザーが正常にシステムにログオンしました。
EBICSCL9021 および EBICSCL9022	ユーザーのログインに失敗しました	ハブへのログオンを試みましたが、ユーザー名またはパスワードが無効であるか、あるいは特権が十分ではないために、失敗しました。
EBICSCL9023	ユーザーには URI へのアクセス権限がありません	URI にアクセスするための適正な許可および役割を割り当てられていることを確認してください。
EBICSCL9024	次の機能は、EBICS Client としてライセンス交付を受ける必要があります	IBM サポートからライセンスを取得してください。



## ファイル・フォーマット関連の戻りコード

表 12. ファイル・フォーマット関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL9050	ファイル・フォーマットが正常に作成されました	ファイル・フォーマットが正常に作成されました。
EBICSCL9051	ファイル・フォーマットが正常に更新されました	ファイル・フォーマットが正常に更新されました。
EBICSCL9052	ファイル・フォーマットの作成に失敗しました	ファイル・フォーマット構成のパラメーターに有効な値が設定されていること、またはデータベースへの接続が切断されているかどうかを確認してください。
EBICSCL9053	ファイル・フォーマットの更新に失敗しました	ファイル・フォーマット構成のパラメーターに有効な値が設定されていること、またはデータベースへの接続が切断されているかどうかを確認してください。
EBICSCL9054	ファイル・フォーマットが正常に削除されました	ファイル・フォーマットが正常に削除されました。
EBICSCL9055	ファイル・フォーマットの削除に失敗しました	データベースへの接続が確立されていること、またはオーダー・タイプが適切なファイル・フォーマットに関連付けられているかどうかを確認してください。

## 銀行関連の戻りコード

表 13. 銀行関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL9070	銀行が正常に作成されました	銀行プロファイルが正常に作成されました。
EBICSCL9071	銀行が正常に更新されました	銀行プロファイルが正常に更新されました。
EBICSCL9072	銀行の作成に失敗しました	銀行構成のパラメーターに有効な値が設定されていること、またはデータベースへの接続が切断されているかどうかを確認してください。
EBICSCL9073	銀行の更新に失敗しました	銀行構成のパラメーターに有効な値が設定されていること、またはデータベースへの接続が切断されているかどうかを確認してください。

表 13. 銀行関連の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL9074	銀行が正常に削除されました	銀行プロファイルが正常に削除されました。
EBICSCL9075	銀行の削除に失敗しました	データベースへの接続が確立されていることを確認してください。
EBICSCL9076	銀行鍵が正常に検証されました	銀行鍵が正常に検証されました。
EBICSCL9077	銀行鍵の検証に失敗しました	銀行から受信したハッシュ値が EBICS Client システムに保管されているハッシュ値と一致しません。

## オーダー送信関連の戻りコード

表 14. オーダー送信関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL9090	オーダーが正常に送信されました	オーダーが正常に送信されました。
EBICSCL9095	オーダー送信に失敗しました	オーダー送信に失敗した理由としては、送信者が必要な許可を持っていないこと、証明書が無効であること、銀行鍵の検証に失敗したことなどが挙げられますが、これらはほんの一部です。

## オファー関連の戻りコード

表 15. オファー関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL9101	オファーが正常に作成されました	オファーが正常に作成されました。
EBICSCL9102	オファーの作成に失敗しました	データベースへの接続が確立されていることを確認してください。
EBICSCL9103	オファーが正常に更新されました	オファーが正常に更新されました。
EBICSCL9104	オファーの更新に失敗しました	データベースへの接続が確立されていることを確認してください。
EBICSCL9105	オファーが正常に削除されました	オファーが正常に削除されました。
EBICSCL9106	オファーの削除に失敗しました	データベースへの接続が確立されていることを確認してください。

## ユーザー許可関連の戻りコード

表 16. ユーザー許可関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL9120	ユーザー許可が正常に作成されました	ユーザー許可が正常に作成されました。
EBICSCL9121	ユーザー許可の作成に失敗しました	データベースへの接続が確立されていることを確認してください。
EBICSCL9122	ユーザー許可が正常に更新されました	ユーザー許可が正常に更新されました。
EBICSCL9123	ユーザー許可の更新に失敗しました	データベースへの接続が確立されていることを確認してください。
EBICSCL9124	ユーザー許可が正常に削除されました	ユーザー許可が正常に削除されました。
EBICSCL9125	ユーザー許可の削除に失敗しました	データベースへの接続が確立されていることを確認してください。

## 保留署名関連の戻りコード

表 17. 保留署名関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL9141	署名が送信されました	署名が正常に送信されました。
EBICSCL9142	署名の送信に失敗しました	データベースへの接続が確立されていること、またはメッセージがメールボックスに正常に書き込まれたかどうかを確認してください。
EBICSCL9143	署名が更新されました	署名が正常に更新されました。
EBICSCL9144	署名の更新に失敗しました	データベースへの接続が確立されていること、またはメッセージがメールボックスに正常に書き込まれたかどうかを確認してください。

## 保留 VEU 署名関連の戻りコード

表 18. 保留 VEU 署名関連の戻りコード

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL9151	VEU 署名が送信されました	VEU 署名が正常に送信されました。

表 18. 保留 VEU 署名関連の戻りコード (続き)

戻りコード	イベント・メッセージ	要約
EBICSCL9152	VEU 署名の送信に失敗しました	データベースへの接続が確立されていること、またはメッセージがメールボックスに正常に書き込まれたかどうかを確認してください。

---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

**以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。** IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM® は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Corporation*

*J46A/G4*

*555 Bailey Avenue*

*San Jose, CA 95141-1003*

*U.S.A.*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、**IBM** 所定のプログラム契約の契約条項、**IBM** プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、**IBM** より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

**IBM** 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。**IBM** は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。**IBM** 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

**IBM** の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている **IBM** の価格は **IBM** が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

当該のサンプル・プログラムの複製物のそれぞれ、またはそのあらゆる部分、あるいはすべての派生的創作物にも、次のように著作権表示を入れていただく必要があります。

© IBM 2015. このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。 © Copyright IBM Corp. 2015.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

## 商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://ibm.com)<sup>®</sup> は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> の「Copyright and trademark information」をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IT Infrastructure Library は英国 Office of Government Commerce の一部である the Central Computer and Telecommunications Agency の登録商標です。

Intel、Intel (ロゴ)、Intel Inside、Intel Inside (ロゴ)、Intel Centrino、Intel Centrino (ロゴ)、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

ITIL は英国 Office of Government Commerce の登録商標および共同体登録商標であって、米国特許商標庁にて登録されています。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Java およびすべてのJava 関連の商標およびロゴは Oracleやその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Cell Broadband Engine, Cell/B.E は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Linear Tape-Open, LTO、LTO (ロゴ)、Ultrium および Ultrium (ロゴ) は、米国およびその他の国における HP、IBM、および Quantum の商標です。

Connect Control Center<sup>®</sup>、Connect:Direct<sup>®</sup>、Connect:Enterprise<sup>®</sup>、Gentran<sup>®</sup>、Gentran<sup>®</sup>:Basic<sup>®</sup>、Gentran:Control<sup>®</sup>、Gentran:Director<sup>®</sup>、Gentran:Plus<sup>®</sup>、Gentran:Realtime<sup>®</sup>、Gentran:Server<sup>®</sup>、Gentran:Viewpoint<sup>®</sup>、Sterling Commerce<sup>™</sup>、Sterling Information Broker<sup>®</sup>、および Sterling Integrator<sup>®</sup> は、Sterling Commerce<sup>®</sup>, Inc.、IBM Company の商標です。







Printed in Japan